

恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)

図 面 目 録

図面番号		図面名称	図面番号		図面名称	図面番号		図面名称
47-1	共-1	表紙、図面目録	47-19	A-18	矩計図		倉-1	平面図兼建具配置図、屋根伏図、立面図、建具表
47-2	A-1	建築工事特記仕様書9-1	47-20	A-19	平面詳細図		倉-2	断面詳細図(参考図)
47-3	A-2	建築工事特記仕様書9-2	47-21	A-20	展開図-1		倉-3	基礎伏図、部分詳細図(参考図)
47-4	A-3	建築工事特記仕様書9-3	47-22	A-21	展開図-2			
47-5	A-4	建築工事特記仕様書9-4	47-23	A-22	建具表			
47-6	A-5	建築工事特記仕様書9-5	47-24	A-23	部分詳細図-1			
47-7	A-6	建築工事特記仕様書9-6	47-25	A-24	部分詳細図-2			
47-8	A-7	建築工事特記仕様書9-7	47-26	A-25	部分詳細図-3			
47-9	A-8	建築工事特記仕様書9-8	47-27	S-1	構造関係共通事項(1)			
47-10	A-9	建築工事特記仕様書9-9	47-28	S-2	構造関係共通事項(2)			
47-11	A-10	木造使用材料表2-1	47-29	S-3	基礎伏図、基礎リスト			
47-12	A-11	木造使用材料表2-2	47-30	S-4	伏図			
47-13	A-12	付近見取図、配置図	47-31	S-5	軸組図(1)			
47-14	A-13	敷地求積図	47-32	S-6	軸組図(2)			
47-15	A-14	建物求積図						
47-16	A-15	仕上表						
47-17	A-16	平面図兼建具配置図、屋根伏図、天井伏図						
47-18	A-17	立面図、断面図						

	年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	図面目録	共-1
		下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47-1

建築工事特記仕様書			表1.7.1																																																	
			種類	記入内容																																																
<p>1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築木造工事標準仕様書（令和4年版）」（以下、「木造標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び木造標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。</p> <p style="text-align: right;">凡例 <1.1.1> 木造標準仕様書引用 (3.2.1) 標準仕様書引用</p> <p>2. 特記仕様書の適用方法</p> <p>(1) 項目の番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項に◎印の付いたものを適用する。</p> <p>(3) 項目に記載< >の内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 ()の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>	1	適用基準等	完成図は、以下による。																																																	
	2	一般事項 <1.1.1>	敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽																																																	
	3	着工時の提出図書	◎ 各階平面図 ◎ 各立面図 ◎ 断面図 ◎ 仕上表 ◎ 施工図 ◎ 施工計画書																																																	
	4	施工計画書・総合図・施工図 <1.2.2~1.2.3>	完成図の作成、提出 黒表紙付きA4版（年度、工事名、工期、施工業者名を金文字で記入）に下記図面を製本したもの。 ◎ 完成図（確認済証、検査済証、施工体系図、保証書（以下参照）、VOC測定結果（合格）の写し共） 作成部数：学校施設の場合2部、学校施設以外の場合1部 製本図面（年度、工事名、工期、施工業者名を記入）に建築・電気・機械の図面をとりまとめ製本したもの。 ◎ 竣工図 作成部数（ A2 1部、A3 3部 ）																																																	
	5	工期の変更に係る資料の提出 <1.1.10>	安全に関する資料（取扱説明書、性能試験成績書、その他監督職員が指示するもの） 提出部数 ◎1部 ・2部 ・()部 ・不要 保証書 ・ 防水 保証期間（ ・ 工事引渡日の翌日から10年 ・ 年） ・ 住宅建設瑕疵担保責任保険契約を証する書類 保証期間（ ・ 工事引渡日から10年 ・ 年） ・ 新植樹木の枯保証 保証期間（引渡日から1年）																																																	
	6	埋蔵文化財その他の物件 <1.1.12>	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																	
	7	電気保安技術者 <1.3.3>	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図及び総合図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																																																	
	8	施工条件 <1.3.5>	設備工事との取り合い																																																	
	9	安全衛生管理体制 <1.3.7>	設備工事との取り合い																																																	
	10	発生材の処理等 <1.3.11>	設備工事との取り合い																																																	
	11	環境への配慮 <1.4.1>	設備工事との取り合い																																																	
<p>3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。</p> <p>4) 塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。</p> <p>5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。</p> <p>1) 使用する材料の選定は、設計図書に指定されたもの、JIS、JAS、「建築材料・設備器材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」（以下「評価名簿」という）による。</p> <p>2) 製材等、フローリング又は再生木質ボード、コンクリートに使用するせき板の材料は、グリーン購入法の基本方針の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁作成）に準拠した証明書等を、監督職員に提出する。</p> <p>3) 「山口県ふるさと産業振興条例」の趣旨を踏まえ、施工する工事に要する資材の調達に当たり、指定主要資材については、県内産資材（県内工場等で製造した資材）を購入すること。（「入札条件及び指示事項」による）</p>			<p>20 著作権</p> <p>21 設備工事との取り合い</p>																																																	
<p>1.2 建築材料等 <1.4.1~6></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>適用種別</th> <th>工事種目</th> <th>適用種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設</td> <td>◎ とび</td> <td>屋根及びとい</td> <td>◎ 建築板金（内外装板金作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>◎ 鉄筋施工</td> <td>屋根及びとい</td> <td>・ かわらぶき</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>◎ 型枠施工 ◎ コンクリート圧送施工</td> <td>金属</td> <td>◎ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄骨</td> <td>・ とび</td> <td>左官</td> <td>◎ 左官</td> </tr> <tr> <td>防水</td> <td>・ アスファルト防水 ・ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シーリング防水</td> <td>建具</td> <td>◎ サッシ施工 ◎ ガラス施工</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>カーテンウォール</td> <td>・ カーテンウォール施工</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>塗装</td> <td>◎ 塗装（建築塗装作業）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>内装</td> <td>◎ 内装仕上施工の各仕上工事作業 ◎ プラスチック系床 ◎ ボード仕上げ ・ 表装</td> </tr> <tr> <td>石</td> <td>・ 石材施工</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル</td> <td>◎ タイル張り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>◎ 建築大工</td> <td>植栽</td> <td>・ 造園</td> </tr> </tbody> </table> <p>技能士の適用は下記による。</p>			工事種目	適用種別	工事種目	適用種別	仮設	◎ とび	屋根及びとい	◎ 建築板金（内外装板金作業）	鉄筋	◎ 鉄筋施工	屋根及びとい	・ かわらぶき	コンクリート	◎ 型枠施工 ◎ コンクリート圧送施工	金属	◎ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）	鉄骨	・ とび	左官	◎ 左官	防水	・ アスファルト防水 ・ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シーリング防水	建具	◎ サッシ施工 ◎ ガラス施工			カーテンウォール	・ カーテンウォール施工			塗装	◎ 塗装（建築塗装作業）			内装	◎ 内装仕上施工の各仕上工事作業 ◎ プラスチック系床 ◎ ボード仕上げ ・ 表装	石	・ 石材施工			タイル	◎ タイル張り			木	◎ 建築大工	植栽	・ 造園	<p>20 著作権</p> <p>21 設備工事との取り合い</p>	
工事種目	適用種別	工事種目	適用種別																																																	
仮設	◎ とび	屋根及びとい	◎ 建築板金（内外装板金作業）																																																	
鉄筋	◎ 鉄筋施工	屋根及びとい	・ かわらぶき																																																	
コンクリート	◎ 型枠施工 ◎ コンクリート圧送施工	金属	◎ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）																																																	
鉄骨	・ とび	左官	◎ 左官																																																	
防水	・ アスファルト防水 ・ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シーリング防水	建具	◎ サッシ施工 ◎ ガラス施工																																																	
		カーテンウォール	・ カーテンウォール施工																																																	
		塗装	◎ 塗装（建築塗装作業）																																																	
		内装	◎ 内装仕上施工の各仕上工事作業 ◎ プラスチック系床 ◎ ボード仕上げ ・ 表装																																																	
石	・ 石材施工																																																			
タイル	◎ タイル張り																																																			
木	◎ 建築大工	植栽	・ 造園																																																	
<p>1.4 施工の検査等 <1.5.5></p> <p>1.5 化学物質の濃度測定 <1.5.9></p> <p>測定対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定する。（提出部数 1部）</p> <p>測定対象室及び測定箇所数</p> <p>・ ()箇所 ()箇所 ・ ()箇所 ()箇所</p> <p>測定方法及び測定対象化学物質</p> <p>・ 予備濃度測定 測定方法（ ・ 検知管法 ・ ） 測定対象化学物質 ホルムアルデヒド・トルエン ・ 濃度測定（引渡し前） 測定方法（ ） 測定に要する資機材は受注者が準備する。 学校施設の場合 ・ 厚生労働省の標準測定法 ・ 学校施設以外の場合 ・ パッシング型採取機器 ・ 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定</p>			<p>20 著作権</p> <p>21 設備工事との取り合い</p>																																																	
<p>1.6 技術検査 <1.6.2></p> <p>技術検査に必要な資機材等は以下による。</p> <p>バケツ、懐中電灯、木槌、鏡、脚立、ドライバー、チョーク、下げ張り、レベル、スコップ、スチールテープ（50m程度）、散水ホース、ガラス厚を測定する器具、その他監督職員が指示する資機材</p> <p>下記のものを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影時期</th> <th>撮影場所</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラー</td> <td>サービス版(L版)</td> <td>着工前、施工中、完成</td> <td>適宜</td> <td>1部 電子データ共</td> </tr> </tbody> </table> <p>電子データの提出方法については「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。</p> <p>工事写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック」、「営繕工事写真撮影要領（最新版）」及び「デジタル工事写真の小黒板情報電子化基準」による。</p> <p>下記のものを監督職員に提出する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格等</th> <th>撮影箇所</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ 電子データ（CD-R）</td> <td>箇所</td> <td>1部</td> </tr> </tbody> </table> <p>写真の撮影箇所を記入すること。（電子データの写真のファイル名も同様） 電子データの提出方法については「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。 作成方法は「山口県営繕工事完成図作成要領」、「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。 次に記載されていない事項は、監督職員の指示による。</p>			分類・規格	撮影時期	撮影場所	部数	備考	カラー	サービス版(L版)	着工前、施工中、完成	適宜	1部 電子データ共	分類・規格等	撮影箇所	部数	◎ 電子データ（CD-R）	箇所	1部	<p>20 著作権</p> <p>21 設備工事との取り合い</p>																																	
分類・規格	撮影時期	撮影場所	部数	備考																																																
カラー	サービス版(L版)	着工前、施工中、完成	適宜	1部 電子データ共																																																
分類・規格等	撮影箇所	部数																																																		
◎ 電子データ（CD-R）	箇所	1部																																																		
<p>1.8 完成写真</p>			<p>20 著作権</p> <p>21 設備工事との取り合い</p>																																																	
<p>1.9 完成時の提出図書等 <1.7.1~3> (23.3.4)</p>			<p>20 著作権</p> <p>21 設備工事との取り合い</p>																																																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>5</th> <th>工事名</th> <th>建築工事特記仕様書9-1</th> <th>A</th> <th>-</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>下松市</td> <td>株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道</td> <td>設計変更 回</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		年度	5	工事名	建築工事特記仕様書9-1	A	-	1		下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回	4	7	2																																		
年度	5	工事名	建築工事特記仕様書9-1	A	-	1																																														
	下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回	4	7	2																																														

14	無筋コンクリート (6.14.1)	<table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 (Fc) (N/mm2)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>普通コンクリート</td> <td>◎ 18</td> <td>◎ 15 ・ 18</td> <td>・ 街きよ、縁石、側溝類のコンクリート 及びこれらの基礎コンクリート ・ 間知石積みの基礎及び裏込めコンクリート ◎捨てコンクリート ・ 機械室等で用いる配管埋設用コンクリート ・ 防水層の保護コンクリート</td> </tr> </table>	コンクリートの種類	設計基準強度 (Fc) (N/mm2)	スラブ (cm)	適用箇所	普通コンクリート	◎ 18	◎ 15 ・ 18	・ 街きよ、縁石、側溝類のコンクリート 及びこれらの基礎コンクリート ・ 間知石積みの基礎及び裏込めコンクリート ◎捨てコンクリート ・ 機械室等で用いる配管埋設用コンクリート ・ 防水層の保護コンクリート	4	釘及び木ねじ <5.2.4><5.5.7> <5.5.9>	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・ すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> </table>	釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘			種類	材質	その他	・ 鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ 太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ			種類	材質	その他	・ 十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	12	アンカーボルトの設置等 <5.5.3>	<ul style="list-style-type: none"> 丸太材 <ul style="list-style-type: none"> 機械加工 ・ A種 ・ B種 <表5.4.6> 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 <表5.4.7> 木材保護塗料塗リ <ul style="list-style-type: none"> 施工箇所 ※図示 種別 ・ A種 ※B種 																			
	コンクリートの種類	設計基準強度 (Fc) (N/mm2)	スラブ (cm)	適用箇所																																																										
普通コンクリート	◎ 18	◎ 15 ・ 18	・ 街きよ、縁石、側溝類のコンクリート 及びこれらの基礎コンクリート ・ 間知石積みの基礎及び裏込めコンクリート ◎捨てコンクリート ・ 機械室等で用いる配管埋設用コンクリート ・ 防水層の保護コンクリート																																																											
釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘																																																														
種類	材質	その他																																																												
・ 鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																													
・ 太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																													
・ ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																													
木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ																																																														
種類	材質	その他																																																												
・ 十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																												
・ すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																																												
15	コンクリート単位水量測定	「レディーミクストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営建第95号)及び「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について(平成15年11月10日付け国営技第71号)に基づき実施する。 なお、測定方法は「レディーミクストコンクリート単位水量測定要領(案)」による。 測定の対象は、延床面積1,500㎡以上の新築工事とする。	5	ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 <5.2.4><5.5.10>	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">Z、C、X、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 六角ボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 座金</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・ Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書5.2.2による 寸法 ※図示 座金の種別 ・ 引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.3()種 ・ せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.4()種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示 座金の種別 ・ 引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.3()種 ・ せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.4()種</p> <p>表面処理 ※図示</p>	Z、C、X、D、Sマーク表示金物			種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	・ アンカーボルト			・ 六角ボルト			・ 座金			13	基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ (15.3.2)<5.5.4>	埋込み深さ ※図示 保持、及び埋込み工法 ・ A種 ・ B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm 図示																																							
Z、C、X、D、Sマーク表示金物																																																														
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																																												
・ アンカーボルト																																																														
・ 六角ボルト																																																														
・ 座金																																																														
4	1	防腐・防蟻処理 <4.2.1~3>	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">処理の種類及び処理の方法</th> </tr> <tr> <th>適用部材</th> <th>防腐・防蟻処理が不要な樹種</th> <th>薬剤の加圧注入</th> <th>薬剤の塗布等</th> </tr> <tr> <td>◎土台(ひのき)</td> <td>・</td> <td>・ K2 ◎K3 ・ K4</td> <td>・ 行う</td> </tr> </table> <p>インサイジング ・ 適用する ・ 適用しない ◎薬剤の塗布等による処理 薬剤の種類 ・ 図示 適用部材 ・ 図示 処理の方法 ※木造標準仕様書4.2.1(9)(b)による ・ 図示 ・ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入(K3)による防腐・防蟻処理 適用部位 ※図示 ・ 地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理 適用は木造標準仕様書4.2.2(7)による(イ)による ◎地盤の土壌の防蟻処理 使用する薬剤 有効成分の系統() 剤型の種類 ◎液剤 ・ 粒剤 処理方法及び使用量 ◎帯状散布(帯状の幅:約20cm) 液剤:処理長さ1L/m 粒剤:() ・ 面状散布 液剤:3L/m² 粒剤:()</p>	処理の種類及び処理の方法				適用部材	防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等	◎土台(ひのき)	・	・ K2 ◎K3 ・ K4	・ 行う	適用部位	処理の方法					6	ラグスクリュー <5.2.4><5.5.11>	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">Z、C、X、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ ラグスクリュー</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー ※図示</p>	Z、C、X、D、Sマーク表示金物			種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	・ ラグスクリュー			14	建方精度 <5.5.6>	建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下 図示																										
		処理の種類及び処理の方法																																																												
適用部材	防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等																																																											
◎土台(ひのき)	・	・ K2 ◎K3 ・ K4	・ 行う																																																											
適用部位	処理の方法																																																													
Z、C、X、D、Sマーク表示金物																																																														
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																																												
・ ラグスクリュー																																																														
2	防腐措置 <4.2.4>	<p>基礎外周部の換気孔 ◎基礎パッキン 材質等() ※防鼠スクリーン又は防虫網 ・ 換気孔 ※防鼠スクリーン又は防虫網 小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3) ・ (a) ◎ (b) ・ (c) ・ (d) ・ (e) 換気孔の大きさ ※図示</p>	7	ドリフトピン <5.2.4><5.5.12>	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">ドリフトピン</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ ドリフトピン</td> <td>※SS400</td> <td>※丸鋼</td> <td></td> </tr> </table>	ドリフトピン				種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ ドリフトピン	※SS400	※丸鋼		15	接合金物の工法 <5.5.8>	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・ 埋め木 ・ 簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ・ ()																																										
ドリフトピン																																																														
種類	材質等	径・寸法等	表面処理																																																											
・ ドリフトピン	※SS400	※丸鋼																																																												
5	1	木材 <5.2.2>	軸組構法(壁構造系)工事に使用する木材は、使用材料表1による	8	木栓及び木だぼ <5.2.4><5.5.13>	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">木栓及び木だぼ</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>形状・長さ等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 木栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木だぼ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	木栓及び木だぼ				種類	樹種	形状・長さ等	その他	・ 木栓				・ 木だぼ				16	釘及び木ねじの工法 <5.5.9>	構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木																																					
		木栓及び木だぼ																																																												
種類	樹種	形状・長さ等	その他																																																											
・ 木栓																																																														
・ 木だぼ																																																														
2	構造用面材 <5.2.3>	軸組構法(壁構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表2による	9	接着剤 <5.2.4>	<ul style="list-style-type: none"> 床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類(床根太用接着剤JIS A 5550) 種類() 接着剤による接合 ・ 接着剤を併用した接合 接着剤の種類() 	17	火打土台 <5.6.2>	・ 木材の火打土台 ・ 鋼製火打土台																																																						
3	接合金物 <5.2.4>	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">Z、C、X、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 筋かいプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・ Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p>	Z、C、X、D、Sマーク表示金物				種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	・ 火打金物				・ 筋かいプレート				・ 引き寄せ金物				・ 梁受け金物				10	孔あけ加工 <5.4.3>	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書5.4.2による ・ 図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 図示	18	火打梁 <5.7.8><5.8.6>	小屋組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁 床組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁																														
Z、C、X、D、Sマーク表示金物																																																														
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他																																																											
・ 火打金物																																																														
・ 筋かいプレート																																																														
・ 引き寄せ金物																																																														
・ 梁受け金物																																																														
軸組構法(壁構造系)工事	2	接合金物 <5.2.4>	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">Z、C、X、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 筋かいプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・ Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p>	Z、C、X、D、Sマーク表示金物				種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	・ 火打金物				・ 筋かいプレート				・ 引き寄せ金物				・ 梁受け金物				11	表面の仕上げ <5.4.4>(18.13.2)	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・ 製材 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 <表5.4.3> 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 <表5.4.5> ・ 構造用集成材 機械加工 ・ A種 ※B種 <表5.4.4>	19	床束 <5.8.2>	・ 木製床束 ・ 鋼製床束 ・ 樹脂製床束																													
		Z、C、X、D、Sマーク表示金物																																																												
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他																																																											
・ 火打金物																																																														
・ 筋かいプレート																																																														
・ 引き寄せ金物																																																														
・ 梁受け金物																																																														
3	接合金物 <5.2.4>	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">Z、C、X、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎筋かいプレート</td> <td>Z</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎引き寄せ金物</td> <td>Z</td> <td>10kN及び15kN(図示)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Z、C、X、D、Sマーク表示金物				種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	・ 火打金物				◎筋かいプレート	Z			◎引き寄せ金物	Z	10kN及び15kN(図示)		・ 梁受け金物				6	軸組構法(軸構造系)工事	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">Z、C、X、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎筋かいプレート</td> <td>Z</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎引き寄せ金物</td> <td>Z</td> <td>10kN及び15kN(図示)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Z、C、X、D、Sマーク表示金物				種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	・ 火打金物				◎筋かいプレート	Z			◎引き寄せ金物	Z	10kN及び15kN(図示)		・ 梁受け金物				6	① 木材 <6.2.2>	軸組構法(軸構造系)工事に使用する木材は、使用材料表3による						
Z、C、X、D、Sマーク表示金物																																																														
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他																																																											
・ 火打金物																																																														
◎筋かいプレート	Z																																																													
◎引き寄せ金物	Z	10kN及び15kN(図示)																																																												
・ 梁受け金物																																																														
Z、C、X、D、Sマーク表示金物																																																														
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他																																																											
・ 火打金物																																																														
◎筋かいプレート	Z																																																													
◎引き寄せ金物	Z	10kN及び15kN(図示)																																																												
・ 梁受け金物																																																														
②	接合金物 <6.2.4>	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">Z、C、X、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎筋かいプレート</td> <td>Z</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎引き寄せ金物</td> <td>Z</td> <td>10kN及び15kN(図示)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Z、C、X、D、Sマーク表示金物				種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	・ 火打金物				◎筋かいプレート	Z			◎引き寄せ金物	Z	10kN及び15kN(図示)		・ 梁受け金物				②	構造用面材 <6.2.3>	軸組構法(軸構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による																																	
Z、C、X、D、Sマーク表示金物																																																														
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他																																																											
・ 火打金物																																																														
◎筋かいプレート	Z																																																													
◎引き寄せ金物	Z	10kN及び15kN(図示)																																																												
・ 梁受け金物																																																														
③	接合金物 <6.2.4>	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">Z、C、X、D、Sマーク表示金物</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎筋かいプレート</td> <td>Z</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎引き寄せ金物</td> <td>Z</td> <td>10kN及び15kN(図示)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	Z、C、X、D、Sマーク表示金物				種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	・ 火打金物				◎筋かいプレート	Z			◎引き寄せ金物	Z	10kN及び15kN(図示)		・ 梁受け金物				③	接合金物 <6.2.4>	<ul style="list-style-type: none"> Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外 ※図示 Z、C、X、D、Sマーク表示金物 																																	
Z、C、X、D、Sマーク表示金物																																																														
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他																																																											
・ 火打金物																																																														
◎筋かいプレート	Z																																																													
◎引き寄せ金物	Z	10kN及び15kN(図示)																																																												
・ 梁受け金物																																																														
④	釘及び木ねじ <6.2.4><6.5.10>	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>◎鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・ すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> </table>	釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘			種類	材質	その他	◎鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ 太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		・			・			種類	材質	その他	・ 十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	④	釘及び木ねじ <6.2.4><6.5.10>	<ul style="list-style-type: none"> Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>◎鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ 十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・ すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> </table>	種類	材質	その他	◎鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ 太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		・			・			種類	材質	その他	・ 十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135
釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘																																																														
種類	材質	その他																																																												
◎鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																													
・ 太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																													
・ ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																													
・																																																														
・																																																														
種類	材質	その他																																																												
・ 十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																												
・ すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																																												
種類	材質	その他																																																												
◎鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																													
・ 太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																													
・ ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																													
・																																																														
・																																																														
種類	材質	その他																																																												
・ 十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																												
・ すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																																												
		年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	建築工事特記仕様書9-3	A - 3																																																							
		下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47 - 4																																																								

<p>5 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 <6.2.4><6.5.11></p>	<p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○アンカーボルト</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・六角ボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・座金</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書表6.2.2による 寸法 ※図示 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.3()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.4()種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示 座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.3()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表6.2.4()種</p> <p>表面処理 ※図示</p>	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	○アンカーボルト	Z		・六角ボルト			・座金			<p>15 建方精度 <6.5.7></p> <p>16 接合金物の工法 <6.5.9></p> <p>17 釘及び木ねじの工法 <6.5.10></p> <p>18 輪型ジベル <6.5.15></p> <p>19 圧入型ジベル <6.5.16></p>	<p>建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下 ・図示</p> <p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ・()</p> <p>構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木</p> <p>輪型ジベル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質・形状・寸法等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>圧入型ジベル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質・形状・寸法等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>火打土台 <6.6.2></p> <p>火打梁 <6.7.8><6.8.6></p> <p>床束 <6.8.2></p> <p>・木製の火打土台 ・鋼製火打土台</p> <p>小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁</p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	種類	材質・形状・寸法等	・		種類	材質・形状・寸法等	・		<p>5 接着剤 <7.2.4></p> <p>6 アンカーボルトの設置 <7.5.3></p> <p>7 基礎天端均し モルタルの仕上げ <7.5.4></p> <p>8 床束 <7.7.2></p>	<p>座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表7.2.5()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表7.2.6()種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示</p> <p>座金の種別 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書表7.2.5()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書表7.2.6()種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>埋込み深さ ・ 図示 保持及び埋込み工法 ・ A種 ・ B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・ 図示</p> <p>材料 ・ 木造標準仕様書7.5.4(7)による ・ 無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示</p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>																						
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																													
○アンカーボルト	Z																																														
・六角ボルト																																															
・座金																																															
種類	材質・形状・寸法等																																														
・																																															
種類	材質・形状・寸法等																																														
・																																															
<p>6 ラグスクリュー <6.2.4></p>	<p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリュー</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> </table> <p>・Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー ※図示</p>	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	・ラグスクリュー	Z		<p>20 火打土台 <6.6.2></p> <p>21 火打梁 <6.7.8><6.8.6></p> <p>22 床束 <6.8.2></p>	<p>・木製の火打土台 ・鋼製火打土台</p> <p>小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁</p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	<p>8 1 丸太組壁用木材 <8.2.2></p> <p>2 丸太組壁以外に用いる木材 <8.2.3></p> <p>3 構造用面材 <8.2.4></p> <p>4 接合金物 <8.2.5></p>	<p>丸太組壁用使用する木材は、使用材料表6による</p> <p>丸太組壁以外に使用する木材は、使用材料表6による</p> <p>丸太組構法工事に使用する構造用面材は、使用材料表7による</p> <p>M、Z、C、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>M、Z、C、D、Sマークの規格等</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・支柱高さ調整金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>M、Z、C、D、Sマーク表示金物には付属する接合具も含む。 ・M、Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p> <p>Zマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Zマークの規格等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリューだぼ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・Zマーク表示金物以外のだぼ ※図示</p>	種類	M、Z、C、D、Sマークの規格等	短期許容耐力(kN)	その他	・支柱高さ調整金物				種類	Zマークの規格等	その他	・ラグスクリューだぼ			・																					
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																													
・ラグスクリュー	Z																																														
種類	M、Z、C、D、Sマークの規格等	短期許容耐力(kN)	その他																																												
・支柱高さ調整金物																																															
種類	Zマークの規格等	その他																																													
・ラグスクリューだぼ																																															
・																																															
<p>7 ドリフトピン <6.2.4><6.5.13></p>	<p>ドリフトピン</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>※SS400</td> <td>※丸鋼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼		・				<p>7 1 木材等 <7.2.2,3></p> <p>2 釘及び木ねじ <7.2.4></p>	<p>枠組壁工法工事に使用する木材等は、使用材料表5による</p> <p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・ドリリングタッピングねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1125</td> </tr> </table>	種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ドリリングタッピングねじ	ステンレス製	JIS B 1125	<p>5 だぼ <8.2.5></p>	<p>だぼ <8.2.5></p> <p>Zマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Zマークの規格等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリューだぼ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・Zマーク表示金物以外のだぼ ※図示</p>	種類	Zマークの規格等	その他	・ラグスクリューだぼ			・		
種類	材質等	径・寸法等	表面処理																																												
・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼																																													
・																																															
種類	材質	その他																																													
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																														
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																														
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																														
種類	材質	その他																																													
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																													
・ドリリングタッピングねじ	ステンレス製	JIS B 1125																																													
種類	Zマークの規格等	その他																																													
・ラグスクリューだぼ																																															
・																																															
<p>8 木栓及び木だぼ <6.2.4></p>	<p>木栓及び木だぼ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>形状・長さ等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・木栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木だぼ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	樹種	形状・長さ等	その他	・木栓				・木だぼ				<p>3 接合金物 <7.2.4></p>	<p>C、Z、X、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>C、Z、X、D、Sマーク等の規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	C、Z、X、D、Sマーク等の規格	短期許容耐力(kN)	その他	・引き寄せ金物				・梁受け金物				<p>6 ジャッキボルト <8.2.5></p>	<p>ジャッキボルト</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>寸法・形状</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・SS400</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材質等	寸法・形状	表面処理	・	・SS400	図示		・	・	図示							
種類	樹種	形状・長さ等	その他																																												
・木栓																																															
・木だぼ																																															
種類	C、Z、X、D、Sマーク等の規格	短期許容耐力(kN)	その他																																												
・引き寄せ金物																																															
・梁受け金物																																															
種類	材質等	寸法・形状	表面処理																																												
・	・SS400	図示																																													
・	・	図示																																													
<p>9 接着剤 <6.2.4></p>	<p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p>	<p>4 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 <7.5.8><7.2.4></p>	<p>C、Z、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・C、Z、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p> <p>C、Z、X、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>C、Z、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・六角ボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・座金</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>C、Z、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・C、Z、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書表7.2.4による 寸法 ※図示</p>	種類	C、Z、X、D、Sマークの規格	その他	・アンカーボルト			・六角ボルト			・座金			<p>7 垂木用スライド金物 <8.2.5></p>	<p>垂木用スライド金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>寸法・形状</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・SS400</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材質等	寸法・形状	表面処理	・	・SS400	図示		・	・	図示																			
種類	C、Z、X、D、Sマークの規格	その他																																													
・アンカーボルト																																															
・六角ボルト																																															
・座金																																															
種類	材質等	寸法・形状	表面処理																																												
・	・SS400	図示																																													
・	・	図示																																													
<p>10 現寸図 <6.4.2></p>	<p>床書き現寸図を作成する</p>			<p>8 釘及び木ねじ <8.2.5></p>	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																															
種類	材質	その他																																													
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																														
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																														
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																														
<p>11 孔あけ加工 <6.4.5></p>	<p>ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表6.4.1による ・図示</p> <p>ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示</p>																																														
<p>12 表面の仕上げ <6.4.6>(18.12.2)</p>	<p>見え掛り面の表面の仕上げの程度</p> <p>○製材</p> <p>機械加工 ・ A種 ○B種 ・ C種 <表6.4.2> 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 <表6.4.4></p> <p>・構造用集成材 機械加工 ・ A種 ※B種 <表6.4.3></p> <p>・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・ A種 ・ B種</p>																																														
<p>13 アンカーボルトの設置 <6.5.3></p>	<p>埋込み深さ ※図示 保持及び埋込み工法 ・ A種 ○B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・ 図示</p>																																														
<p>14 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ (15.3.2)<6.5.4></p>	<p>材料 ○木造標準仕様書6.5.4(7)による ・ 無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示 柱底均しモルタルの工法 ※B種 ・ A種</p>																																														

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	建築工事特記仕様書9-4	A - 4
	下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47 - 5

9	ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <8.2.5>	M、Zマーク表示金物 種類 M、Zマークの規格等 その他 ・アンカーボルト ・座金	20 基礎天端及び柱底 均しモルタルの 仕上げ <8.5.4> 21 通しボルトの増締め <8.5.7> 22 ジャッキボルトの 増締め <8.5.8> 23 釘及び木ねじの工法 <8.5.11> 24 火打土台 <8.6.2> 25 火打梁 <8.7.9><8.8.6> 26 床束 <8.8.2> 27 階段 <8.9.7>	材料 ・木造標準仕様書8.5.4(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示 ・木造標準仕様書8.5.7(9)(イ)の工法 ・図示 ・木造標準仕様書8.5.7(9)(ウ)の(a)～(c)以外の時期に増締めを行う場合の時期() ・木造標準仕様書8.5.8(2)の(7)～(ウ)以外の時期に増締めを行う場合の時期() 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木 ・木材の火打土台 ・鋼製の火打土台 小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 ・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束 階段の取付け ※木造標準仕様書8.9.7(1)による ・(7) ・(イ) ・(ウ) ・図示	5 ラグスクリュー <9.2.3><9.5.12> 6 ドリフトピン <9.2.3><9.5.13> 7 接着剤 <9.2.3> 8 孔あけ加工 <9.4.4> 9 表面の仕上げ <9.4.5>(18.12.2) 10 アンカーボルトの 設置 <9.5.4> 11 基礎天端均し モルタルの仕上げ <9.5.4>(15.3.2) 12 建方精度 <9.5.7> 13 接合金物の工法 <9.5.9> 14 釘及び木ねじの工法 <9.5.10>	X、Z、C、D、Sマーク表示金物 種類 X、Z、C、D、Sマークの規格 その他 ・ラグスクリュー ・ ・X、Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー ※図示 ドリフトピン 種類 材質等 径・寸法等 表面処理 ・ドリフトピン ※SS400 ※丸鋼 ・ ・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類(床根太用接着剤JIS A 5550) 種類() ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類() ボルト孔の径 ※木造標準仕様書6.4.11による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示 表面の仕上げの程度 CLTパネル ※A種 ・B種 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ・B種 埋込み深さ ・ 図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種(土台を設ける場合) 埋込み位置の許容誤差 ・±2mm ・±5mm(土台を設ける場合) 材料 ・木造標準仕様書9.5.4(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示 建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ床及び壁の天端の平坦さ±3mm以下 ・図示 熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 ・() 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木	
		10 通しボルト、 高ナット及び座金 <8.2.5>					Mマーク表示金物 種類 Mマークの規格等 その他 ・通しボルト
11	接着剤 <8.2.5>	・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類(床根太用接着剤JIS A 5550) 種類()	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
12	断面加工 <8.4.2>	機械加工 断面形状 木造標準仕様書8.4.11による ・(イ) ・(ロ) ・(ハ) ・(ニ) さね形状 ※製造所の仕様 ・図示	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
13	交差部形状加工 <8.4.3>	交差部の形状 ※製造所の仕様 ・図示 突出部分が壁面から200mm未満の場合の補強方法 ※図示	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
14	丸太組壁用木材の 表面仕上げ <8.4.5>(18.12.2)	機械加工 ※自動機械かんな掛け仕上げ ・図示 手加工 ※ちような、曲面かんな又はディスクサンダー掛け ・図示 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
15	孔あけ加工 <8.4.6>	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書8.4.4による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
16	丸太組壁以外に 設ける木材の 表面仕上げ <8.4.6>(18.12.2)	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 ・機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 <表8.4.5> ・構造用集成材 ・機械加工 ・A種 ※B種 <表8.4.6> ・丸太材 ・機械加工 ・A種 ・B種 <表8.4.7> ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
17	継手の方法 <8.4.7>	丸太組壁用木材に設ける継手の方法 ※木造標準仕様書8.4.7(2) ・図示	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
18	仮組立 <8.4.9>	※適用する	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
19	アンカーボルトの 設置 <8.5.3>	埋込み深さ ・ 図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm以下 ・()	9 1 木材 <9.2.2> 2 接合金物 <9.2.3> 3 釘及び木ねじ <9.5.10><9.2.3> 4 ボルト、アンカー ボルト、ナット及び 座金 <9.2.3><9.5.12>	CLTパネル 工法工事 10 木 工 事	1 材料 <10.2.2><10.2.3> <10.2.4> ① 釘 ・JIS A 5508 材質() ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質() ・造作材化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ② 木ねじ ・JIS B 1112又はJIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112又はJIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質() ・見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種) ・手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 ・造作用集成材 ・機械加工(・A種 ② B種 ・C種)		
				年度 5	工事名 恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	建築工事特記仕様書9-5	A - 5
				下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回	47 - 6

金属工事	1	5	工法(受材) (14.1.3)	<p>とい受金物</p> <p>材種 ・ 溶融亜鉛めっきを行った鋼板製 ・ 鋼板製</p> <p>形状 ・ 市販品(とい径100以下) ・ 25×4.5以上</p> <p>足金物</p> <p>材種 ・ 溶融亜鉛めっきを行った鋼板製 ・ 鋼板製</p> <p>多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>硬質塩化ビニル製集水器の形状 ・ 図示</p> <p>硬質塩化ビニル製あんこうの形状 ・ 図示</p>	2	仕上塗材仕上げ (15.6.2)	<p>・ 薄付け仕上塗材 表15.6.1</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th colspan="2">仕上りの形状</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状</td> <td>・ 着色骨材砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材S</td> <td>・ 砂壁状</td> <td></td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>塗り回数は仕上塗材製造所の指定による</p> <p>吸放湿性を有する内装薄塗材 ・ 使用する ・ 使用しない</p> <p>・ 厚付け仕上塗材 表15.6.1</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th colspan="2">仕上りの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材</th> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材C</td> <td>スタック状</td> <td>・ 吹放し</td> <td>吹付け</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材E</td> <td></td> <td>・ 凸部処理</td> <td></td> <td>・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・ ひき起し</td> <td>こて</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・ 凸部処理</td> <td></td> <td>・ 行わない</td> </tr> </table>	呼び名	仕上りの形状		工法	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け	・ 外装薄塗材S	・ 砂壁状		吹付け	・				・				呼び名	仕上りの形状		工法	上塗材	・ 外装厚塗材C	スタック状	・ 吹放し	吹付け	・ 行う	・ 外装厚塗材E		・ 凸部処理		・ 行わない	・		・ ひき起し	こて	・ 行う	・		・ 凸部処理		・ 行わない	4	木製建具 (16.7.2~4)	<p>材料 図示による</p> <p>形状及び仕上げ</p> <p>フラッシュ戸 表16.7.6</p> <p>空気穴を2箇所以上に設けること</p> <p>表面板の厚さ 普通合板 ・ 2.5mm以上 ・</p> <p>天然木化粧合板 ・ 3.2mm以上 ・</p> <p>特殊加工化粧合板 ・ 2.4mm以上 ・</p> <p>かまち戸、ふすま、戸ぶすま、紙張り障子の見込み寸法 図示による</p> <p>工法 引き戸の召し合せかまち(・いんろう付き ・)</p> <p>取合い ・ 標準詳細図4- - による ・ 図示による</p> <p>材質、形状及び寸法 図示による</p> <p>評価名簿によるもの</p> <p>シリンダー箱錠、シリンダー本締り錠</p> <p>ドアクローザー (・ バラレ型 ・)</p> <p>ヒンジクローザー (・ 丁番形 ・ 持出し吊り込み型 ・ 中心吊り込み型 ・)</p> <p>フロアヒンジ (・ 中心吊り込み(両自由) ・)</p> <p>⊙ マスターキー ⊙ 有(2)組 ・ 無</p>		
				呼び名			仕上りの形状		工法																																																
				・ 外装薄塗材E			・ 砂壁状	・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け																																																
				・ 外装薄塗材S			・ 砂壁状		吹付け																																																
				・																																																					
				・																																																					
				呼び名			仕上りの形状		工法	上塗材																																															
				・ 外装厚塗材C			スタック状	・ 吹放し	吹付け	・ 行う																																															
				・ 外装厚塗材E				・ 凸部処理		・ 行わない																																															
				・				・ ひき起し	こて	・ 行う																																															
・		・ 凸部処理		・ 行わない																																																					
5	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>被膜又は複合被膜の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>被膜又は複合被膜の種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	被膜又は複合被膜の種類	施工箇所	種別	被膜又は複合被膜の種類	施工箇所													5	建具用金物 (16.8.2~4)	<p>形式及び機構</p> <p>種類 図示による</p> <p>安全装置の設置箇所 ・ 図示による</p> <p>防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする。</p> <p>耐風圧強度(管理用シャッター、外壁用防火シャッター) ・ 図示による ・</p> <p>開閉機能による種類 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 表16.11.1</p> <p>危害防止装置 標準仕様書16.11.2(4)(ウ)による</p> <p>シャッターケース(防火・防煙以外) ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>材料(製造所:評価名簿による)</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板 種類()</p> <p>めっきの付着量 ・ Z12又はF12を満足するもの</p>																																		
		種別	被膜又は複合被膜の種類	施工箇所	種別	被膜又は複合被膜の種類	施工箇所																																																		
		3	鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)	<p>・ 常温乾燥形塗装 表面処理()</p> <p>陽極酸化皮膜 着色方法 ・ 二次電解着色 ・</p> <p>色 ・ 標準色 ・ 特注色 表14.2.2</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・ A種		・ C種		・ B種		・		6	重量シャッター (16.11.2~3)	<p>形式及び機構</p> <p>種類 図示による</p> <p>安全装置の設置箇所 ・ 図示による</p> <p>防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする。</p> <p>耐風圧強度(管理用シャッター、外壁用防火シャッター) ・ 図示による ・</p> <p>開閉機能による種類 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 表16.11.1</p> <p>危害防止装置 標準仕様書16.11.2(4)(ウ)による</p> <p>シャッターケース(防火・防煙以外) ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>材料(製造所:評価名簿による)</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板 種類()</p> <p>めっきの付着量 ・ Z12又はF12を満足するもの</p>																																						
				種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																		
				・ A種		・ C種																																																			
				・ B種		・																																																			
				4	軽量鉄骨天井地 (14.4.2~4)	<p>野縁等の種類 ⊙ 屋内(⊙ 19形 ・)</p> <p>・ 屋外(・ 25形 ・)</p> <p>野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔は図示による。</p> <p>屋外の野縁の間隔 ・ 図示による ・</p> <p>工法</p> <p>構成 ・ 標準詳細図3- - による ・ 図示による</p> <p>開口部の補強方法 吊りボルトの間隔が900を超える場合()</p> <p>・ 天井のふところが3mを超える場合 補強箇所及び補強方法は図示による。</p> <p>・ 天井下地における耐震性を考慮した補強(範囲及び補強方法は図示による)</p> <p>・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強</p> <p>「建築基準法」に基づき定まる風圧力の(・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の耐風圧性能</p>	7	軽量シャッター (16.12.2~4)	<p>形式及び機構</p> <p>開閉方式 ⊙ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)</p> <p>耐風圧強度 ・ 図示による ⊙ メーカー仕様による</p> <p>材料(製造所:評価名簿による)</p> <p>スラットの材質</p> <p>⊙ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312)</p> <p>めっきの付着量</p> <p>⊙ Z06又はF06を満足するもの</p>																																																
						5			軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)	<p>スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1</p> <p>・ 50形 ⊙ 65形 ⊙ 90形 ・ 100形</p> <p>・ スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示による</p> <p>構成 ・ 標準詳細図2- - による ・ 図示による</p>	8	オーバーヘッドドア (16.13.2~3)	<p>形式及び機構</p> <p>セクション材料による区分</p> <p>・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</p> <p>耐風圧性能JIS A 4715による</p> <p>強さの区分 (・ 500Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa ・ 1250Pa)に耐えるもの</p> <p>開閉形式による区分 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</p> <p>収納形式による区分</p> <p>・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形</p> <p>材料(製造所:評価名簿による)</p> <p>ガイドレールの材質 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・ ステンレス鋼板</p> <p>種類 ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・</p>																																												
6	金属成形板張り (14.6.2~3)									<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>製法</th> <th>表面処理</th> <th>寸法(mm)</th> <th>伸縮継手</th> <th>形状</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 7&Sバンドル</td> <td>・ 押し出し形材</td> <td>・ BB-1種</td> <td>板幅</td> <td>・ 設ける(図示)</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ ロール</td> <td>・ BB-2種</td> <td>板厚</td> <td>・ 設けない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ・ JIS A 6517(建築用鋼製下地材(壁・天井))</p>			種別	製法	表面処理	寸法(mm)			伸縮継手	形状	適用箇所	・ 7&Sバンドル	・ 押し出し形材	・ BB-1種	板幅	・ 設ける(図示)	・ 図示		・	・ ロール	・ BB-2種	板厚	・ 設けない			・							9	ガラス (16.14.2~4)	<p>板ガラス(標準仕様書の規定による材料又は評価名簿による)</p> <p>下記以外(品種・厚さの呼び等)は建具表による。</p> <p>・ フロート板ガラス(JIS R 3202Iによる)</p> <p>⊙ 型板ガラス(JIS R 3203Iによる)</p> <p>・ 網入板ガラス(JIS R 3204Iによる)</p> <p>・ 線入板ガラス(JIS R 3204Iによる)</p> <p>・ 合わせガラス(JIS R 3205Iによる)</p> <p>⊙ 強化ガラス(JIS R 3206Iによる)</p> <p>・ 熱線吸収板ガラス(JIS R 3208Iによる)</p> <p>・ 複層ガラス(JIS R 3209Iによる)</p> <p>・ 熱線反射ガラス(JIS R 3221Iによる)</p> <p>・ 倍強度ガラス(JIS R 3222Iによる)</p> <p>ガラス留め材</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>⊙ シーリング材 ・</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>⊙ シーリング材 ・ ガスケット(・ グレイジングチャンネル形 ・)</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・ シーリング材 ・</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>・ シーリング材</td> </tr> <tr> <td>上記建具のFIXの場合</td> <td>⊙ シーリング材</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による。</p>	建具の種類	材種	鋼製	⊙ シーリング材 ・	アルミニウム製	⊙ シーリング材 ・ ガスケット(・ グレイジングチャンネル形 ・)	ステンレス製	・ シーリング材 ・	木製	・ シーリング材	上記建具のFIXの場合	⊙ シーリング材
										種別			製法	表面処理	寸法(mm)	伸縮継手			形状	適用箇所																																					
										・ 7&Sバンドル			・ 押し出し形材	・ BB-1種	板幅	・ 設ける(図示)			・ 図示																																						
										・			・ ロール	・ BB-2種	板厚	・ 設けない																																									
		・																																																							
		建具の種類	材種																																																						
		鋼製	⊙ シーリング材 ・																																																						
		アルミニウム製	⊙ シーリング材 ・ ガスケット(・ グレイジングチャンネル形 ・)																																																						
		ステンレス製	・ シーリング材 ・																																																						
		木製	・ シーリング材																																																						
上記建具のFIXの場合	⊙ シーリング材																																																								
左官工事	1	6	モルタル塗り (15.3.2.5)	<p>材料</p> <p>・ 吸水調整材(製造所:評価名簿による) 表15.3.2</p> <p>・ 防水剤(製造所:評価名簿による)</p> <p>・ 既製目地材の適用及び形状は図示による</p> <p>工法</p> <p>床の目地 ・ 設ける</p> <p>目地割り ・ 2㎡程度、最大目地間隔3㎡程度 ・</p> <p>・ 3.6㎡程度の割付け間隔 ・</p> <p>目地の種類 ・ 押し目地 ・</p> <p>・ 設けない</p>	17	1	アルミニウム製建具 (16.2.2~5)	<p>性能値等</p> <table border="1"> <tr> <th>アルミニウム製建具の性能等級等</th> <td>・ A種 ⊙ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ D種 ・ E種</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級</p> <p>・ T-1 ・ T-2 ・ T-3</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級</p> <p>・ H-1 ・ H-2</p> <p>耐震ドアセットの面内変形追従性の等級</p> <p>・ D-1 ・ D-2 ・ D-3</p> <p>材料(製造所:評価名簿による)</p> <p>網戸等</p> <p>防虫網の材質</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製(SUS316)</td> <td>・ 0.25mm以上</td> <td>・ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・ ガラス繊維入り合成樹脂製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防虫網の材質 ・ ステンレス製(SUS304)径1.5mmピッチ15mm</p>	アルミニウム製建具の性能等級等	・ A種 ⊙ B種 ・ C種		・ D種 ・ E種	材質	線径	網目	・ ステンレス製(SUS316)	・ 0.25mm以上	・ 16~18メッシュ	・ ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・	・ 合成樹脂製			2	鋼製建具 (16.1.3) (16.4.2~4) (16.6.3)	<p>簡易気密ドアセット ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性</p> <p>・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級</p> <p>・ T-1 ・ T-2 ・ T-3</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級</p> <p>・ H-1 ・ H-2</p> <p>耐震ドアセットの面内変形追従性の等級</p> <p>・ D-1 ・ D-2 ・ D-3</p> <p>材料(製造所:評価名簿による)</p> <p>・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 形鋼</p> <p>鋼板類</p> <p>鋼板</p> <p>めっきの付着量</p> <p>・ Z12又はF12を満足するもの</p> <p>ステンレス鋼板</p> <p>種類</p> <p>・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS430J1 ・</p> <p>図示による</p>																														
				アルミニウム製建具の性能等級等				・ A種 ⊙ B種 ・ C種																																																	
								・ D種 ・ E種																																																	
				材質				線径	網目																																																
				・ ステンレス製(SUS316)				・ 0.25mm以上	・ 16~18メッシュ																																																
				・ ガラス繊維入り合成樹脂製				・	・																																																
				・ 合成樹脂製																																																					
				3				鋼製軽量建具 (16.5.2~4)	<p>性能値等</p> <table border="1"> <tr> <th>アルミニウム製建具の性能等級等</th> <td>・ A種 ⊙ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ D種 ・ E種</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級</p> <p>・ T-1 ・ T-2 ・ T-3</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級</p> <p>・ H-1 ・ H-2</p> <p>耐震ドアセットの面内変形追従性の等級</p> <p>・ D-1 ・ D-2 ・ D-3</p> <p>材料(製造所:評価名簿による)</p> <p>網戸等</p> <p>防虫網の材質</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製(SUS316)</td> <td>・ 0.25mm以上</td> <td>・ 16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・ ガラス繊維入り合成樹脂製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防虫網の材質 ・ ステンレス製(SUS304)径1.5mmピッチ15mm</p>	アルミニウム製建具の性能等級等	・ A種 ⊙ B種 ・ C種		・ D種 ・ E種	材質	線径	網目	・ ステンレス製(SUS316)	・ 0.25mm以上	・ 16~18メッシュ	・ ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・	・ 合成樹脂製																																		
									アルミニウム製建具の性能等級等	・ A種 ⊙ B種 ・ C種																																															
										・ D種 ・ E種																																															
材質	線径	網目																																																							
・ ステンレス製(SUS316)	・ 0.25mm以上	・ 16~18メッシュ																																																							
・ ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・																																																							
・ 合成樹脂製																																																									
年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)		建築工事特記仕様書9-7	A - 7																																																			
	下松市	株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道		設計変更 回	47 - 8																																																			

18	1	素地ごしらえ (18.2.2~7)	<ul style="list-style-type: none"> 木部 <ul style="list-style-type: none"> 不透明塗料塗り (A種・B種) 透明塗料塗り (A種・B種) 鉄鋼面 <ul style="list-style-type: none"> 種別 (A種・B種・C種) 耐候性塗料塗り(DP)の場合 種別 B種 亜鉛めっき鋼面 <ul style="list-style-type: none"> 鋼製建具等 種別 (A種・B種) 鋼製建具等以外 種別 (A種・B種) モルタル面及びせっこうプラスター面 <ul style="list-style-type: none"> 種別 (A種・B種) コンクリート面(耐候性塗料塗り(DP)の場合は除く)、ALCパネル面 <ul style="list-style-type: none"> 種別 (A種・B種) 押出成形セメント板面、コンクリート板面(耐候性塗料塗り(DP)の場合) <ul style="list-style-type: none"> 種別 (A種・B種) せっこうボード面及びその他ボード面 <ul style="list-style-type: none"> 目地 <ul style="list-style-type: none"> 継目処理工法 (A種・B種) その他 (A種・B種) 	表18.2.1 表18.2.2 表18.2.3 表18.2.4 表18.2.5 表18.2.6 表18.2.7	2	合成樹脂塗床 (19.4.2~3)	材料及び工法 <ul style="list-style-type: none"> 厚膜型塗床材 <ul style="list-style-type: none"> 弾性ウレタン樹脂系塗床 <ul style="list-style-type: none"> 仕上げの種類 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 表19.4.4 エポキシ樹脂系塗床材 <ul style="list-style-type: none"> 仕上げの種類 薄膜流しのべ仕上げ 厚膜流しのべ仕上げ 表19.4.5~7 樹脂モルタル仕上げ 薄膜型塗床材 <ul style="list-style-type: none"> 仕上げの種類 平滑仕上げ 表19.4.8 材料、工法等	2.0 ユニット及びその他の工事																																																																																																																																											
		2	錆止め塗料塗り (18.3.2~3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>工程の種類</th> <th colspan="2">塗料の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>見え掛り部分</td> <td>A種・B種</td> <td>SOPの場合</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>見え隠れ部分</td> <td>A種・B種</td> <td>DPの場合</td> <td>1回目C種 2、3回目D種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>鋼製建具等</td> <td>A種・B種</td> <td>EP-Gの場合</td> <td>A種・B種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具等以外</td> <td>A種・B種</td> <td>SOPの場合</td> <td>A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>DPの場合</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>EP-Gの場合</td> <td>C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(表18.4.1~表18.12.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装</th> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>A種・B種</td> <td>1種・2種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>A種・B種</td> <td>1種・2種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>A種・B種</td> <td>1種・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>1種・2種</td> </tr> <tr> <td>クリヤラッカー塗り(GL)</td> <td></td> <td>A種・B種</td> <td>透明・不透明</td> </tr> <tr> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td></td> <td>A種・B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>上塗り等級()級</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>上塗り等級()級</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>A種・B種・C種</td> <td>上塗り等級()級</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>A種・B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>A種・B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td></td> <td>A種・B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td></td> <td>A種・B種</td> <td>透明・不透明</td> </tr> <tr> <td>ステイン塗り</td> <td>屋内の木部</td> <td>ビクノリステイン塗り オイルステイン塗り(OS)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>屋外の木部</td> <td>A種・B種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			下地面等		工程の種類	塗料の種類		鉄鋼面	見え掛り部分	A種・B種	SOPの場合	A種	見え隠れ部分	A種・B種	DPの場合	1回目C種 2、3回目D種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	A種・B種	EP-Gの場合	A種・B種	鋼製建具等以外	A種・B種	SOPの場合	A種・B種				DPの場合	B種				EP-Gの場合	C種	塗装	適用箇所	種別	塗料の種類	合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	A種・B種	1種・2種	木部屋内	A種・B種	1種・2種	鉄鋼面	A種・B種	1種・2種		亜鉛めっき鋼面		1種・2種	クリヤラッカー塗り(GL)		A種・B種	透明・不透明	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		A種・B種	-	耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面		上塗り等級()級	亜鉛めっき鋼面		上塗り等級()級	コンクリート面及び押出成形セメント板面	A種・B種・C種	上塗り等級()級	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	A種・B種	-	屋内の木部		-	屋内の鉄鋼面	A種・B種	-		屋内の亜鉛めっき鋼面		-	合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		A種・B種	-	ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		A種・B種	透明・不透明	ステイン塗り	屋内の木部	ビクノリステイン塗り オイルステイン塗り(OS)	-	木材保護塗料塗り(WP)	屋外の木部	A種・B種	-	3	フローリング張り (一般用) (19.5.2~5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">単層フローリング 樹種 なら 厚さ及び大きさ 図示による</td> <td>フローリングボード1等 フローリングブロック1等</td> </tr> <tr> <td>釘留め工法 根太張り工法 直張り工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複合フローリング 樹種 なら 厚さ及び大きさ 図示による</td> <td>釘留め工法 根太張り工法 直張り工法</td> </tr> <tr> <td>釘留め工法 根太張り工法 直張り工法</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着工法 フローリングブロックの樹種、厚さ及び大きさは図示による。 緩衝材 合成樹脂発泡シート</p> <p>釘留め工法 根太張り工法 (A種・B種・C種) 直張り工法 (A種・B種・C種)</p> <p>接着工法 (A種・B種・C種) フローリングブロックの樹種、厚さ及び大きさは図示による。 緩衝材 合成樹脂発泡シート</p>	品名	工法	単層フローリング 樹種 なら 厚さ及び大きさ 図示による	フローリングボード1等 フローリングブロック1等	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法	複合フローリング 樹種 なら 厚さ及び大きさ 図示による	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法	4	畳敷き (19.6.2)	<p>構成 標準詳細図1-02- による 図示による</p> <p>種別 A種・B種・C種・D種 表19.6.1</p> <p>D種の場合の畳床記号 KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N</p> <p>構成 標準詳細図1-02- による 図示による</p>	5	せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り (19.7.2~3)	<p>せっこうボードその他のボード 表19.7.1</p> <p>種類及び厚さは図示による。</p> <p>「建築基準法」に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものを使用する箇所 図示による</p> <p>合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>表板の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁下地</td> <td>12</td> <td>生地のまま ラワン しな</td> <td>ラワン</td> <td>○する しない する しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>天然木化粧合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>する しない する しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>合板類の張付けの種類 A種・B種 表19.7.3</p> <p>せっこうボードの目地工法の種類 表19.7.5</p> <ul style="list-style-type: none"> 継目処理工法 (標準詳細図2-03- による 図示による) 突付け工法 (標準詳細図2-03- による 図示による) 目透し工法 (標準詳細図2-03- による 図示による) <p>「建築基準法」に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものを使用する箇所 図示による</p> <p>壁紙</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>防火性能の級別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	壁下地	12	生地のまま ラワン しな	ラワン	○する しない する しない	施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	防虫処理				する しない する しない	施工箇所	種類	防火性能の級別	備考			
下地面等		工程の種類	塗料の種類																																																																																																																																																
鉄鋼面	見え掛り部分	A種・B種	SOPの場合	A種																																																																																																																																															
	見え隠れ部分	A種・B種	DPの場合	1回目C種 2、3回目D種																																																																																																																																															
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	A種・B種	EP-Gの場合	A種・B種																																																																																																																																															
	鋼製建具等以外	A種・B種	SOPの場合	A種・B種																																																																																																																																															
			DPの場合	B種																																																																																																																																															
			EP-Gの場合	C種																																																																																																																																															
塗装	適用箇所	種別	塗料の種類																																																																																																																																																
合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	A種・B種	1種・2種																																																																																																																																																
	木部屋内	A種・B種	1種・2種																																																																																																																																																
	鉄鋼面	A種・B種	1種・2種																																																																																																																																																
	亜鉛めっき鋼面		1種・2種																																																																																																																																																
クリヤラッカー塗り(GL)		A種・B種	透明・不透明																																																																																																																																																
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		A種・B種	-																																																																																																																																																
耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面		上塗り等級()級																																																																																																																																																
	亜鉛めっき鋼面		上塗り等級()級																																																																																																																																																
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	A種・B種・C種	上塗り等級()級																																																																																																																																																
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	A種・B種	-																																																																																																																																																
	屋内の木部		-																																																																																																																																																
	屋内の鉄鋼面	A種・B種	-																																																																																																																																																
	屋内の亜鉛めっき鋼面		-																																																																																																																																																
合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		A種・B種	-																																																																																																																																																
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		A種・B種	透明・不透明																																																																																																																																																
ステイン塗り	屋内の木部	ビクノリステイン塗り オイルステイン塗り(OS)	-																																																																																																																																																
木材保護塗料塗り(WP)	屋外の木部	A種・B種	-																																																																																																																																																
品名	工法																																																																																																																																																		
単層フローリング 樹種 なら 厚さ及び大きさ 図示による	フローリングボード1等 フローリングブロック1等																																																																																																																																																		
	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法																																																																																																																																																		
複合フローリング 樹種 なら 厚さ及び大きさ 図示による	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法																																																																																																																																																		
	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理																																																																																																																																															
壁下地	12	生地のまま ラワン しな	ラワン	○する しない する しない																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	防虫処理																																																																																																																																																
			する しない する しない																																																																																																																																																
施工箇所	種類	防火性能の級別	備考																																																																																																																																																
19	1	ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り (19.2.2~3)	<p>材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発泡層のないもの</td> <td>FS</td> <td>無地 マーブル</td> <td>2.0 2.5</td> <td>突付け 熱溶接</td> </tr> <tr> <td>発泡層のあるもの</td> <td></td> <td>無地</td> <td>2.0 2.5</td> <td>突付け 熱溶接</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着剤の種類 表19.2.1による</p> <p>ビニル床タイル (構成 標準詳細図1-01- による 図示による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色柄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>FT</td> <td>2.0</td> <td>300×300</td> <td>ブレーション</td> </tr> <tr> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>FOA</td> <td>4.0以上</td> <td>450×450</td> <td>マーブル</td> </tr> <tr> <td>コンポジション</td> <td>KT</td> <td>2.0</td> <td>500×500</td> <td>特殊柄</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着剤の種類 表19.2.1による</p> <p>特殊機能床材(帯電防止)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>帯電防止床シート</td> <td>FS</td> <td>2.0</td> <td>-</td> <td>帯電防止性能評価値(JISA1455) 1.2以上~3.2未満</td> </tr> <tr> <td>帯電防止床タイル (置敷きビニル床タイル)</td> <td>FOA</td> <td>4.0以上</td> <td>-</td> <td>又は体積電気抵抗値(JISA1454) 1×10⁷~10⁹Ω程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>目地処理する場合の工法 熱溶接工法</p>	種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法	発泡層のないもの	FS	無地 マーブル	2.0 2.5	突付け 熱溶接	発泡層のあるもの		無地	2.0 2.5	突付け 熱溶接	種類	記号	厚さ(mm)	寸法(mm)	色柄	複層ビニル床タイル	FT	2.0	300×300	ブレーション	置敷きビニル床タイル	FOA	4.0以上	450×450	マーブル	コンポジション	KT	2.0	500×500	特殊柄	種類	記号	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考	帯電防止床シート	FS	2.0	-	帯電防止性能評価値(JISA1455) 1.2以上~3.2未満	帯電防止床タイル (置敷きビニル床タイル)	FOA	4.0以上	-	又は体積電気抵抗値(JISA1454) 1×10 ⁷ ~10 ⁹ Ω程度	表18.2.1 表18.2.2 表18.2.3 表18.2.4 表18.2.5 表18.2.6 表18.2.7	1	断熱材等材料 <20.1.2~4>	<p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ 規制対象外</p>	7	断熱材	<p>施工箇所 ※ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断熱材の種類</th> <th>規格番号</th> <th>厚さ又は使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フェルト状断熱材</td> <td rowspan="2">JIS A 9521</td> <td>天井 t=100 24kg/m³</td> </tr> <tr> <td>ボード状断熱材</td> <td>壁 t=100 24kg/m³</td> </tr> <tr> <td>ばら状断熱材</td> <td>JIS A 9523</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場発泡断熱材</td> <td>JIS A 9526</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現場発泡断熱材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカリール試験)に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 原液試験(原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。</p> <p>(2) 発泡品試験</p> <p>1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。</p> <p>2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.21による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.31による。</p> <p>3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.41による。</p> <p>4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.51による。</p> <p>5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.61による。</p> <p>6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.71による。</p> <p>7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.81による。</p> <p>(3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。</p> <p>1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。</p> <p>2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。</p> <p>防湿材 種類 木造標準仕様書20.2.2(2) (a) (b) (c) 厚さ 図示 施工箇所 図示</p> <p>気密材 種類 木造標準仕様書20.2.2(3) (a) (b) (c) (d) (e) (f) 厚さ 図示 施工箇所 図示</p> <p>防風材 種類 ※ JIS A 6111に基づく透湿防水シートB 厚さ 図示 施工箇所 図示</p> <p>断熱材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> 充填断熱工法 外張断熱工法 防蟻処理 行う <p>図示</p> <p>防湿層の施工 省略する</p> <p>各部位の工法 ※ 木造標準仕様書20.2.5(7)から(9)までによる</p>	断熱材の種類	規格番号	厚さ又は使用量	フェルト状断熱材	JIS A 9521	天井 t=100 24kg/m ³	ボード状断熱材	壁 t=100 24kg/m ³	ばら状断熱材	JIS A 9523		現場発泡断熱材	JIS A 9526		項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカリール試験)に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。																																																																			
		種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法																																																																																																																																													
発泡層のないもの	FS	無地 マーブル	2.0 2.5	突付け 熱溶接																																																																																																																																															
発泡層のあるもの		無地	2.0 2.5	突付け 熱溶接																																																																																																																																															
種類	記号	厚さ(mm)	寸法(mm)	色柄																																																																																																																																															
複層ビニル床タイル	FT	2.0	300×300	ブレーション																																																																																																																																															
置敷きビニル床タイル	FOA	4.0以上	450×450	マーブル																																																																																																																																															
コンポジション	KT	2.0	500×500	特殊柄																																																																																																																																															
種類	記号	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考																																																																																																																																															
帯電防止床シート	FS	2.0	-	帯電防止性能評価値(JISA1455) 1.2以上~3.2未満																																																																																																																																															
帯電防止床タイル (置敷きビニル床タイル)	FOA	4.0以上	-	又は体積電気抵抗値(JISA1454) 1×10 ⁷ ~10 ⁹ Ω程度																																																																																																																																															
断熱材の種類	規格番号	厚さ又は使用量																																																																																																																																																	
フェルト状断熱材	JIS A 9521	天井 t=100 24kg/m ³																																																																																																																																																	
ボード状断熱材		壁 t=100 24kg/m ³																																																																																																																																																	
ばら状断熱材	JIS A 9523																																																																																																																																																		
現場発泡断熱材	JIS A 9526																																																																																																																																																		
項目	品質・性能																																																																																																																																																		
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカリール試験)に適合していること。																																																																																																																																																		
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。																																																																																																																																																		
		年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	建築工事特記仕様書9-8	A - 8																																																																																																																																												
		年度	下松市	工事名	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回	47 - 9																																																																																																																																												

2	窯業系 サイディング工事 <20.3.2>	サイディング材	種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防 火 耐火性能	張り方 ・ 縦張り ・ 横張り 換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(c)①から④までによる ・ 図示 現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ 通気胴縁 樹種 ※ 杉 通気胴縁の防腐処理方法()		
		種類	形状	有効幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	表面材 しん材の種類	防 火 耐火性能				
		○ F-P	○実形状	・	・	○ 16	・	・				
		張り方 ○ 縦張り ・ 横張り 換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(c)①から④までによる 通気胴縁 樹種 ※ 杉 通気胴縁の防腐処理方法()										
3	複合金属 サイディング工事 <20.3.3>	サイディング材	種類	形状	有効幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	表面材 しん材の種類	防 火 耐火性能	張り方 ○ 縦張り ・ 横張り 換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(c)①から④までによる 通気胴縁 樹種 ※ 杉 通気胴縁の防腐処理方法()		
		種類	形状	有効幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	表面材 しん材の種類	防 火 耐火性能				
		○ F-P	○実形状	・	・	○ 16	・	・				
		張り方 ○ 縦張り ・ 横張り 換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(c)①から④までによる 通気胴縁 樹種 ※ 杉 通気胴縁の防腐処理方法()										
4	ALCパネル (溝形パネル) 工事 <20.4.2、3>	溝形パネル	パネルの区分	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)			取付け ・ 縦張り工法 ・ 横張り工法 構法 ・ 通気構法 ・ 直張り構法 通気胴縁 樹種名 ※ 杉 通気胴縁の防腐処理方法()		
		パネルの区分	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)						
		・ 一般パネル	・	・	・	・						
		・ コーナーパネル	・	・	・	・						
2 1	排水工事	1 一般事項	屋外排水の系統図、勾配、配管の出入高さ等は図示によるが、施工図にて検討し、監督職員に提出すること									
			2 屋外雨水排水 (21.2.1~3)	排水管用材料等 表21.2.1								
				材料の規格名称	規格番号	種類、記号	呼び径					
				・ 遠心力鉄筋コンクリート管	JIS A 5372	・ A型 ・ B型 ・ NB型 ・ NC型						
		・ 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	・ VP ・ VU								
		管きよの勾配は図示なき限り1/100以上とする。 土かぶりは図示なき限り600mm以上とする。 排水樹の種類 (・ プレキャスト製品 ・ 現場打ちコンクリート ・ 浸透樹 ・) ・ 標準詳細図 (・ 9 - -) ・ 図示による 樹の泥のためは図示なき限り150mm以上とする。 樹ふたの種類 (適用荷重:) ・ 鋳鉄製 製造所: 評価名簿による ・ 鋼製 ・ ステンレス製 ・ コンクリート製 試験 配管埋戻しに先立ち漏れがないことを確認すること。 さらに、全ての系統完了後、通水試験を行うこと。 ・ 満水試験の実施 ・ 注水試験 (浸透樹) の実施 グレーチング										
		材質	用途	適用荷重	メインパーピッチ	備考						
		・ 鋳鉄製										
		・ 鋼製				製造所 評価名簿による						
		・ ステンレス製										
		・										
3	街きよ、縁石及び 側溝 (21.3.1~2)	埋め戻し及び建設発生土の処理は「3. 土工事」による。 硬質ポリ塩化ビニル管継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪 ・ 材料等 (○ プレキャスト製品 ・ 現場打ちコンクリート ・) 縁石 (・ 標準詳細図9 - - による ・ 図示による) 側溝 (○ 標準詳細図9 - 12 - 1 による ・ 図示による) 側溝ふた (・ プレキャスト製品 ・ 現場打ちコンクリート ○ グレーチング) 埋め戻し及び建設発生土の処理は「3. 土工事」による。										
2 2	舗装工事	1 一般事項	舗装の仕上高さ、横断勾配等は図示によるが、施工図にて検討し、監督職員に提出すること。 横断勾配は原則2%以上とする。									
		2 路床 (22.2.2~5)	材料等 透水性舗装に用いるフィルター層 ・ 設ける (図示による) ・ 設けない 路床安定処理 ・ 行う (・ 添加材による安定処理 ・ 置換) ・ 行わない ・ 添加材料 (・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント ・ フライアッシュセメント ・ 生石灰 ・ 消石灰) 添加量: kg/m ³ 試験 六価クロム溶出試験 ・ 行う (配合設計段階 検体 施工後 検体) ・ 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 (JIS A 1211による) ・ 行う (目標CBR:) ・ 行わない 路床締め度の試験 ・ 行う (・ 3ヶ所 ・) ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う (目標CBR:) ・ 行わない 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床仕上面及び高さの測定は500㎡ごと及びその端数につき1箇所									
		3 路盤 (22.3.2~5)	材料等 路盤の構成 ・ 標準詳細図9 - - による ・ 図示による 路盤の厚さ () 試験 路盤厚さ: 500㎡ごと及びその端数につき1箇所 締め試験: 1000㎡以下3箇所、1000㎡以上はさらに1000㎡ごと及びその端数につき1箇所加算する。									
		4 アスファルト舗装 (22.4.2~6)	材料等 舗装 構成 ・ 標準詳細図9 - - による ・ 図示による 厚さ () 加熱アスファルト混合物等の種類 表22.4.4 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) 試験 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認 アスファルトコアの採取切取試験 ・ 行う ・ 行わない 供試体は2000㎡以下ごとに3個及びその端数ごとに1個採取すること。 採取位置は監督職員との協議による。 締め度は、現場密度が基準密度 (3個の平均値) の94%以上とする。 アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない									
		5 コンクリート舗装 (22.5.2~6)	材料等 舗装 構成 ・ 標準詳細図9 - - による ・ 図示による 厚さ ・ 70mm (歩行者用通路) 種類 Fc スランプ 粗骨材 注入目地材料 種別 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ ・ 表22.5.2 コンクリート版の目地 種類 ・ 突合せ目地 ・ 収縮目地 ・ 表22.5.3 間隔 ・ 3m ・ 4m ・ 5m ・ 図示 深さ 車両及び駐車場は40mm、歩行者用通路は30mmとする。 試験 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認 コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない 測定箇所数は500㎡ごと及びその端数につき1箇所									
		6 カラー舗装 (22.6.2~6)	舗装の構成 ・ 標準詳細図9 - - による ・ 図示による 種類、配合、施工、試験等は図示による。									
		7 透水性アスファルト 舗装 (22.7.2~6)	舗装 構成 ・ 標準詳細図9 - - による ・ 図示による 種類、配合、施工、試験等は図示による。									
		8 ブロック系舗装 (22.8.2~3)	材料等 ・ コンクリート平板 ・ インターロッキングブロック 舗装の構成 ・ 標準詳細図9 - - による ・ 図示による 種類、寸法、舗装の構成等は図示による。									
		9 砂利敷き (22.9.2)	種別 ・ A種 (通路) ・ B種 (建物周囲その他) ・ 図示 表22.9.1									
		10 既存舗装面との 取合い部の処理	既存舗装小口面の処理方法、舗装の構成、不陸調整等は図示による。									
		11 区画線	路面表示用塗料 (JIS K 5665 (路面表示用塗料) による) ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 施工方法 ・ 溶融式 ・ ペイント式 (・ 溶剤型 ・ 水性型) 幅 ・ 100 ・ 150 ・ 色、形状等は図示による									
		12 車止め	・ 標準詳細図 (9 - -) ・ ペイント 取付位置、固定方法は図示による。									
1 3	舗装版切断	切断作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。 回収した排水を現場から搬出する場合は、搬出時点で排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合には特別管理型産業廃棄物となることに留意すること。 pHの測定方法 (・ 携帯式簡易測定器 ・) 処理施設、処理方法、運搬方法等は任意とするが、産業廃棄物の種類・取扱いについては山形県環境生活部及び下関市環境部 (下関市内のみ) の取扱いに準ずること。 監督職員へマニフェストを提示する際、併せてpHの測定結果の提示を行うこと。										
		年度	5	工事名		恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事 (建築主体)		建築工事特記仕様書9-9	A - 9			
		下松市		株式会社 栗林設計		一級建築士登録 第336535号 増野 広道		設計変更 回	47 - 10			

使用材料表 1 (5.2.2)

施工箇所	樹種	構造材の種類	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・乙種	・1級 ・2級 ・3級		・SD15 ・SD20		・

○JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	曲げ性能 (等級)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
図示	ひのき、すぎ	E50	図示	・SD15 ○SD20	K3	・

(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

(参考) JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定めるめげヤング係数の基準 (等級と曲げヤング係数)

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング率 (×10N/mm)	3.9以上 ~5.9未満	5.9以上 ~7.8未満	7.8以上 ~9.8未満	9.8以上 ~11.8未満	11.8以上 ~13.7未満	13.7以上

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・特等 ・1級 ・2等				・

加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材:)

・無等級材

施工箇所	寸法 (mm)	樹種	含水率 (%)	保存処理	強度試験	等級 (材面の品質)	間伐材等の適用
					・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験 (対象部材:) ・縦振動ヤング係数測定 (対象部材:)	・JAS 1083-4 製材-第4部: 機械等級区分構造用製材	・

旧 JAS 規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用
外壁下地	スギ	・1級 ○2級	図示	○SD15 ・SD20		・

・「集材材の日本農林規格」による構造用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用
								・

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	芯材:					・1等 ・2等	・

・JAS 0600Iに基づく甲種枠組材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・特級 ・1級 ・2級 ・3級	・

・JAS 0600Iに基づく乙種枠組材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	・

・JAS 0600Iに基づくMSR枠組材

施工箇所	寸法型式 (mm)	樹種又は樹種群	曲げ強度性能 (MSR等級)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用
					・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたMSR枠組材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

・JAS 0600Iに基づく甲種たて継ぎ材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級	・

・JAS 0600Iに基づく乙種たて継ぎ材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	間伐材等の適用
			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSR枠組材 G

施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能 (MSR等級)	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用
				・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

・JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
				・A ・B ・C	・A種 ・B種		・K3	・

・丸太材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率 (%)	末口径 (mm)	間伐材等の適用
					・

加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。(対象部材:)

・木質接着成形軸材料

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質複合軸材料

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質断熱複合パネル

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質接着複合パネル

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・CLT (直交集成板)

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用
							・

使用材料表 2 (5.2.3)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
					・

・構造用パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用
					・

○「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用
外壁下地	9	・1類 ○特類	○2級 ・1級	C-D以上		針葉樹		適用する
内壁下地	12	・1類 ○特類	○2級 ・1級	C-D以上		針葉樹		適用する

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・1類 ・特類	・

・JAS 0360Iに基づく構造用パネル

施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用
		・1級類 ・2級 ・3級 ・4級	・

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用
					・

・ハードファイバーボード

施工箇所	厚さ (mm)	油、樹脂等の特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

・バルブセメント板

施工箇所	厚さ (mm)	種類		備考
		かさ密度による区分	化粧加工の有無による区分	
		・0.9板 ・1.1板	・普通板 ・化粧板	

・国土交通大臣の認定を受けた壁倍率の数値を定められた構造用面材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

使用材料表 3 (6.2.2)

・「集材材の日本農林規格」による構造用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用
								・

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	芯材:					・1等 ・2等	・

・JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
				・A ・B ・C	・A種 ・B種		・K3	・

・JAS 1083-3 製材-第3部に基づく目視等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	構造材の種類	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			・構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・乙種	・1級 ・2級 ・3級	・SD15 ・SD20		・

・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (等級)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
				・SD15 ・SD20		・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

(参考) JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準 (等級と曲げヤング係数)

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング率 (×10N/mm)	3.9以上 ~5.9未満	5.9以上 ~7.8未満	7.8以上 ~9.8未満	9.8以上 ~11.8未満	11.8以上 ~13.7未満	13.7以上

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用
		・特等 ・1等 ・2等				・

加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材:)

・無等級材

施工箇所	寸法 (mm)	樹種	含水率 (%)	保存処理	強度試験	等級 (材面の品質)	間伐材等の適用
					・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験 (対象部材:) ・縦振動ヤング係数測定 (対象部材:)	・JAS 1083-4 製材-第4部: 機械等級区分構造用製材 ・旧 JAS 規格第10条 ひき角類 1等	・

旧 JAS 規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用
		・1級 ・2級		・SD15 ・SD20		・

・JAS 0600Iに基づく甲種枠組材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	間伐材等の適用
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級			・

・JAS 0600Iに基づく乙種枠組材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	間伐材等の適用
			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ			・

・JAS 0600Iに基づくMSR枠組材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用
					・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたMSR枠組材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

・JAS 0600Iに基づく甲種たて継ぎ材

施工箇所	寸法型式 (mm)	樹種又は樹種群	等級	間伐材等の適用
			・特級 ・1級 ・2級 ・3級	・

・JAS 0600Iに基づく乙種たて継ぎ材

施工箇所	寸法型式 (mm)	樹種又は樹種群	等級	間伐材等の適用
			・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	・

・JAS 0600Iに基づくMSRたて継ぎ材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)	間伐材等の適用
				・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

・木質接着成形軸材料

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質複合軸材料

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質断熱複合パネル

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・木質接着複合パネル

施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・

・CLT (直交集成板)

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用
							・

年度	工事名	木造使用材料表2-1	A - 10
5	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事 (建築主体)		
下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回	47 - 11

使用材料表 9

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質) ・ 1級 ・ 2級	形状	含水率	間伐材等の適用

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	間伐材等の適用
見え掛り面			・ 上小節			
見え掛り面以外			・ 小節以上			

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質) ・ 1等	形状	含水率 ・ 10以下 ・ 13以下	間伐材等の適用

・JAS 1083 (製材) 以外の下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	防虫処理の適用 ・ 適用する () ・ 適用しない	難燃処理の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	含水率	間伐材等の適用 ・ A種 ・ B種

・JAS 1083 (製材) 以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	防虫処理の適用 ・ 適用する () ・ 適用しない	難燃処理の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	含水率 ※A種 ・ B種	間伐材等の適用

・JAS 1083 (製材) 以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	防虫処理の適用 ・ 適用する () ・ 適用しない	難燃処理の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	含水率 ※A種 ・ B種	間伐材等の適用

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 2等	間伐材等の適用

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質 ・ 1等 ・ 2等	間伐材等の適用
	化粧薄板:						
	芯材:						

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質 ・ 1等 ・ 2等	間伐材等の適用
	化粧薄板:						
	芯材:						

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	含水率 (%) ※15以下	間伐材等の適用

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%) ※15以下	間伐材等の適用
	化粧薄板:					
	芯材:					

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%) ※15以下	間伐材等の適用
	化粧薄板:					
	芯材:					

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工 ・ 無 (・ 1等 ・ 2等 ・ 3等) ・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	防虫処理の適用 ・ 適用する () ・ 適用しない	間伐材等の適用

・JAS 07101以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工 ・ 無 () ・ 有 (・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	含水率 (%) ※14以下	防虫処理の適用 ・ 適用する () ・ 適用しない	間伐材等の適用

・CLT (直交集成板)

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用

使用材料表 10

<9.2.3>

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級の適用	間伐材等の適用

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分 ※13	耐水性による区分 ・ Pタイプ ・ Mタイプ	厚さ (mm) ・ 15	間伐材等の適用

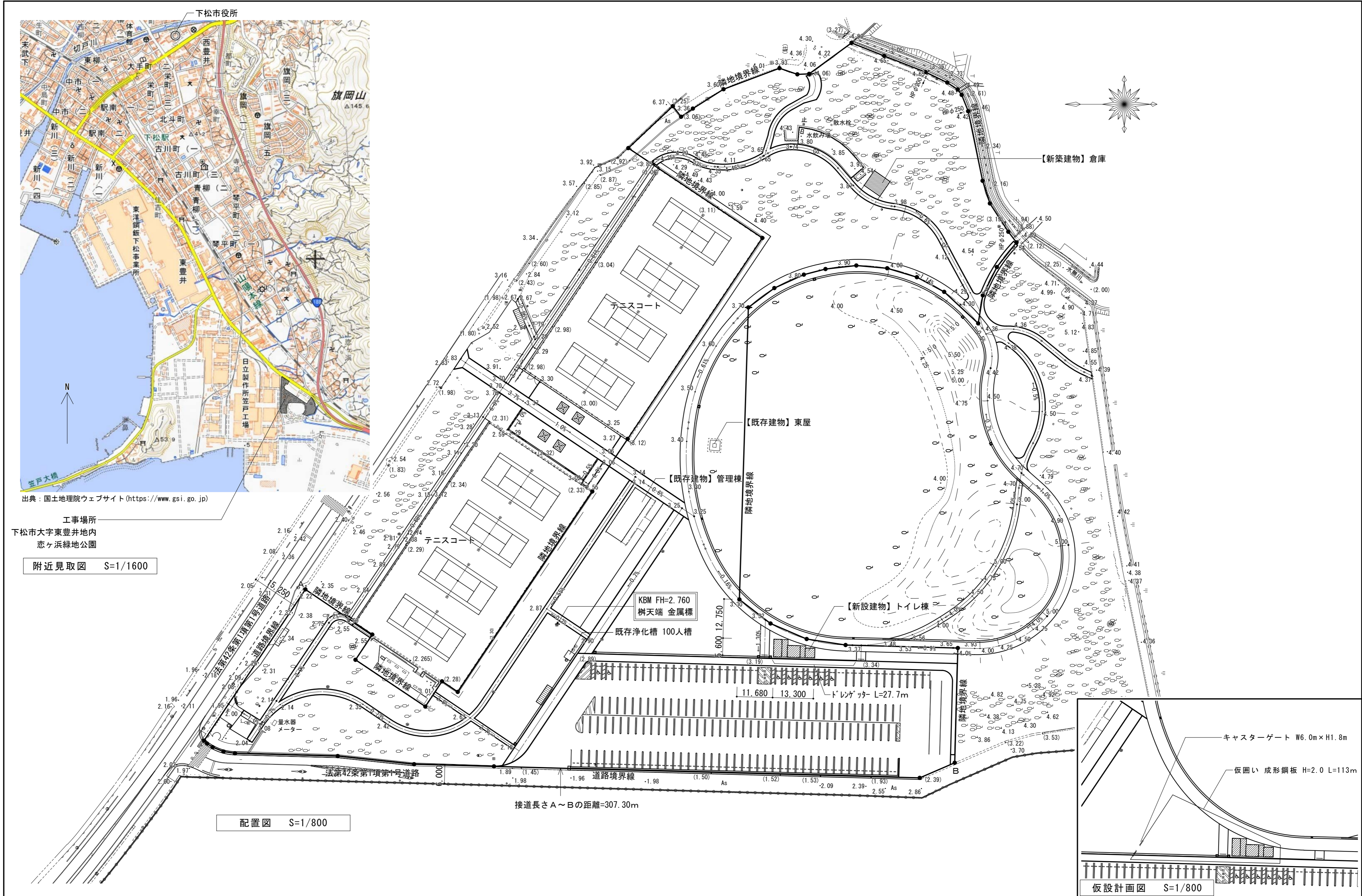
・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	曲げ性能 (等級) ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	(・ 常態曲げ試験 ・ 湿潤曲げ試験)	厚さ (mm)	間伐材等の適用

・MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事 (建築主体)	木造使用材料表2-2	A - 11
	下松市	株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回	47 - 12

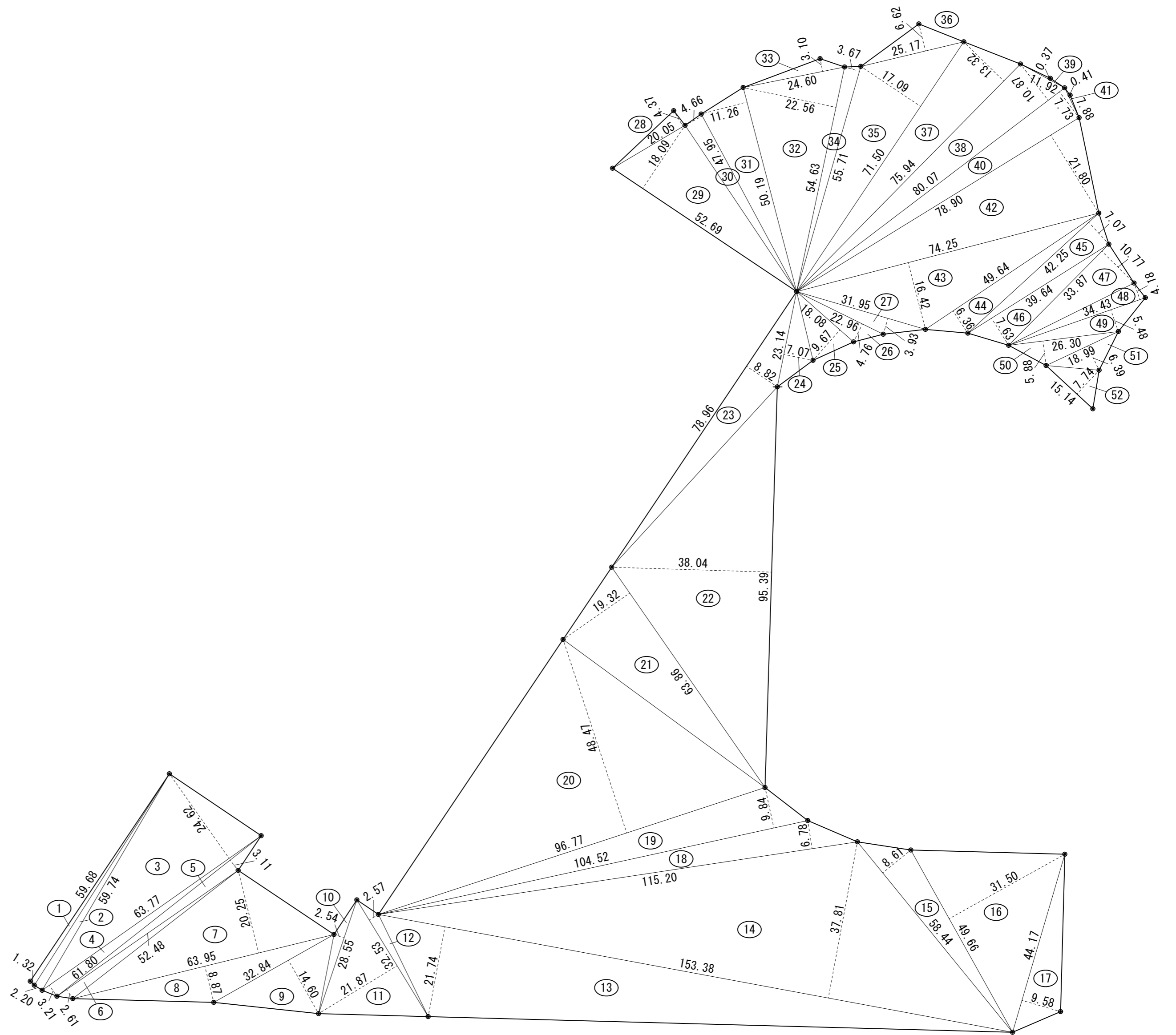


出典：国土地理院ウェブサイト(https://www.gsi.go.jp)

工事場所
下松市大字東豊井地内
恋ヶ浜緑地公園
附近見取図 S=1/1600

年度	5	工事名	附近見取図	S=1/1600	A - 12
		恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	配置図	S=1/800	
下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回		47 - 13

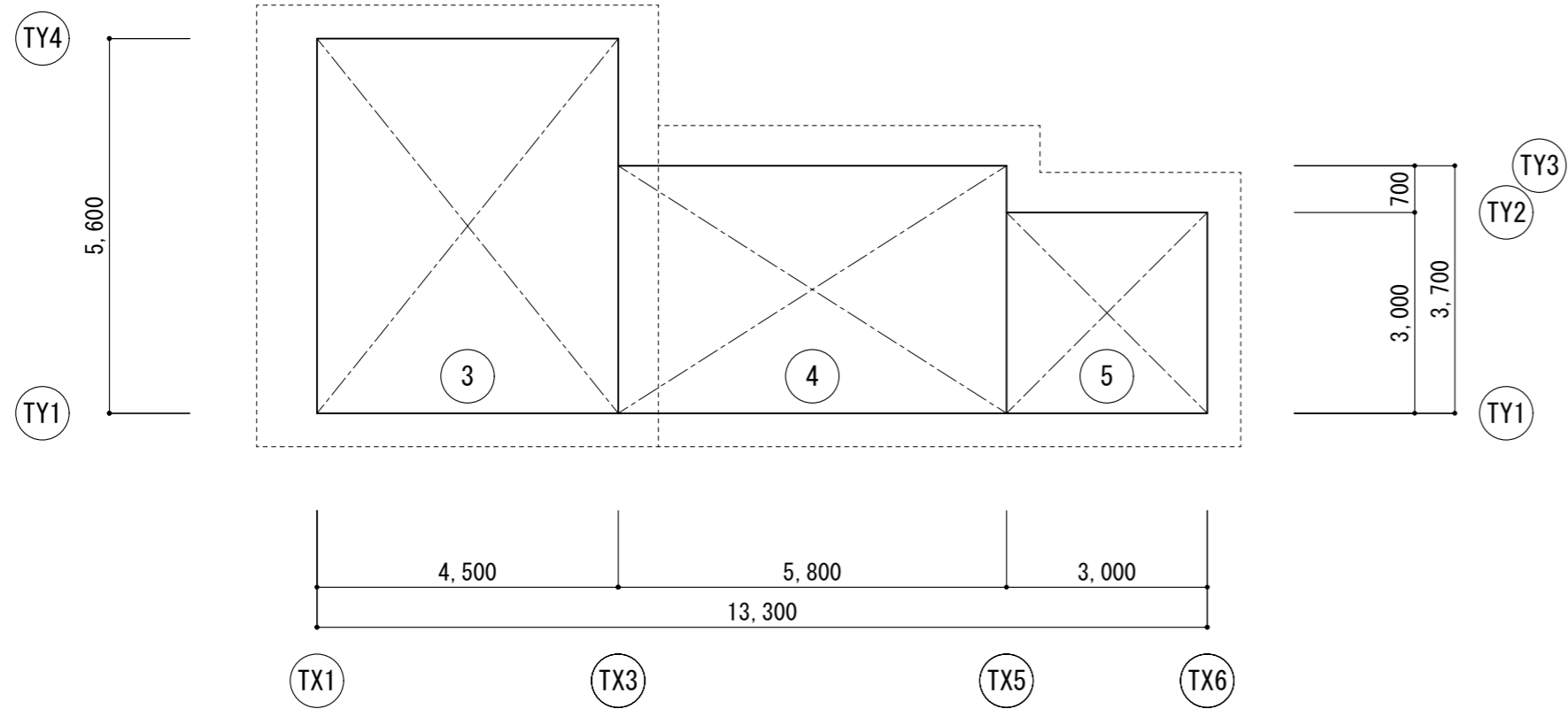
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	59.68	1.32	78.7776	39.38880
2	59.74	2.20	131.4280	65.71400
3	63.77	24.62	1,570.0174	785.00870
4	63.77	3.21	204.7017	102.35085
5	61.80	3.11	192.1980	96.09900
6	52.48	2.61	136.9728	68.48640
7	63.95	20.25	1,294.9875	647.49375
8	63.95	8.87	567.2365	283.61825
9	32.84	14.60	479.4640	239.73200
10	28.55	2.54	72.5170	36.25850
11	32.53	21.87	711.4311	355.71555
12	32.53	2.57	83.6021	41.80105
13	153.38	21.74	3,334.4812	1,667.24060
14	153.38	37.81	5,799.2978	2,899.64890
15	58.44	8.61	503.1684	251.58420
16	49.66	31.50	1,564.2900	782.14500
17	44.17	9.58	423.1486	211.57430
18	115.20	6.78	781.0560	390.52800
19	104.52	9.84	1,028.4768	514.23840
20	96.77	48.47	4,690.4419	2,345.22095
21	63.86	19.32	1,233.7752	616.88760
22	95.39	38.04	3,628.6356	1,814.31780
23	78.96	8.82	696.4272	348.21360
24	23.14	7.07	163.5998	81.79990
25	18.08	9.67	174.8336	87.41680
26	22.96	4.76	109.2896	54.64480
27	31.95	3.93	125.5635	62.78175
28	20.05	4.37	87.6185	43.80925
29	52.69	18.09	953.1621	476.58105
30	47.95	4.66	223.4470	111.72350
31	50.19	11.26	565.1394	282.56970
32	54.63	22.56	1,232.4528	616.22640
33	24.60	3.10	76.2600	38.13000
34	55.71	3.67	204.4557	102.22785
35	71.50	17.09	1,221.9350	610.96750
36	25.17	6.62	166.6254	83.31270
37	75.94	13.32	1,011.5208	505.76040
38	80.07	10.87	870.3609	435.18045
39	11.92	0.37	4.4104	2.20520
40	80.07	7.73	618.9411	309.47055
41	7.88	0.41	3.2308	1.61540
42	78.90	21.80	1,720.0200	860.01000
43	74.25	16.42	1,219.1850	609.59250
44	49.64	6.36	315.7104	157.85520
45	42.25	7.07	298.7075	149.35375
46	39.64	7.63	302.4532	151.22660
47	33.87	10.77	364.7799	182.38995
48	34.43	4.18	143.9174	71.95870
49	34.43	5.48	188.6764	94.33820
50	26.30	5.88	154.6440	77.32200
51	18.99	6.39	121.3461	60.67305
52	15.14	7.74	117.1836	58.59180
合 計				20,983.00115
敷地面積				20,983.00 m ²



敷地求積図 S=1/800

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	敷地求積図	S=1/800	A - 13
下松市		株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47 - 14

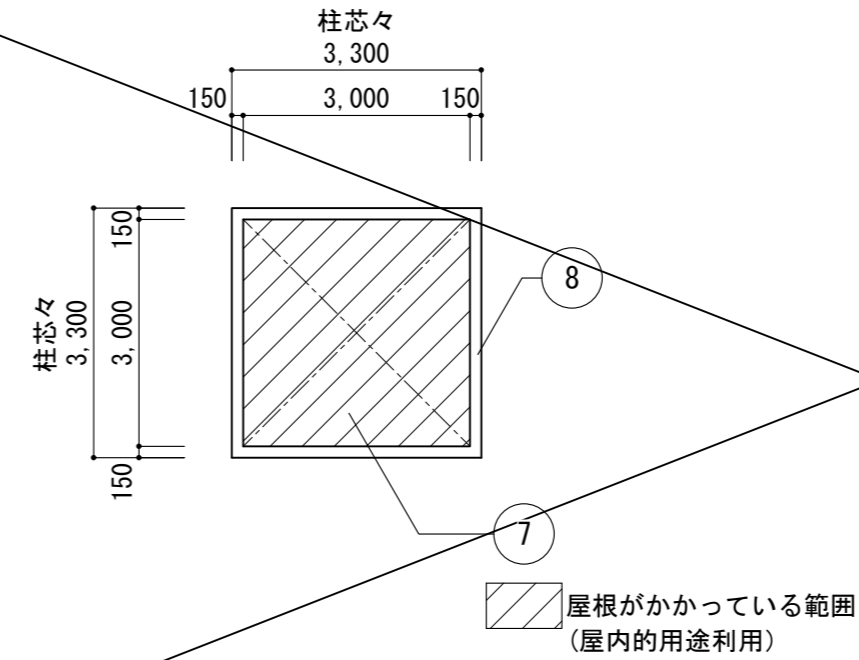
トイレ棟建築面積及び床面積 (m ²)	
③	4.500 × 5.600 = 25.2000
④	5.800 × 3.700 = 21.4600
⑤	3.000 × 3.000 = 9.0000
建築面積及び延べ面積 55.6600	



トイレ棟 求積図 S=1/100

建物面積整理表

棟番号	分類	棟名	建築面積 (m ²)		延べ面積 (m ²)	
			申請部分	申請以外の部分	申請部分	申請以外の部分
①	申請建物	管理棟	133.3800		102.6000	
②	申請建物	トイレ棟	55.6600		55.6600	
③	申請建物	倉庫	36.0658		36.0658	
④	既存建物	東屋		10.8900		9.0000
計			225.1058	10.8900	194.3258	9.0000
合計			235.9958		203.3258	



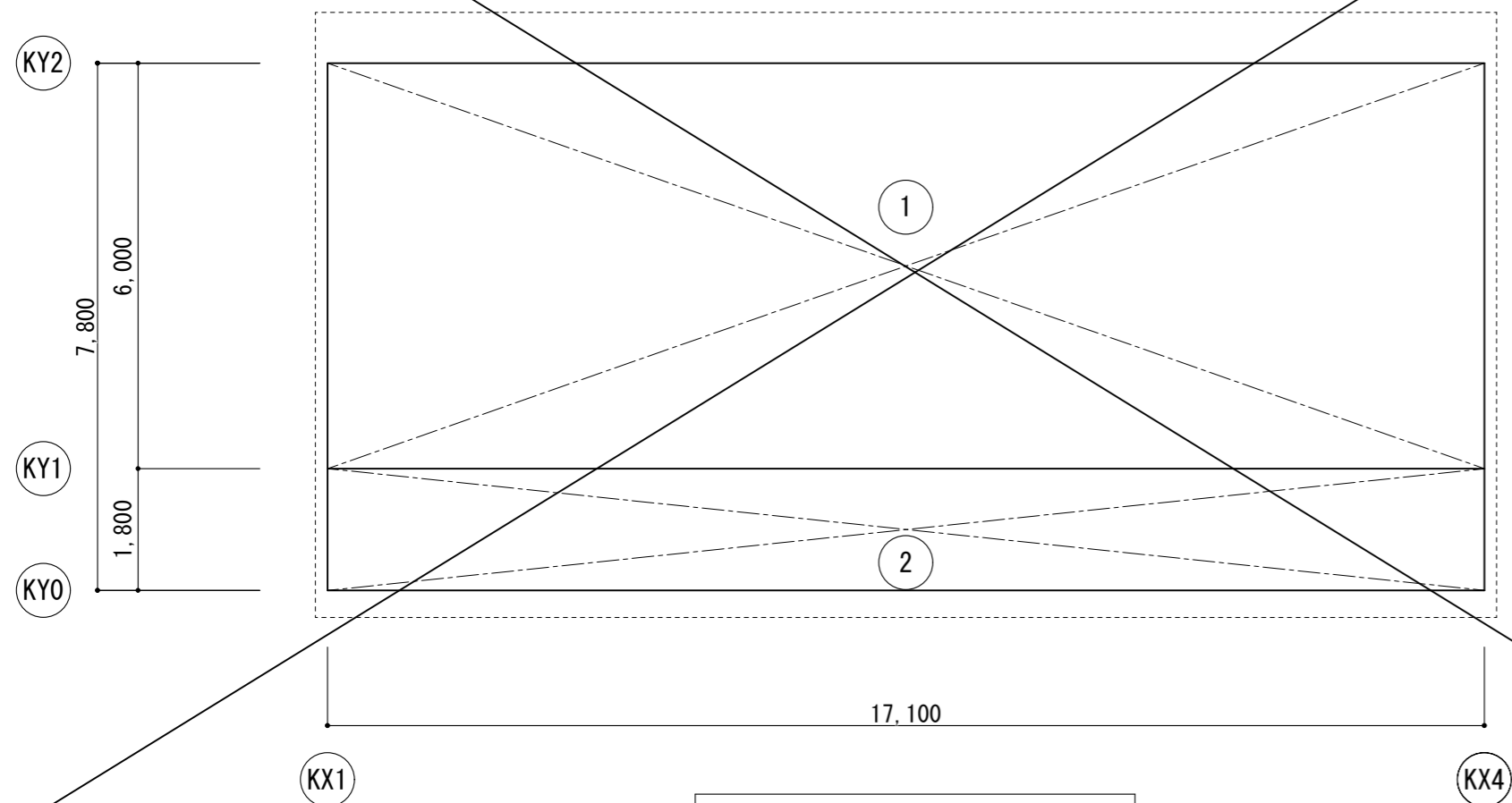
既存東屋 求積図 S=1/100

既存東屋床面積 (m ²)	
⑦	3.000 × 3.000 = 9.0000
延べ面積 9.0000	

既存東屋建築面積 (m ²)	
⑧	3.300 × 3.300 = 10.8900
建築面積 10.8900	

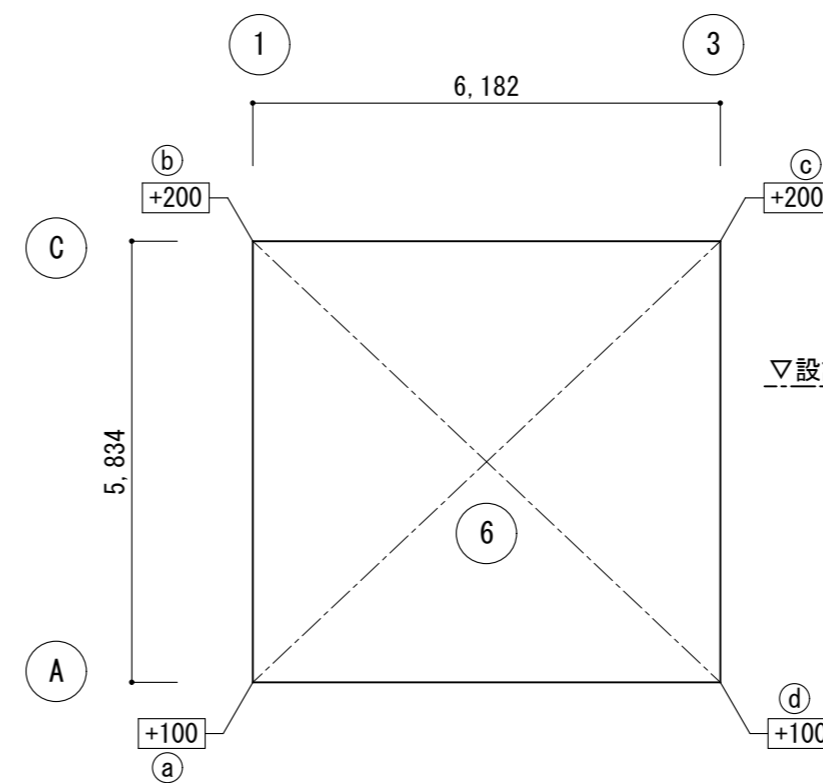
管理棟床面積 (m ²)	
①	17.100 × 6.000 = 102.6000
延べ面積 102.6000	

管理棟建築面積 (m ²)	
①	17.100 × 6.000 = 102.6000
②	17.100 × 1.800 = 30.7800
建築面積 133.3800	



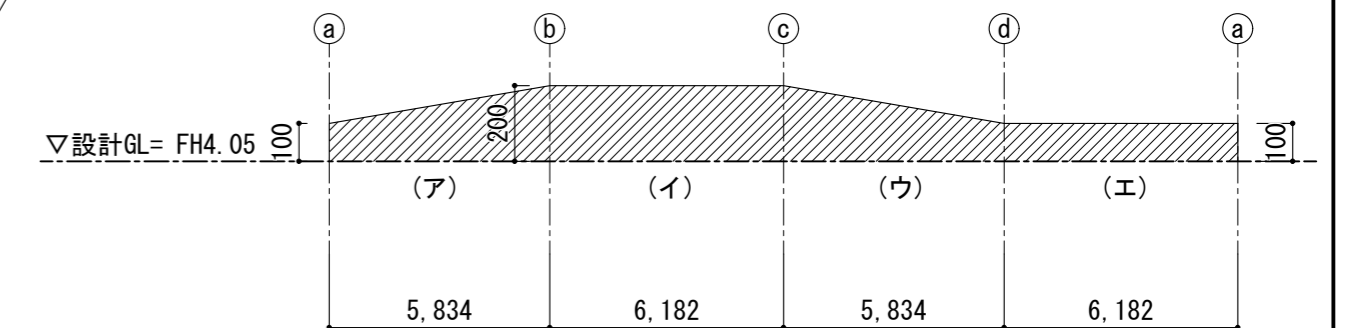
管理棟 求積図 S=1/100

倉庫建築面積及び床面積 (m ²)	
⑥	6.182 × 5.834 = 36.0658
建築面積及び延べ面積 36.0658	



倉庫 求積図 S=1/100

平均地盤面算定表				
	長さ(m)	高さ(m)	面積(m ²)	備考
ア	5.384	0.150	0.8751	高さ : (0.100+0.200)/2
イ	6.182	0.200	1.2364	
ウ	5.834	0.150	0.8751	高さ : (0.100+0.200)/2
エ	6.182	0.100	0.6182	
合計	24.032		3.6048	
平均地盤面 = 面積 ÷ 全周長				
= 3.6048 ÷ 24.032 = 0.150				
平均地盤面 = 設計GL (4.050) m + 0.150 m = 4.200 m				



平均地盤面算定図

ヨ方向 S=1/200
行方向 S=1/20

凡例
*** : 設計GL (FH=4.05) からの高さを示す。

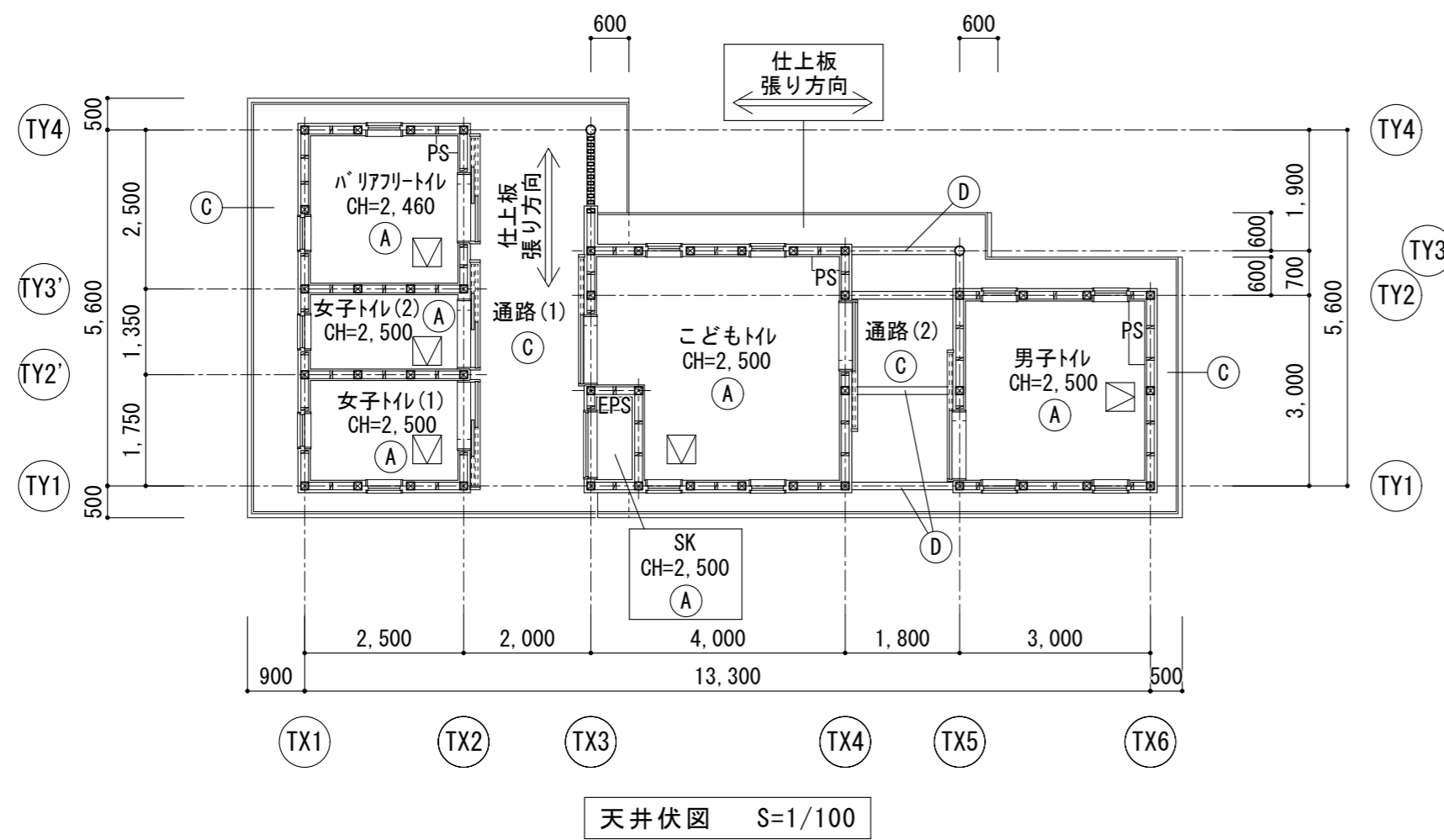
年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	建物求積図	S=1/100	A - 14
下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道		設計変更	回	47 - 15

外 部 仕 上 表					
床	幅 木	外 壁	屋 根	軒 天	その他
通路(1)、通路(2)：天然石洗い出し仕上 t=30 土間コンクリート t=150	下地調整塗材 C-2 水切：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 t=0.35	金属系サイディング t=16 横胴縁18×45 @606以下 透湿防水シート 構造用合板t=9 下地 グラスウール t=100 24kg/m3	SGL(艶消し) t=0.4 立馳葺き ゴムアスファルト-フィンク t=1.0 硬質木毛セメント板 t=25 軒先ハネ：SGL(艶消し) t=0.4	木板(スギ)張り t=12 WP 木胴縁 18×45 @300	外部露出化粧木柱(ヒノキ) φ150 WP 手洗・足洗場 ドレンゲッター (石田鉄工機 TA-4NS同等品)

内 部 仕 上 表											
階	室 名	床	幅 木	壁	廻 縁		天 井	天井高		備 考	室内空気汚染測定
					塗装	塩ビ		塗装			
1	男子トイレ	コンクリート直均し下地 防滑性+抗菌性 ビニル床シート t=2.0(1-01-4)	ビニル床シート巻き上げ H=100 (2-11-2)	ライニング部以外：耐水合板(構造用合板特類)t=12 下地 化粧FK t=6 ライニング部：軽鉄壁下地90形 耐水合板(構造用合板特類) t=12 下地 珪藻土化粧合板 t=3	-	塩ビ (3-11-12)	軽鉄天井下地19形 GB-S t=9.5 下地 耐湿岩綿吸音板 t=9	-	2,500	面台：珪藻土化粧板(耐水MDF下地)t=20 洗面カウンター：ホウケル一体型 D=450 (TOTO機ワイナゲツキホウケル一体タイプ同等品) 汚垂石：D=600 (TOTO機ハイドラテラ同等品)(6-29-2)	
	女子トイレ(1) 女子トイレ(2)	コンクリート直均し下地 防滑性+抗菌性 ビニル床シート t=2.0(1-01-4)	ビニル床シート巻き上げ H=100 (2-11-2)	ライニング部以外：耐水合板(構造用合板特類)t=12 下地 化粧FK t=6 ライニング部：軽鉄壁下地90形 耐水合板(構造用合板特類) t=12 下地 珪藻土化粧合板 t=3	-	塩ビ (3-11-12)	軽鉄天井下地19形 GB-S t=9.5 下地 耐湿岩綿吸音板 t=9	-	2,500	面台：珪藻土化粧板(耐水MDF下地)t=20	
	バリアフリートイレ	コンクリート直均し下地 防滑性+抗菌性 ビニル床シート t=2.0(1-01-4)	ビニル床シート巻き上げ H=100 (2-11-2)	ライニング部以外：耐水合板(構造用合板特類)t=12 下地 化粧FK t=6	-	塩ビ (3-11-12)	軽鉄天井下地19形 GB-S t=9.5 下地 耐湿岩綿吸音板 t=9	-	2,500		
	こどもトイレ	コンクリート直均し下地 防滑性+抗菌性 ビニル床シート t=2.0(1-01-4)	ビニル床シート巻き上げ H=100 (2-11-2)	ライニング部以外：耐水合板(構造用合板特類)t=12 下地 化粧FK t=6 ライニング部：軽鉄壁下地90形 耐水合板(構造用合板特類) t=12 下地 珪藻土化粧合板 t=3	-	塩ビ (3-11-11)	軽鉄天井下地19形 GB-S t=9.5 下地 耐湿岩綿吸音板 t=9	-	2,500	面台：珪藻土化粧板(耐水MDF下地)t=20 汚垂石：(TOTO機ハイドラテラ・フアキッズ同等品)(6-29-2)	
	SK	土間コンクリート直均し(1-01-3)	-	ライニング部以外：耐水合板(構造用合板特類)t=12 下地 化粧FK t=6 ライニング部：軽鉄壁下地90形 耐水合板(構造用合板特類) t=12 下地 珪藻土化粧合板 t=3	-	塩ビ (3-11-11)	軽鉄天井下地19形 GB-S t=9.5 下地 耐湿岩綿吸音板 t=9	-	2,500		

仕 上 塗 材		仕 上 材 料				特 記 事 項
略 号	名 称	略 号	名 称	規 格 番 号	防火材料認定番号	
OS	オイルステイン塗り	GB-R	石膏ボード	JIS A 6901	厚12.5 NM-8619	1. 設計図中の番号「〇-〇〇-〇」は建築工事標準詳細図(令和4年版)の分類番号を示す。 2. 図面内のメーカー名、製品名はすべて同等以上とする。 3. 本工事で使用する材料(接着剤含む)はホルムアルデヒド等人体に有害な成分を基準以下とする。(原則F☆☆☆☆) 4. 金属系サイディングは遮熱性フッ素焼付塗装品(ケミュー機)はる一番同等品とする。 5. 天井に使用する木板(スギ)は上小節とする。
EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	GB-D	化粧石膏ボード	JIS A 6901		
WP	木材保護塗料塗り	GB-S	シーリング石膏ボード	JIS A 6901		
CL	クリヤッカー塗り	化粧FK	化粧けい酸カルシウム板			
		SGL	塗装 マグネシウム添加溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板			

	年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	仕上表	NON	A - 15
		下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回		47 - 16



天井伏図 S=1/100

天井伏図 凡例

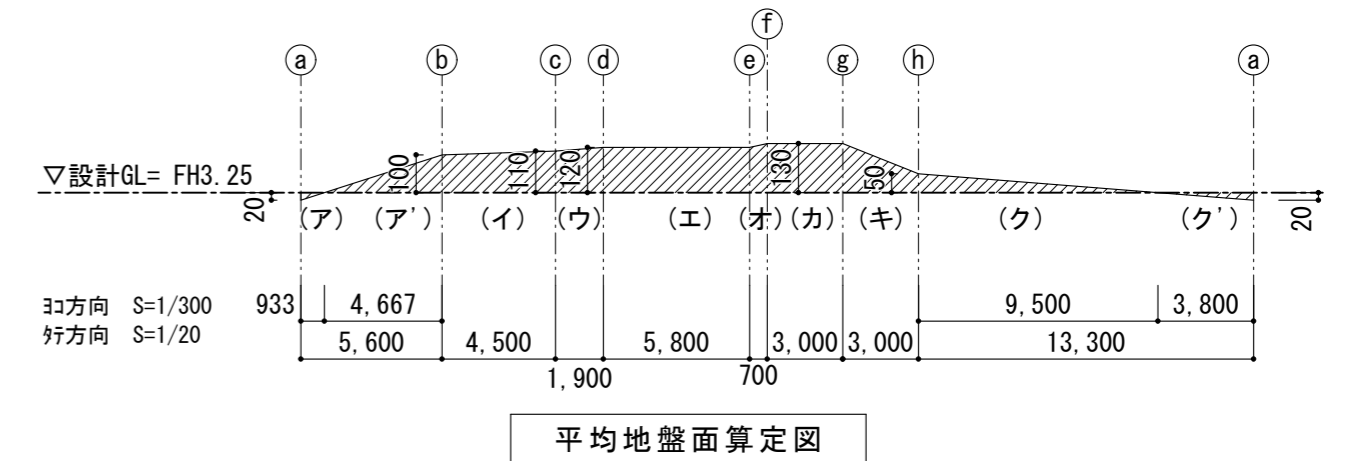
符号	仕上
(A)	GB-S t=9.5 下地 耐湿岩綿吸音板 t=9
(B)	
(C)	木胴縁 18×45 @300 木板(スギ)張り t=12 WP
(D)	木製梁 WP
□	天井点検口(開口補強共) 450角

消防活動上有効な開口部

床面積 A (㎡)	必要面積 A/30 (㎡)	有効開口		ガラス仕様	判定
		符号	W×H×箇所 面積(㎡)		
55.66	1.86	LD-1	0.900×2.000×2 (FIX部分) 3.60	型板ガラス 4mm	有窓階
		LD-2	0.900×1.960×1 (FIX部分) 1.76		
		LD-3	0.900×2.000×2 (FIX部分) 3.60	強化ガラス 5mm	
		LD-4	0.900×2.000×1 (FIX部分) 1.80	型板ガラス 4mm	
有効開口合計面積(㎡)		10.76 ≥ 1.86			

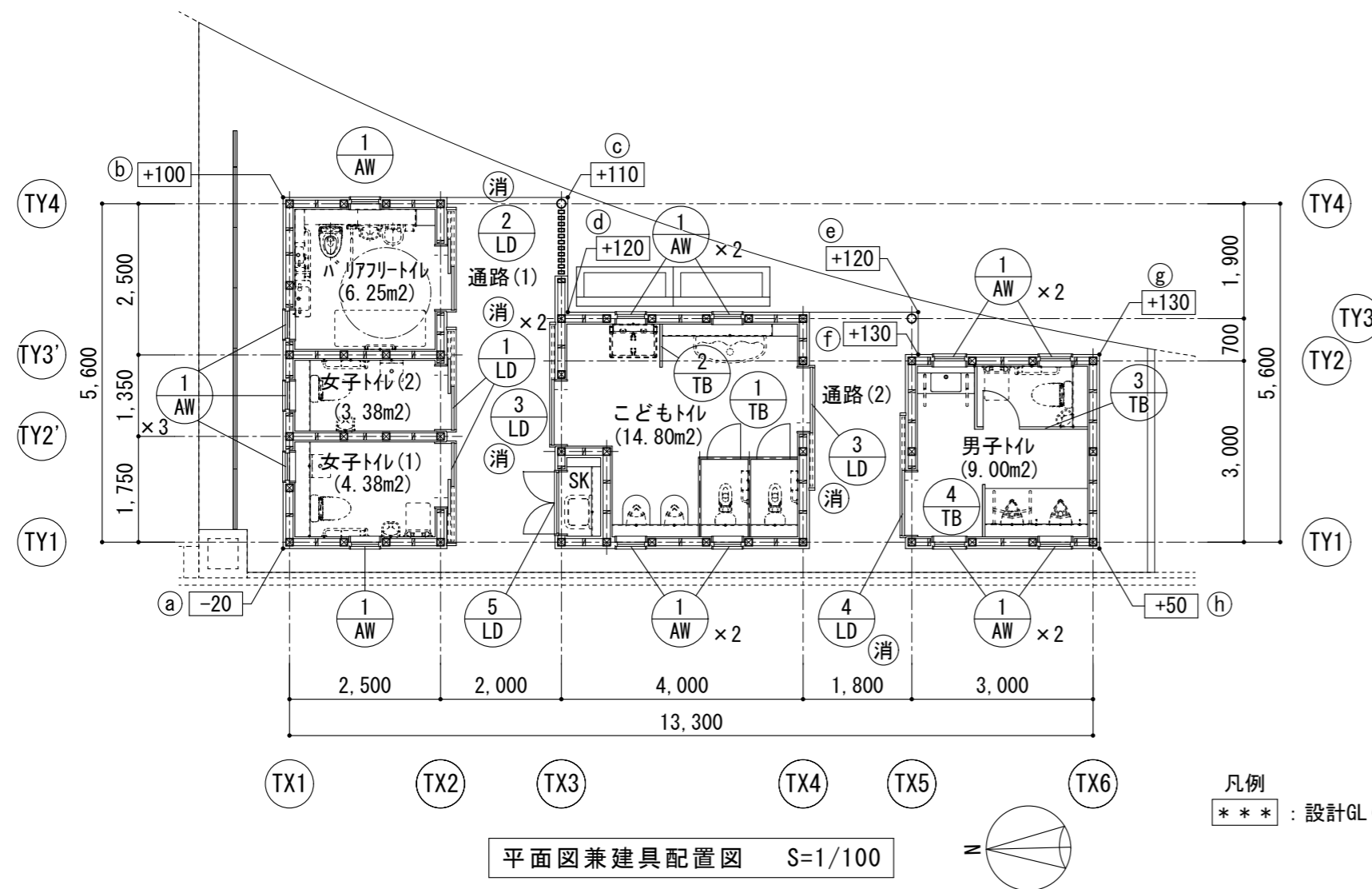
※ (消) : 消防活動上有効な開口部を示す。

(LD-1~4共に小窓部分を破壊のうえ、開錠し外部から開放することができる構造とする。)



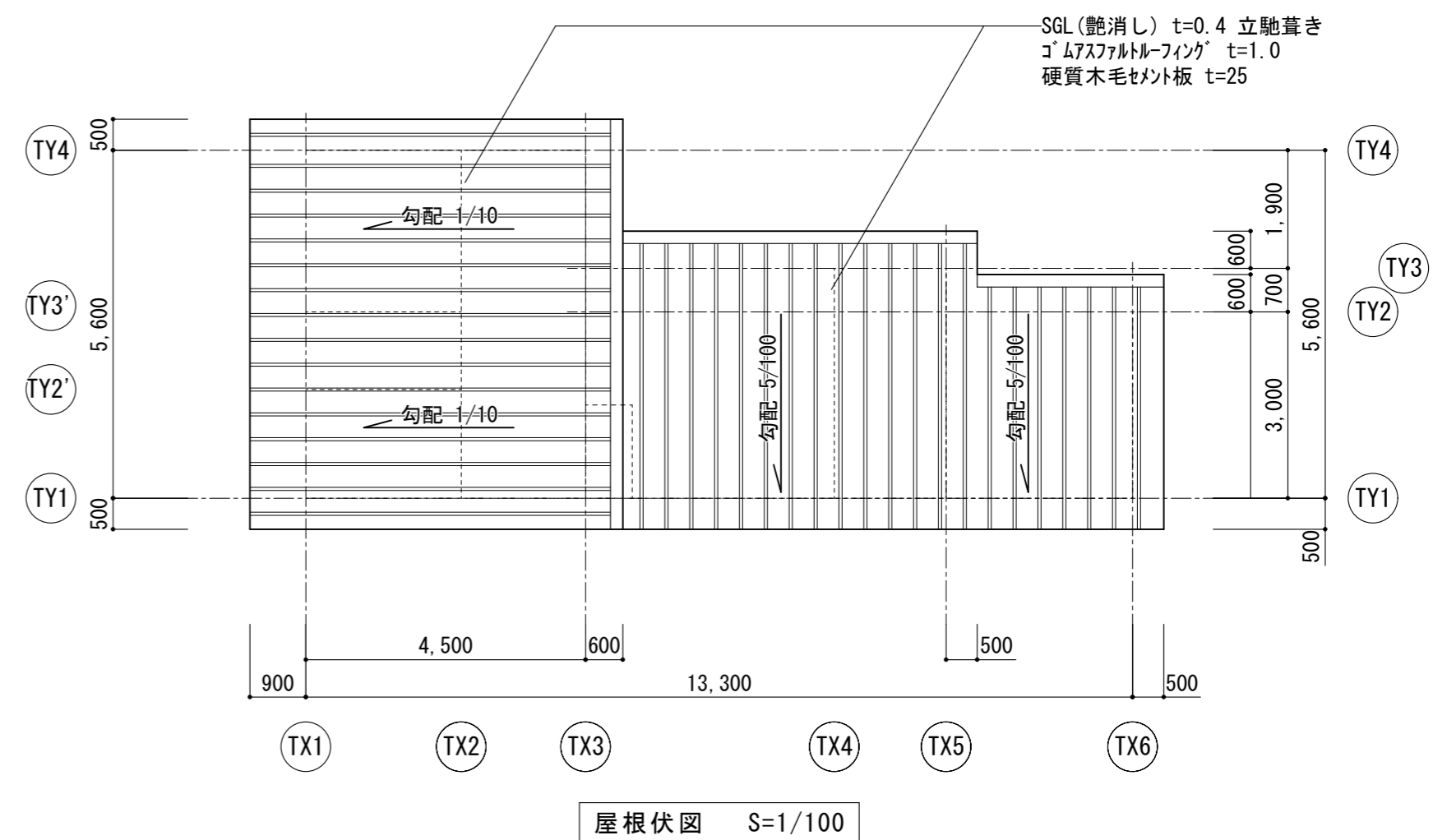
平均地盤面算定図

平均地盤面算定表				
	長さ(m)	高さ(m)	面積(㎡)	備考
ア	0.933	-0.010	-0.0093	高さ: 0.020/2
ア'	4.667	0.050	0.2334	高さ: 0.100/2
イ	4.500	0.105	0.4725	高さ: (0.100+0.110)/2
ウ	1.900	0.115	0.2185	高さ: (0.110+0.120)/2
エ	5.800	0.120	0.6960	
オ	0.700	0.125	0.0875	高さ: (0.120+0.130)/2
カ	3.000	0.130	0.3900	
キ	3.000	0.090	0.2700	高さ: (0.130+0.050)/2
ク	9.500	0.025	0.2375	高さ: 0.050/2
ク'	3.800	-0.010	-0.0380	高さ: 0.020/2
合計	37.800		2.5581	
平均地盤面 = 面積 ÷ 全周長				
= 2.5581 ÷ 37.800 = +0.068				
平均地盤面 = 設計GL (3.250) m + 0.067 m = 3.318 m				



平面図兼建具配置図 S=1/100

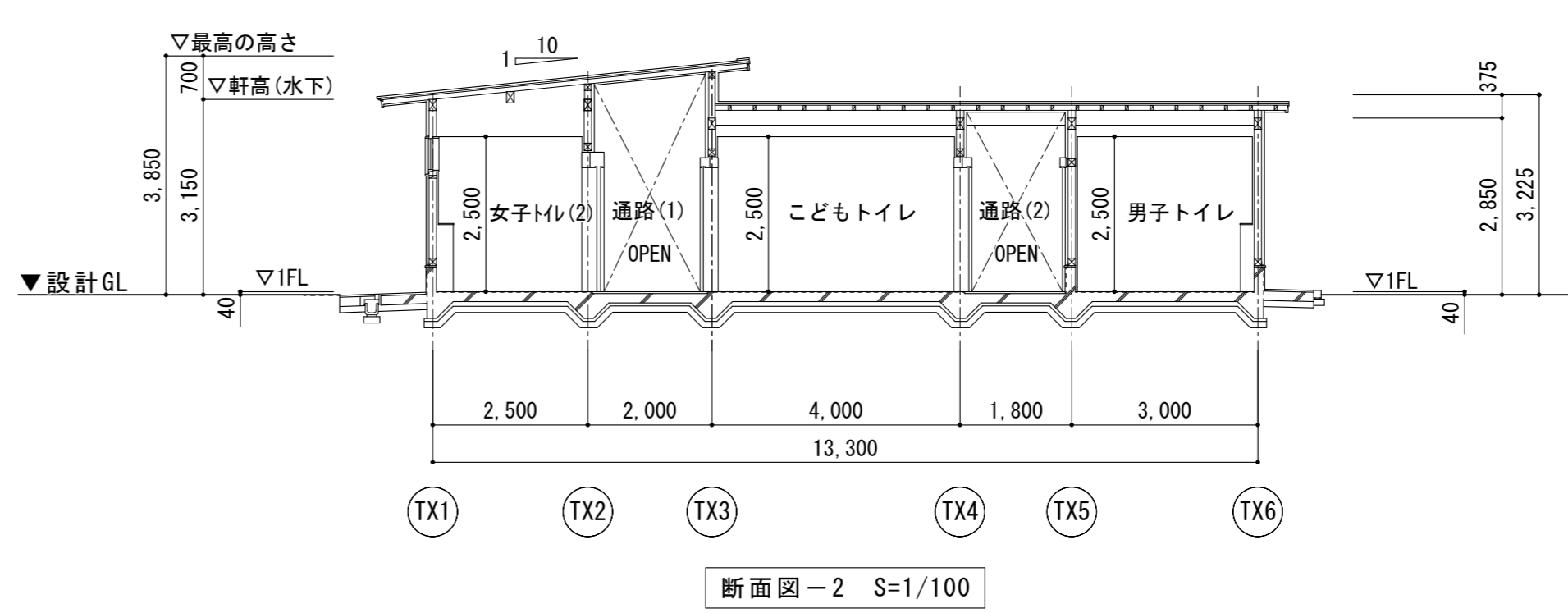
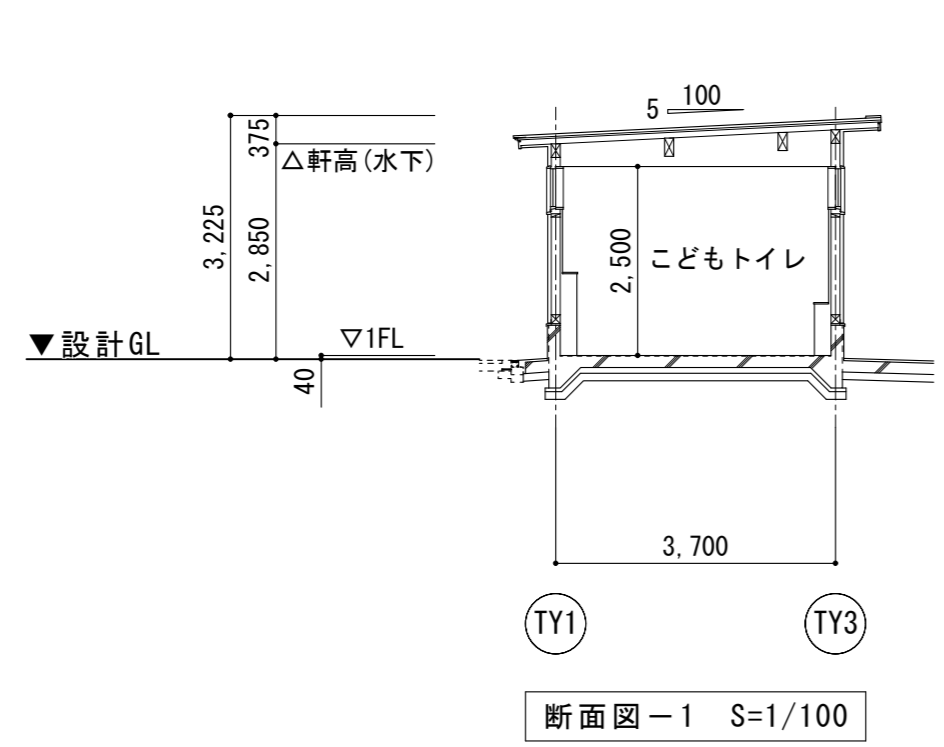
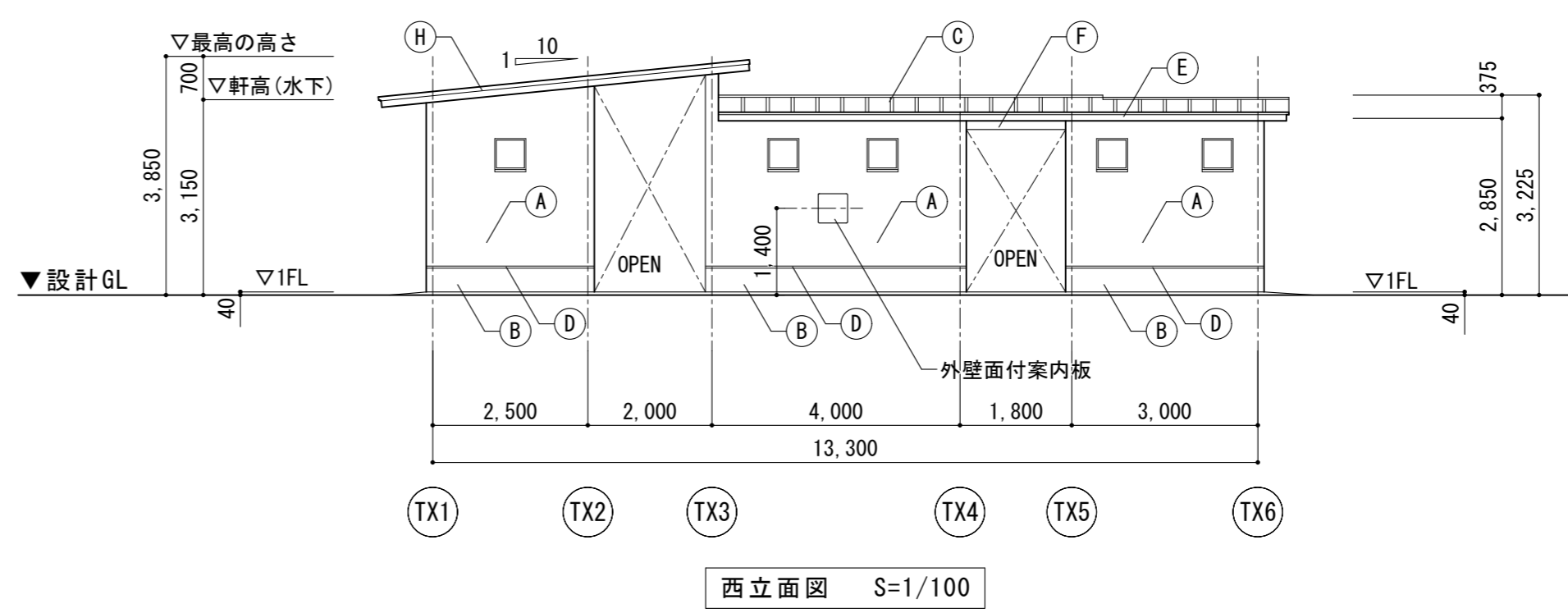
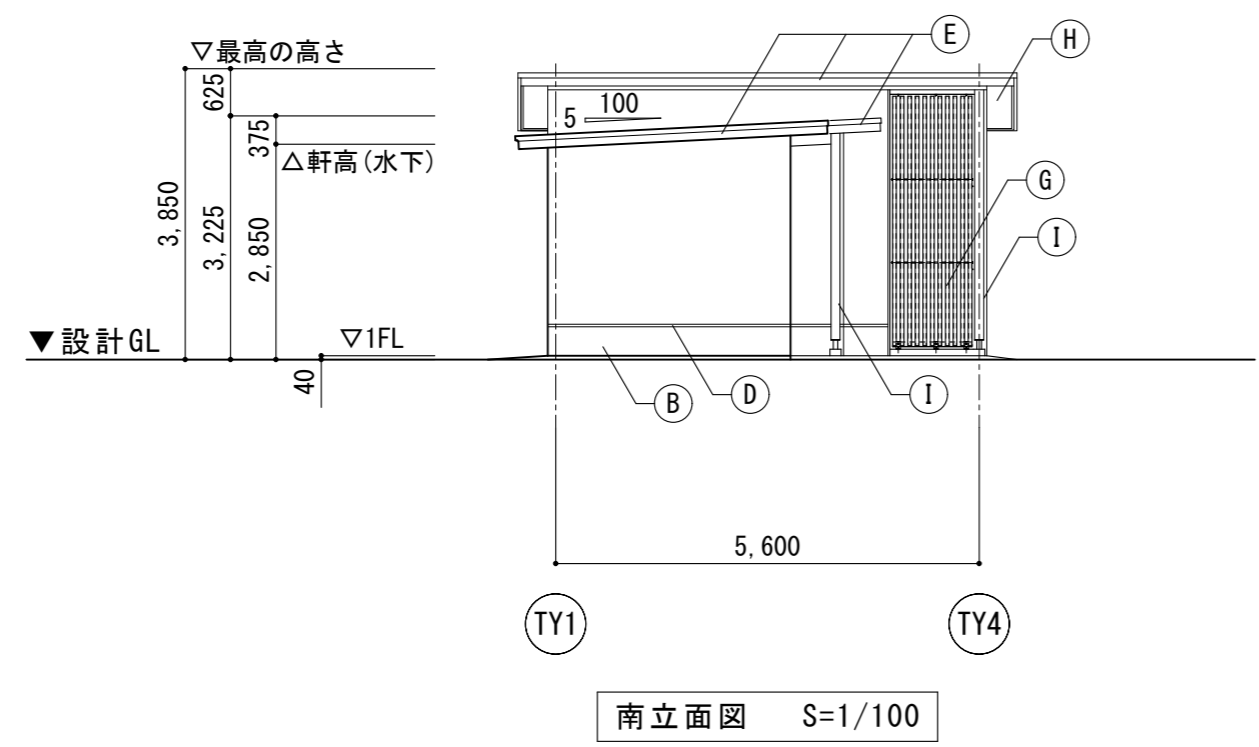
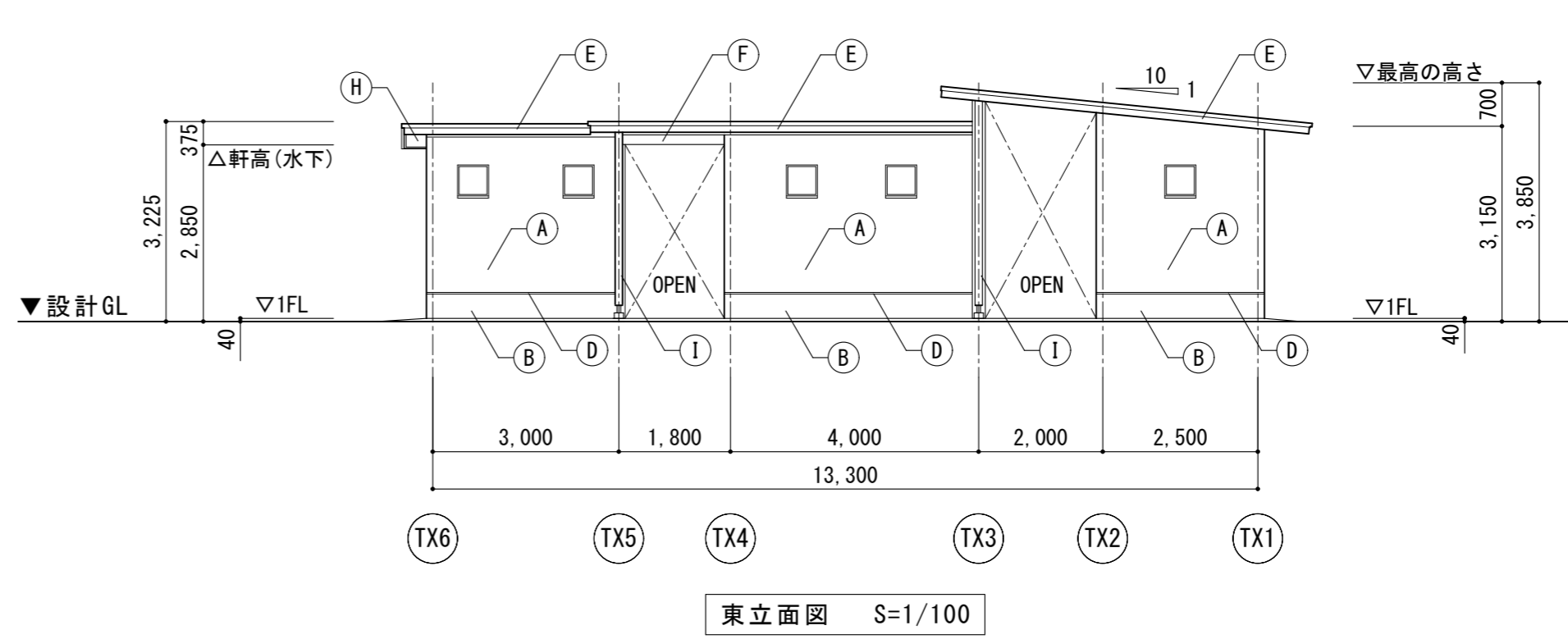
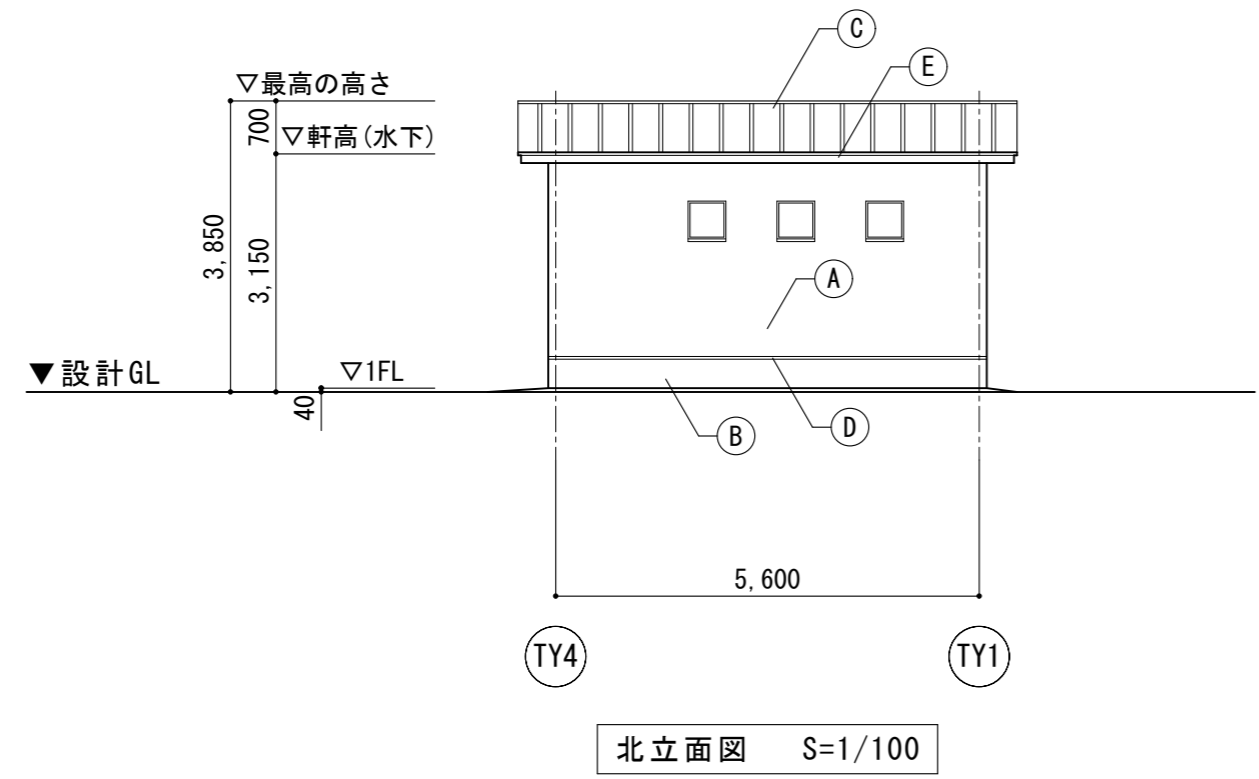
凡例
*** : 設計GL (FH=3.25) からの高さを示す。



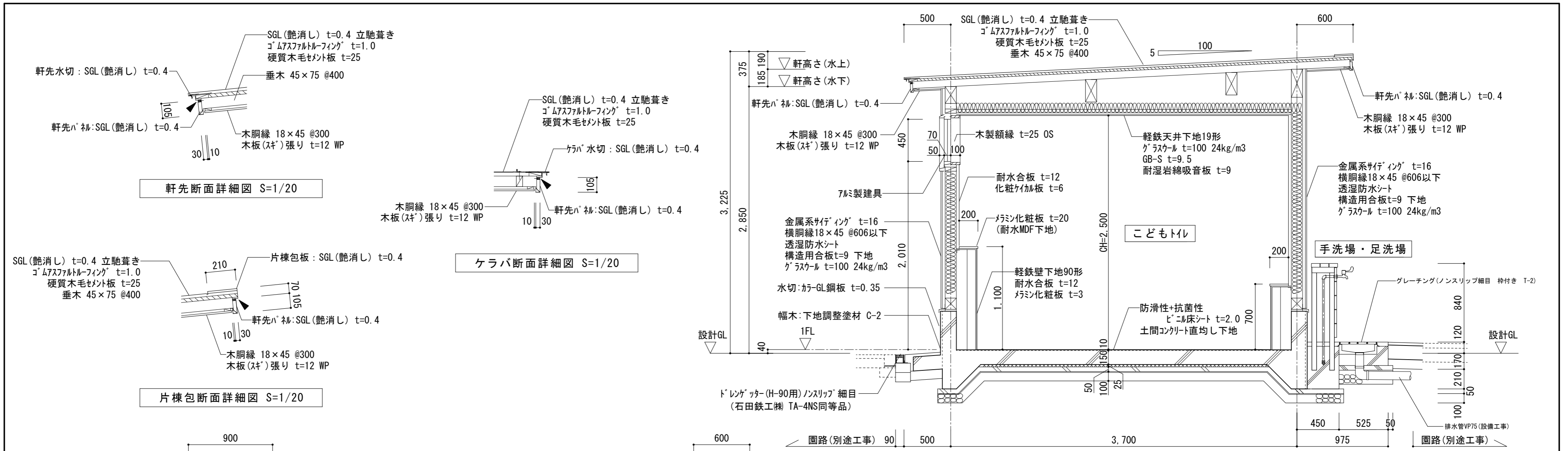
屋根伏図 S=1/100

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	平面図兼建具配置図 屋根伏図、天井伏図 S=1/100	A - 16
下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道		設計変更 回	47 - 17

立面図 凡例					
符号	仕上	符号	仕上	符号	仕上
(A)	外壁：金属系サイディング t=16	(D)	水切：塗装溶融55%7μmニウム-亜鉛合金めっき鋼板 t=0.35	(G)	人工木ルーバー
(B)	幅木：下地調整塗材 C-2	(E)	軒先パネ：SGL(艶消し) t=0.4	(H)	軒天：木板(スギ)張り t=12 WP
(C)	屋根：SGL(艶消し) t=0.4 立馳葺き	(F)	木梁 WP	(I)	木柱(ヒキ) φ150 WP
				(J)	
				(K)	
				(L)	



年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	立面図、断面図	S=1/100	A - 17
下松市		株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47 - 18

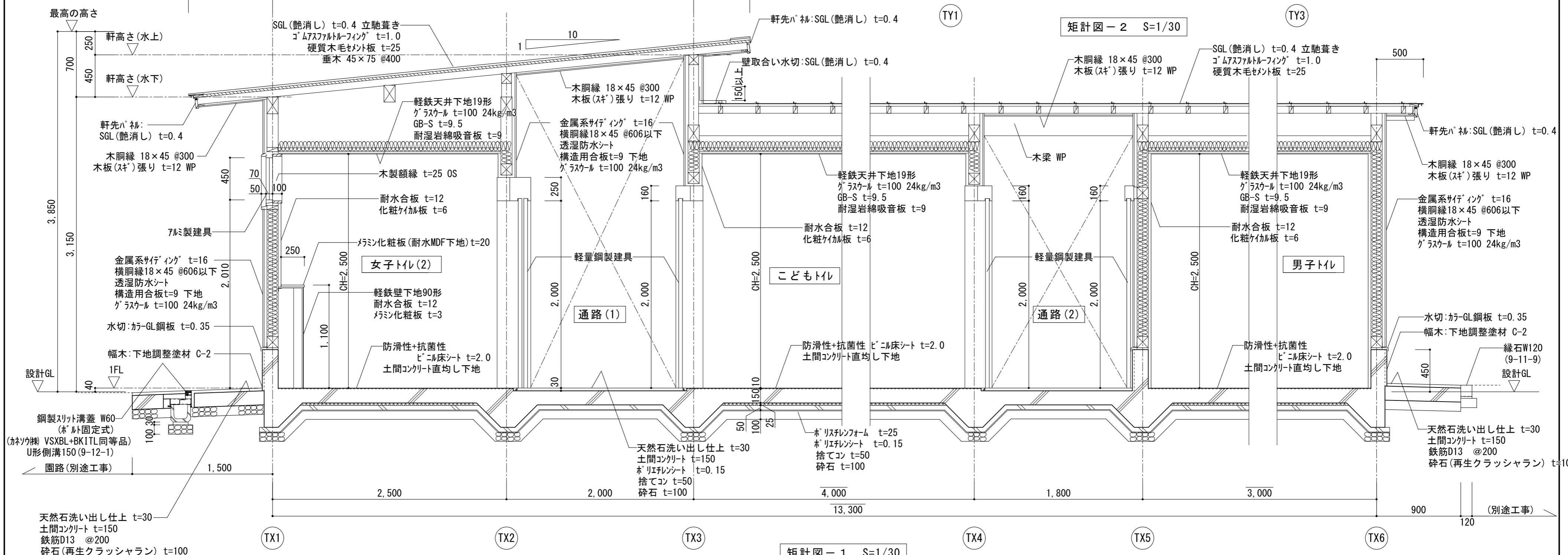


軒先断面詳細図 S=1/20

ケラバ断面詳細図 S=1/20

片棟包断面詳細図 S=1/20

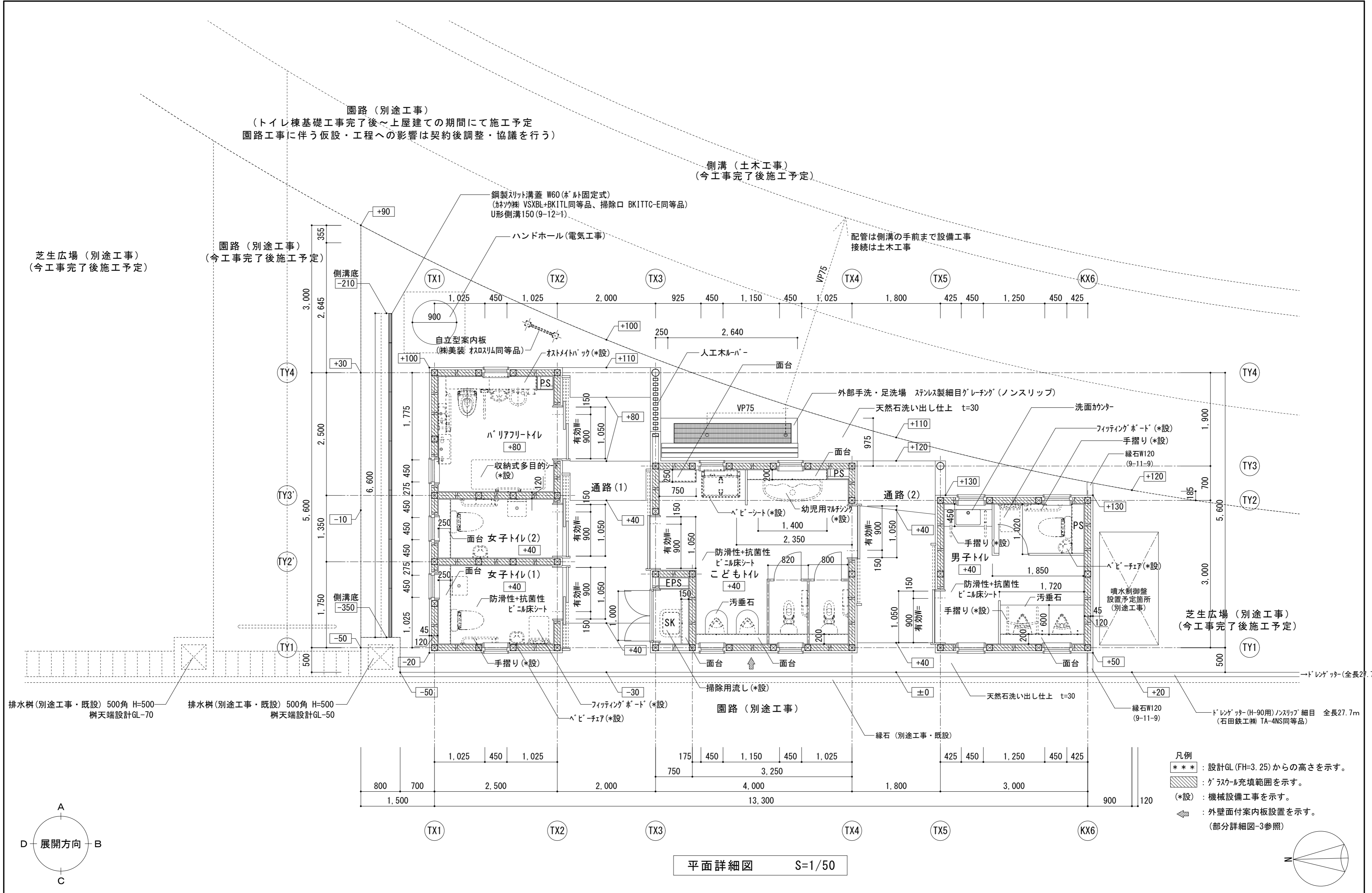
矩計図 - 2 S=1/30



矩計図 - 1 S=1/30

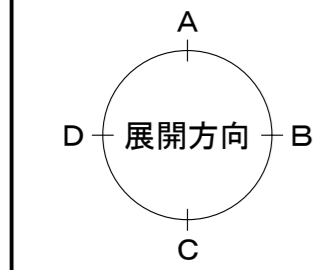
カー-GL鋼板・・・塗装溶融55%7μニコム-亜鉛合金めっき鋼板を示す。

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	矩計図	S=1/30	A - 18
下松市		株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47 - 19



排水樹(別途工事・既設) 500角 H=500
樹天端設計GL-70

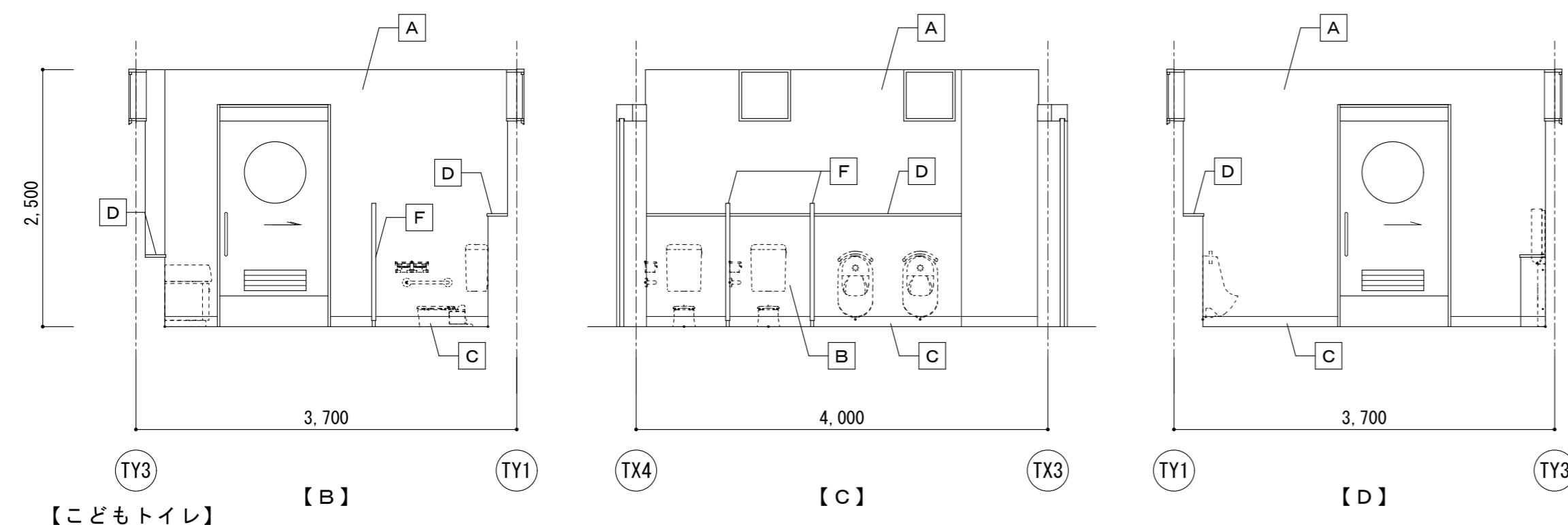
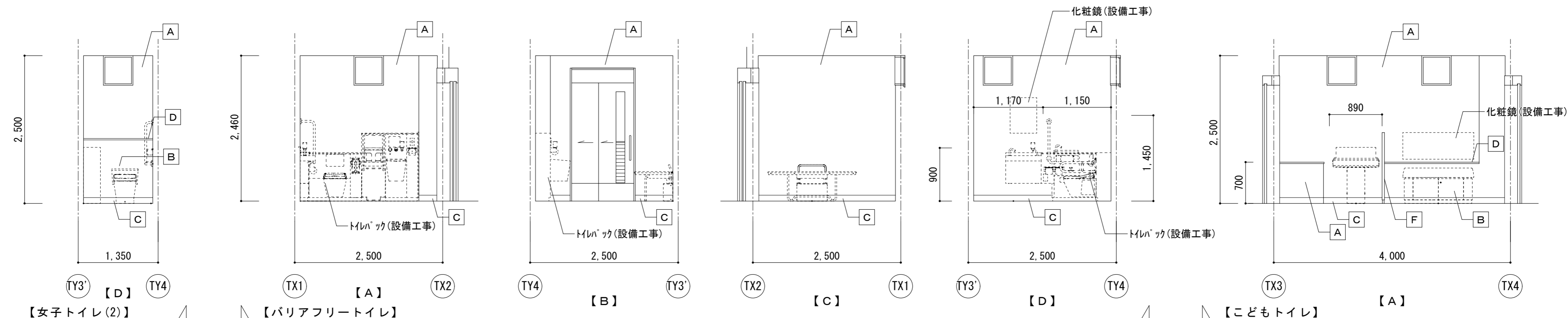
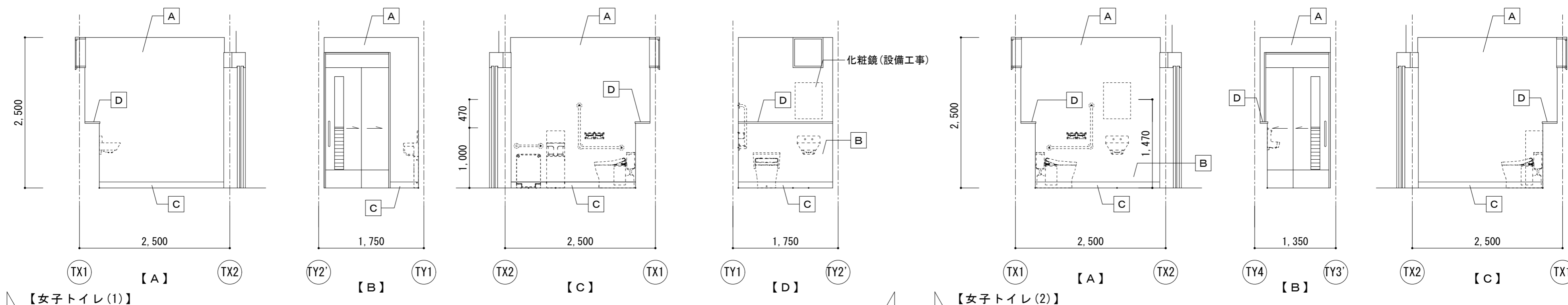
排水樹(別途工事・既設) 500角 H=500
樹天端設計GL-50



- 凡例
- *** : 設計GL (FH=3.25) からの高さを示す。
 - ▨ : グラスコル充填範囲を示す。
 - (*設) : 機械設備工事を示す。
 - ◀ : 外壁面付案内板設置を示す。(部分詳細図-3参照)

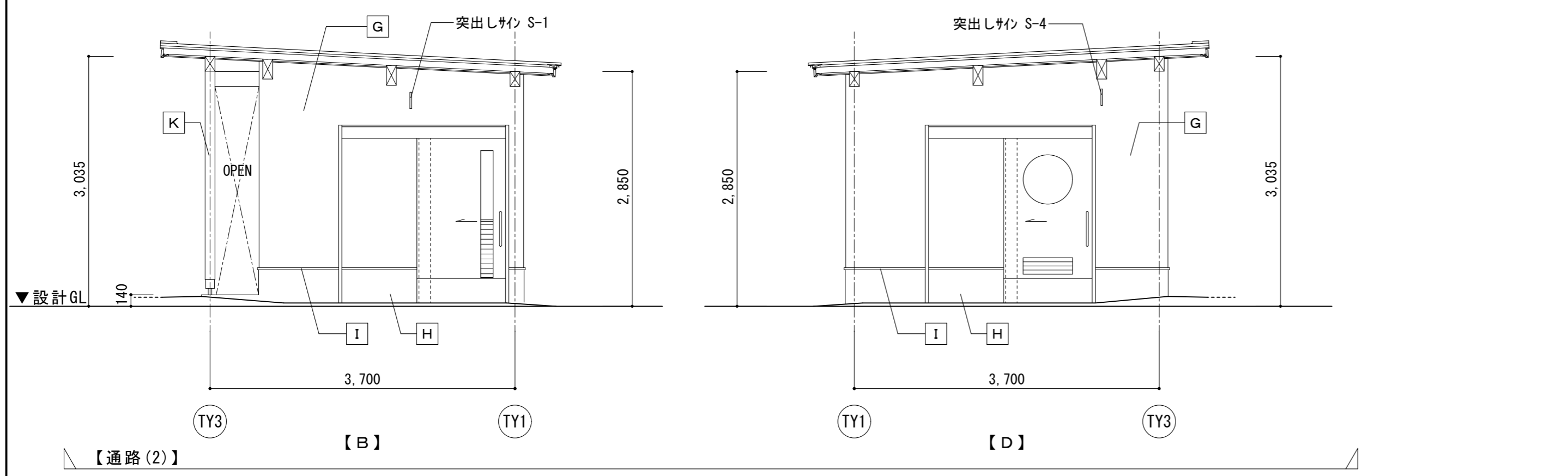
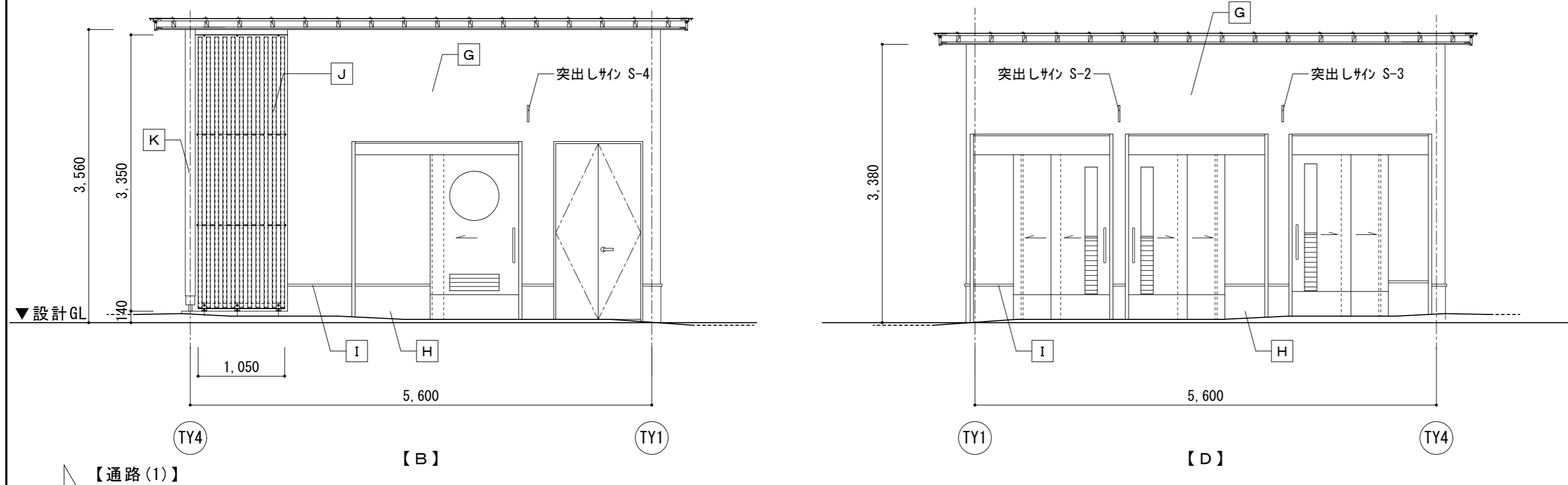
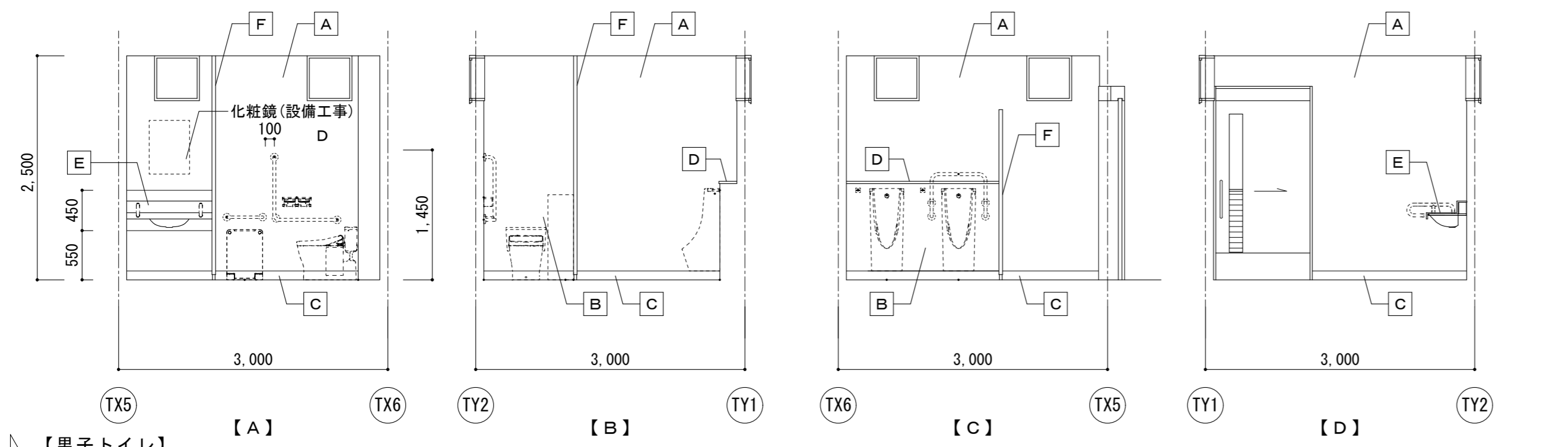
平面詳細図 S=1/50

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	平面詳細図	S=1/50	A - 19
下松市		株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47 - 20



凡 例	
A	耐水合板 t=12 下地 化粧FK t=6
B	耐水合板 t=12 下地 フォルミ化粧合板 t=3
C	ビニル床シート立上 H100 + 見切り アルミアングル(既製品)
D	面台
E	洗面カウンター
F	トイレース
G	外壁：金属系サ行'インク' t=16
H	幅木：下地調整塗材 C-2
I	水切：塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 t=0.35
J	人工木ルバー
K	木柱(ヒキ) φ150 WP

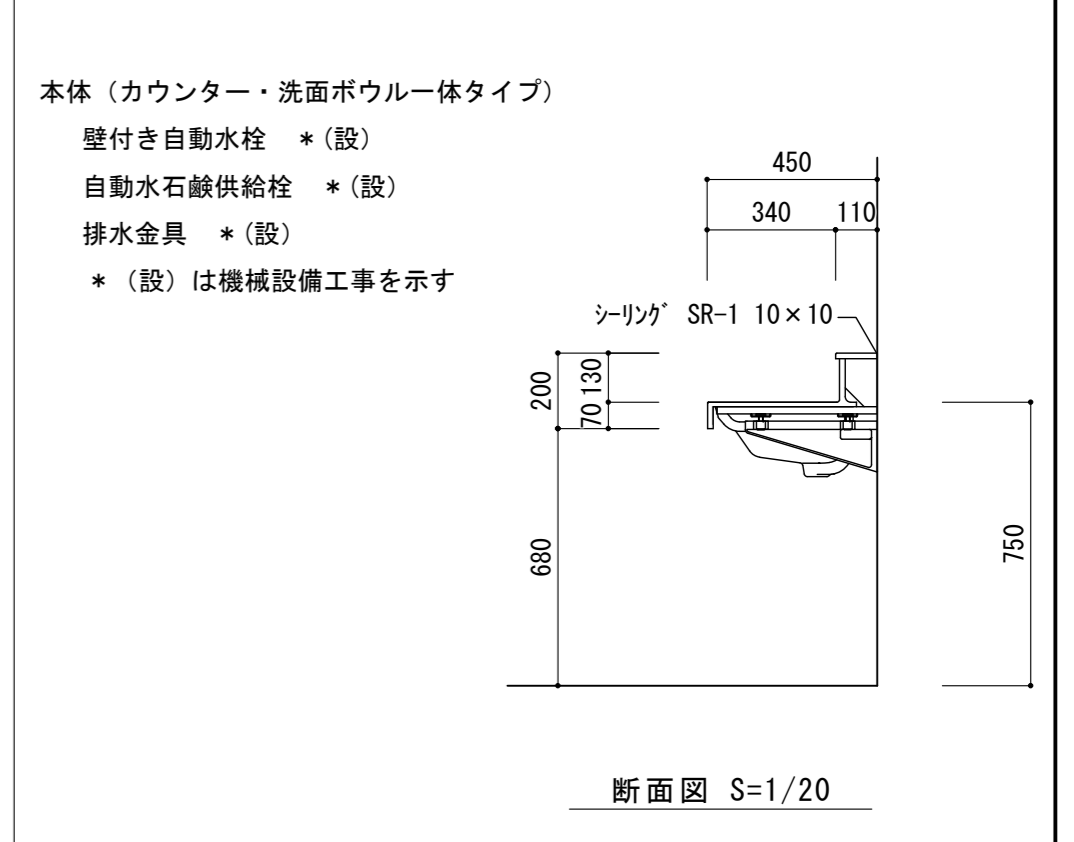
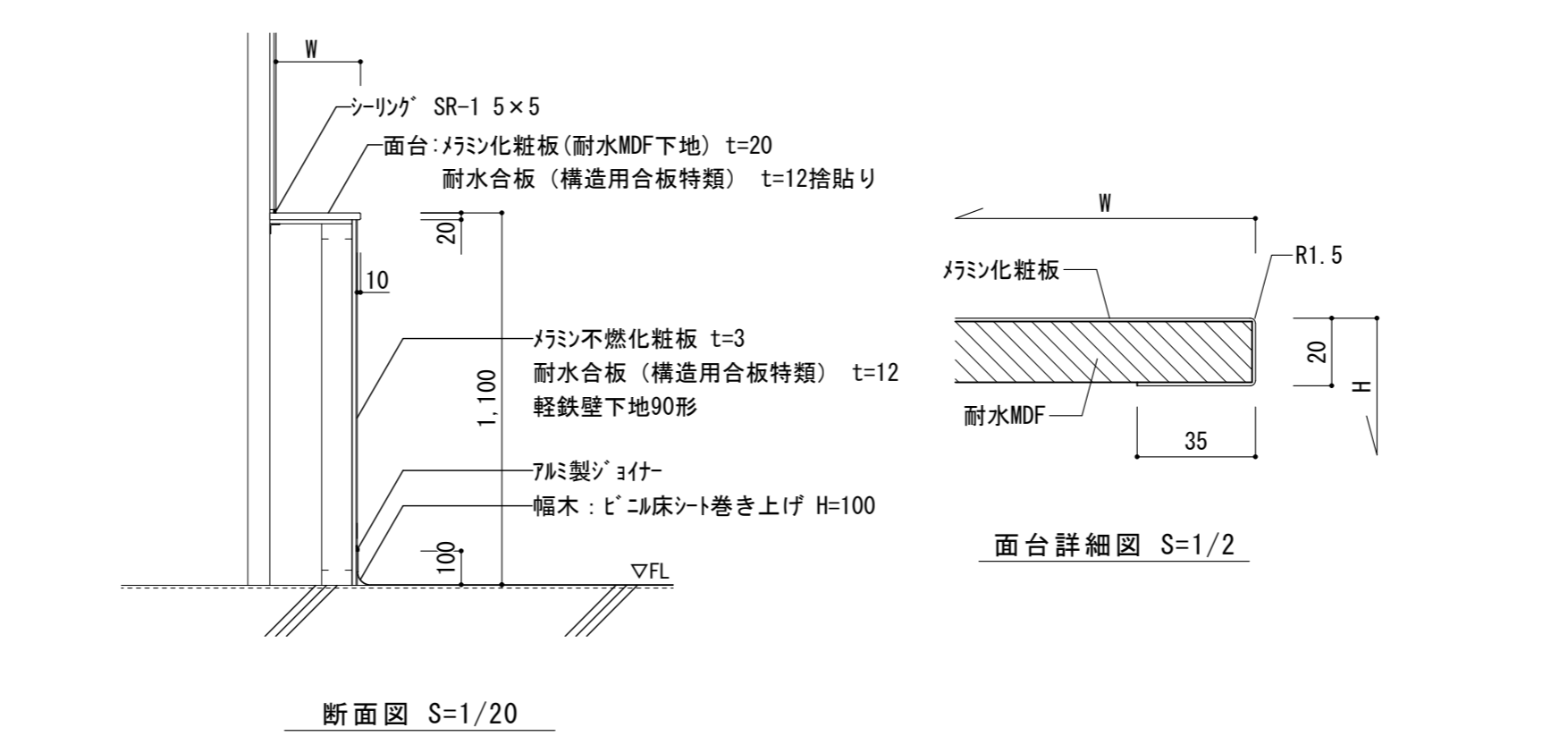
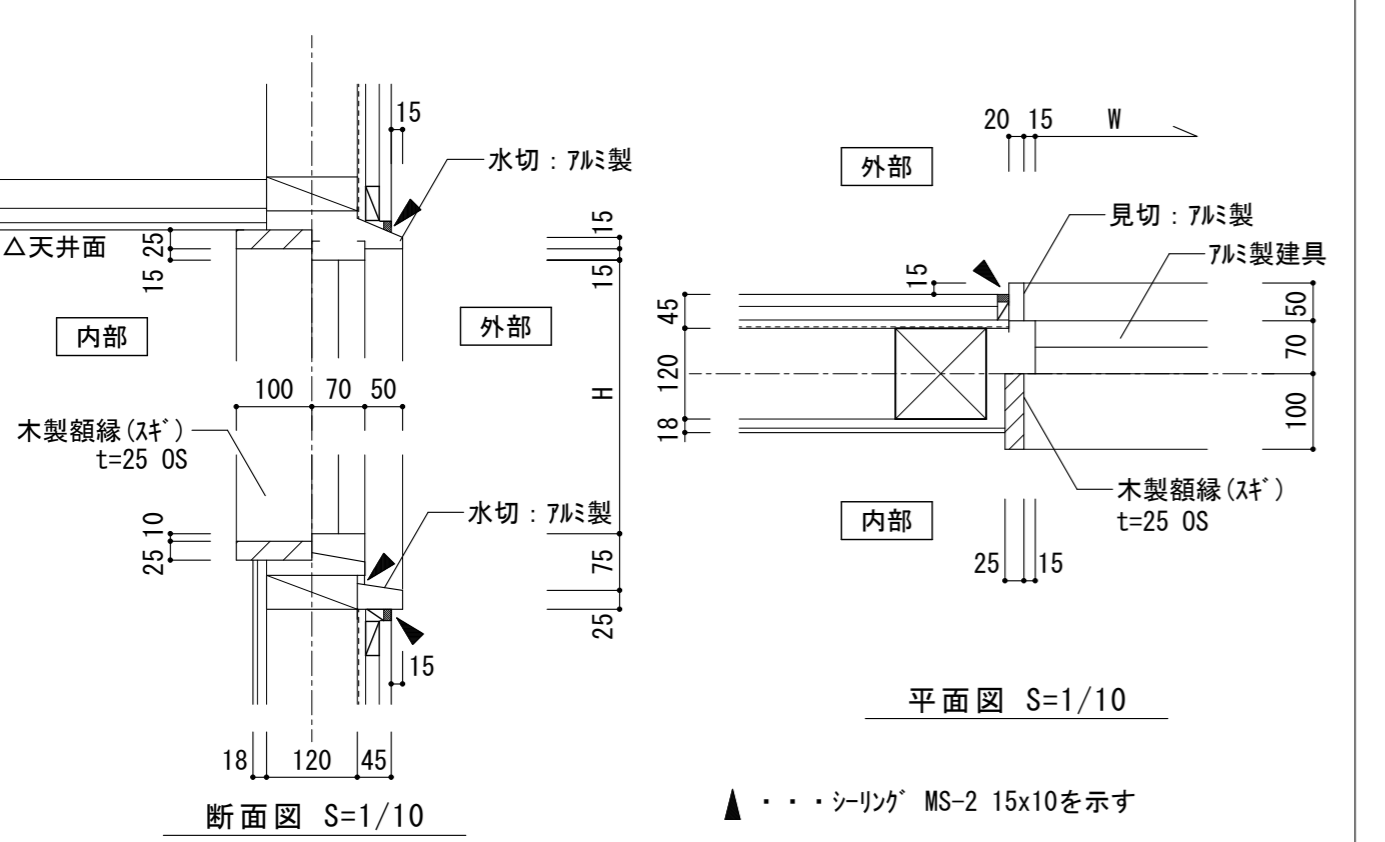
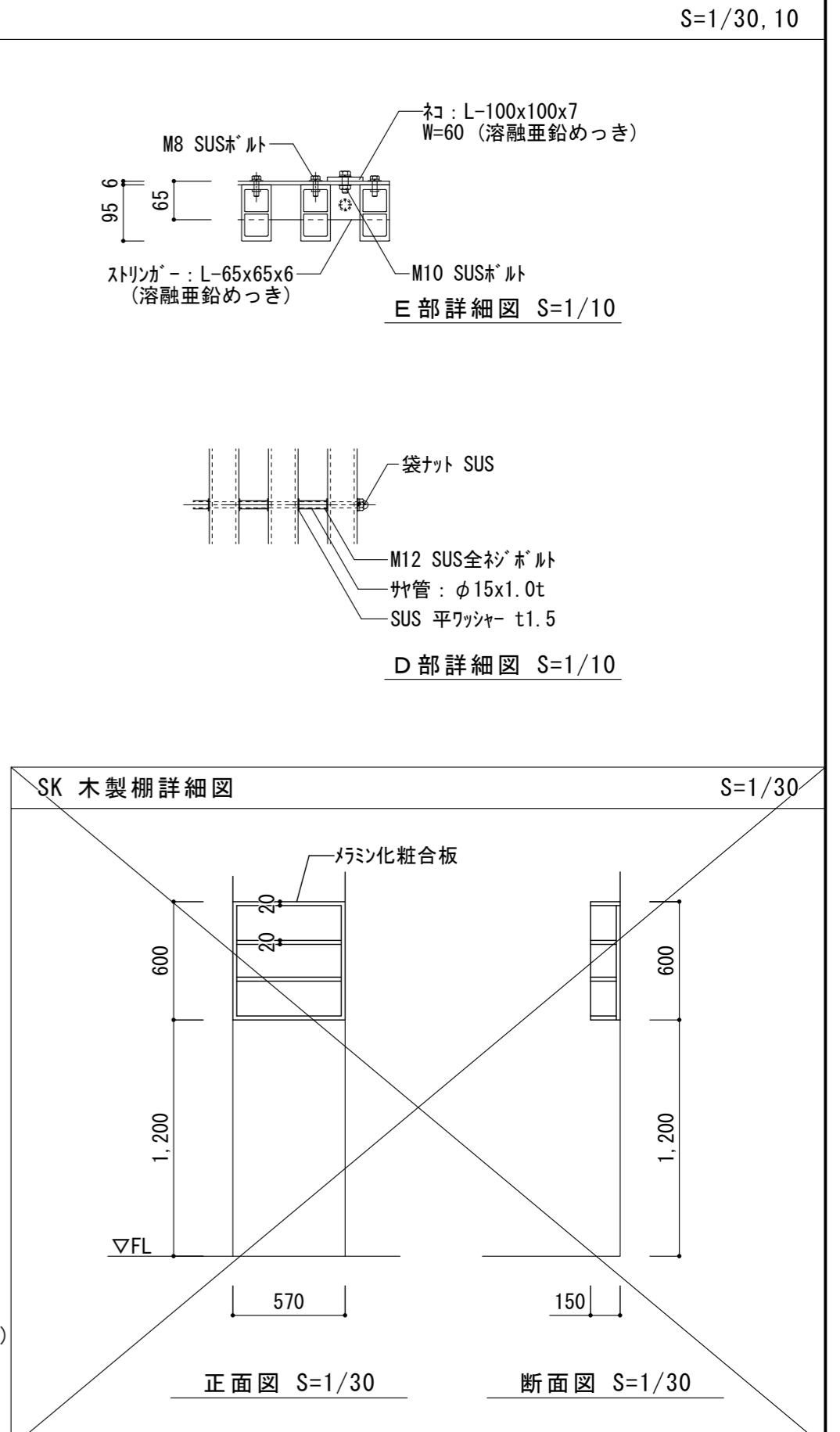
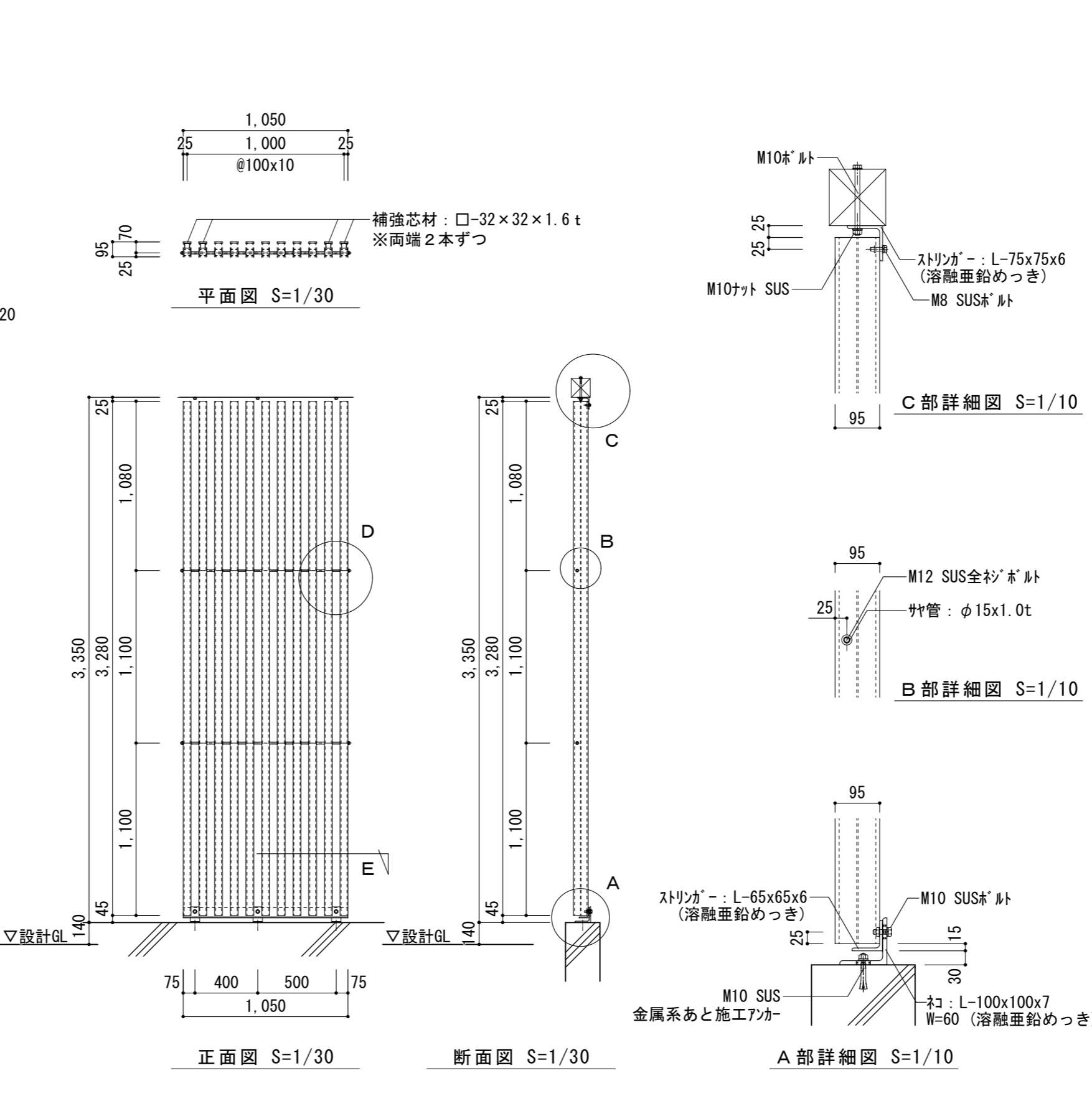
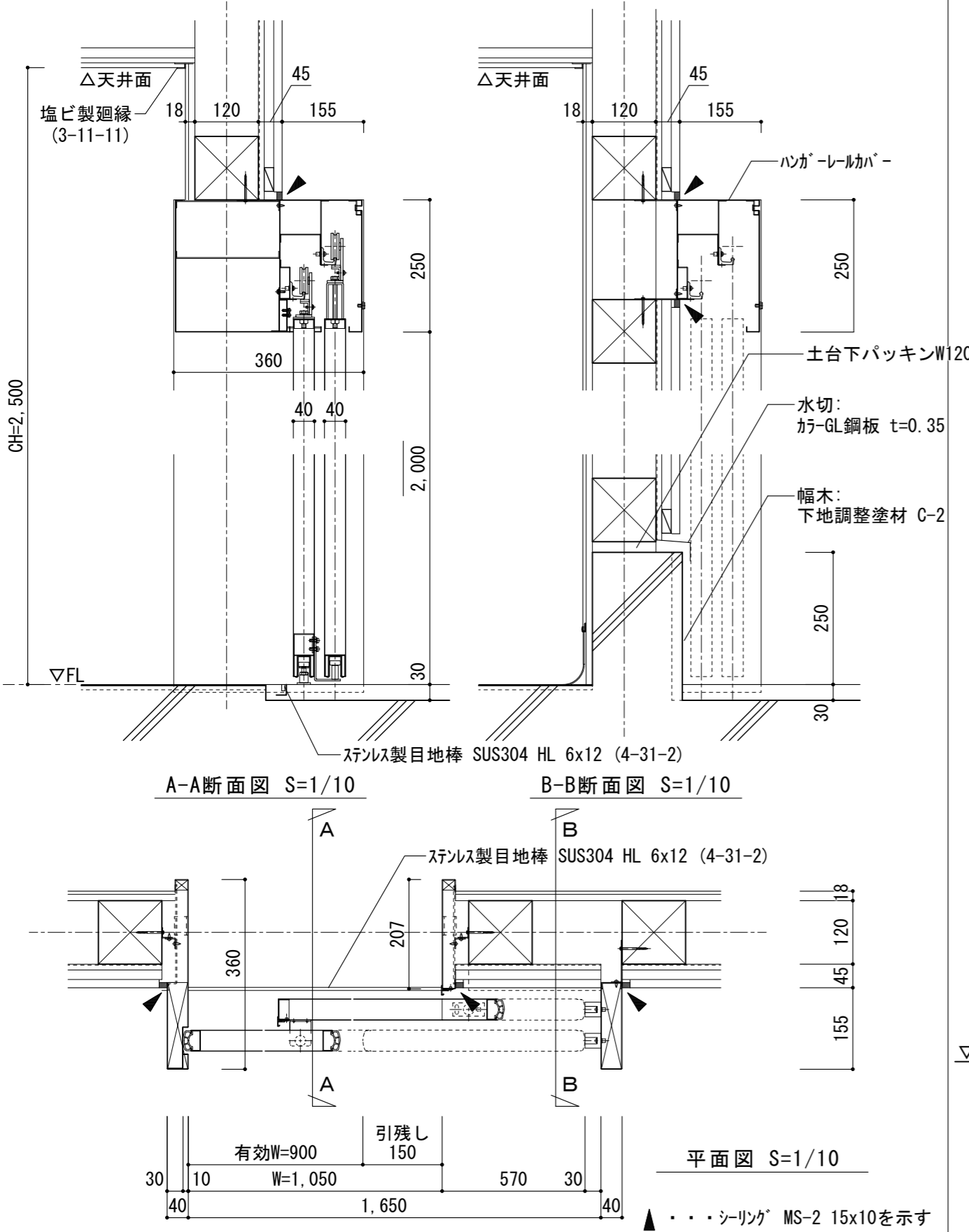
年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	展開図 - 1	S=1/50	A - 20
下松市		株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47 - 21



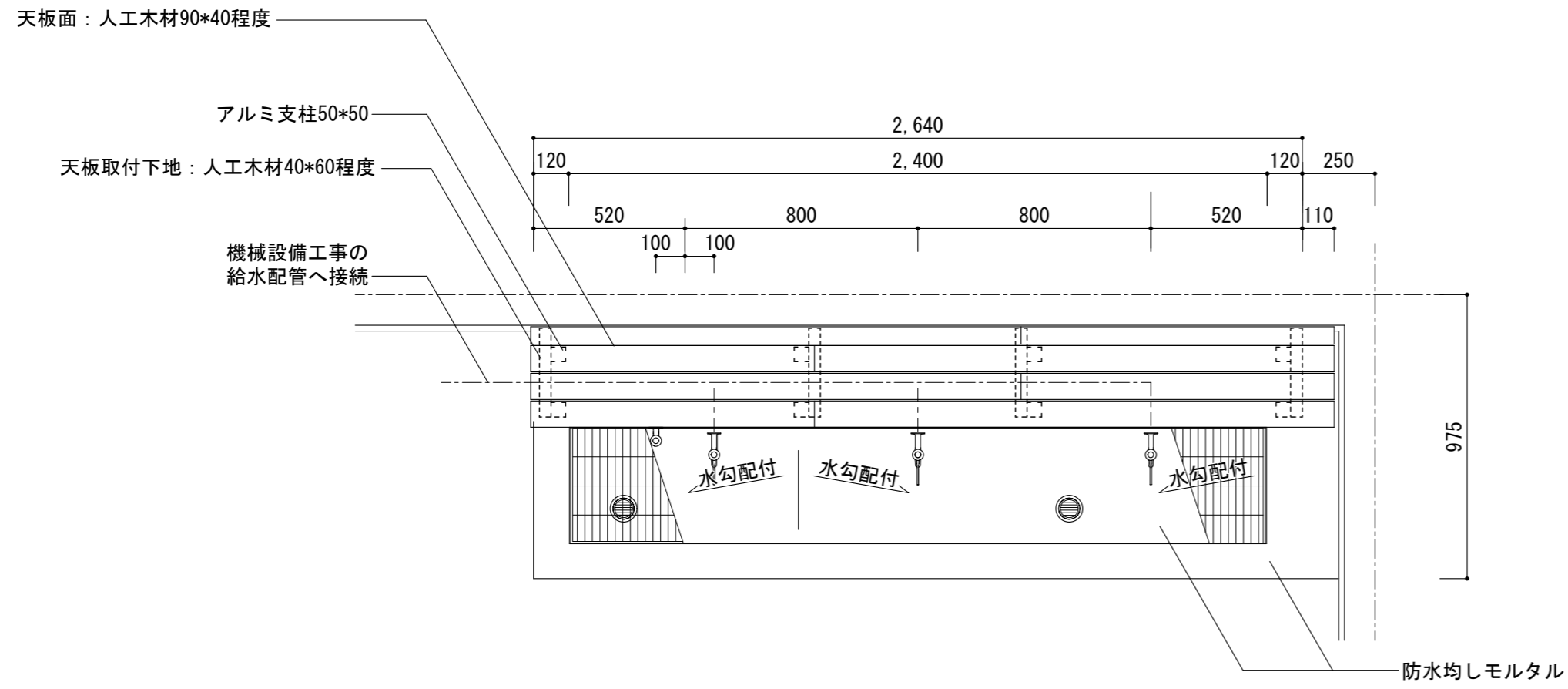
凡 例	
A	耐水合板 t=12 下地 化粧FK t=6
B	耐水合板 t=12 下地 フォルミ化粧合板 t=3
C	ビニル床シート立上 H100 + 見切り アルミアングル(既製品)
D	面台
E	洗面カウンター
F	トイレース
G	外壁：金属系サ行'インク' t=16
H	幅木：下地調整塗材 C-2
I	水切：塗装溶融55%アルミニウム一垂鉛合金めっき鋼板 t=0.35
J	人工木ルーバー
K	木柱(ヒキ) φ150 WP

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	展開図 - 2	S=1/50	A - 21
下松市		株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47 - 22

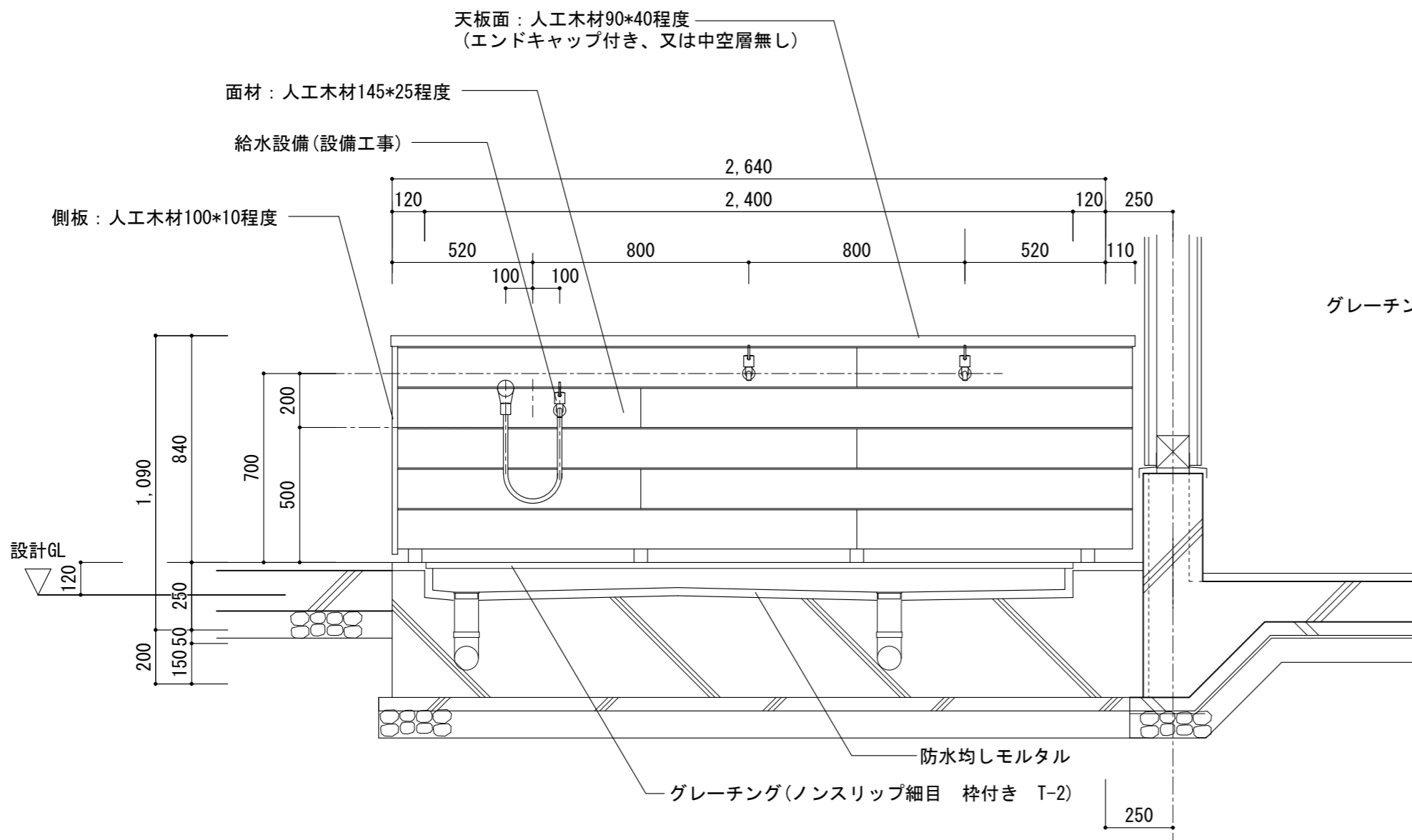
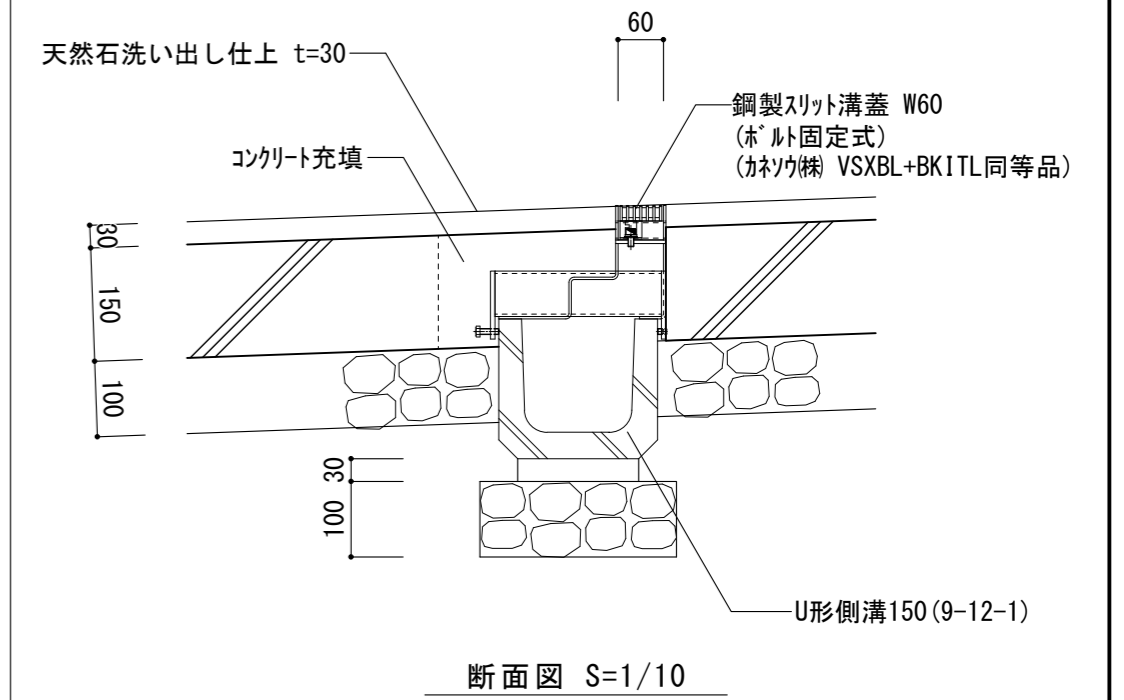
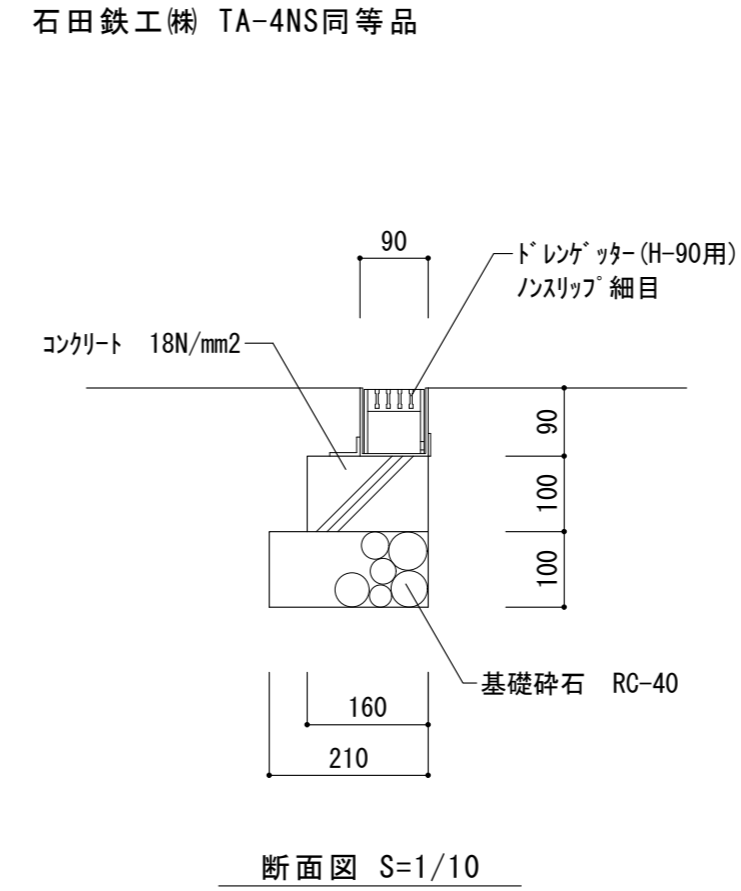
符号	形式	① AW	アルミ製FIX窓	① LD	軽量スチール製 上吊片引きフロッツ2重片引戸	② LD	軽量スチール製 上吊片引きフロッツ2重片引戸	③ LD	軽量スチール製 上吊片引きフロッツ片引戸	④ LD	軽量スチール製 上吊片引きフロッツ片引戸	⑤ LD	軽量スチール製 両開きフロッツドア		
位置	箇所数	男子トイレ、女子トイレ(1)、女子トイレ(2) ユニバーサルトイレ、こどもトイレ		1 3	女子トイレ(1)、女子トイレ(2)	2	ユニバーサルトイレ	1	こどもトイレ	2	男子トイレ	1	SK	1	
姿図															
材料	仕上	アルミ	BA-2	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装	スチール	焼付塗装
枠見込	硝子	70	F4	360 (扉:40)	F4	360 (扉:40)	F4	295 (扉:40)	T5	295 (扉:40)	F4	215 (扉:36)	—		
金物	水切、付属品金物一式 木製額縁(スギ) t=25 OS ステンレス製引棒、シリンダ-鎌錠表示付各2ヶ所(内部サムターン) ハンガ-レル、自閉装置(ストップ付)、付属金物一式 ステンレス製引棒、シリンダ-鎌錠表示付各2ヶ所(内部サムターン) ハンガ-レル、自閉装置(ストップ付)、付属金物一式 ステンレス製引棒、シリンダ-鎌錠 ハンガ-レル、自閉装置(ストップ付)、付属金物一式 ステンレス製引棒、シリンダ-鎌錠 ハンガ-レル、自閉装置(ストップ付)、付属金物一式 丁番、ドアノブ、フラス落し、戸当り(床付け) ハンガ-レル、自閉装置(ストップ付)、付属品金物一式														
備考															
符号	形式	① TB	トイレブース	② TB	隔て板	③ TB	トイレブース	④ TB	隔て板						
位置	箇所数	こどもトイレ		1	こどもトイレ	1	男子トイレ	1	男子トイレ	1					
姿図															
材料	仕上	木製(ベ-ハ-コ7)	ハ-ル: 高圧メラミン樹脂化粧板 ドア: マリニ樹脂化粧板	木製(ベ-ハ-コ7)	高圧メラミン樹脂化粧板	木製(ベ-ハ-コ7)	高圧メラミン樹脂化粧板	木製(ベ-ハ-コ7)	高圧メラミン樹脂化粧板	木製(ベ-ハ-コ7)	高圧メラミン樹脂化粧板				
枠見込	硝子	40	—	40	—	40	—	40	—	40	—				
金物	ステンレス製支持脚(7ツキタイプ) H60、エッジ: アルミニウム押出型材、把手(L=120) ステンレス製支持脚(7ツキタイプ) H60 エッジ: アルミニウム押出型材 巾木: ステンレス製 H60、エッジ: アルミニウム押出型材、スライドラッチ2ヶ所 グレ-ティン、非常時外開き仕様、戸当たり帽子掛け 巾木: ステンレス製 H60、エッジ: アルミニウム押出型材														
備考	三和シャッター工業株式会社同用品														
【ガラス種別略号】							年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)					
F 型板ガラス							下松市	株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	建具表	S=1/50		A - 22			
T 強化ガラス									設計変更	回	47 - 23				



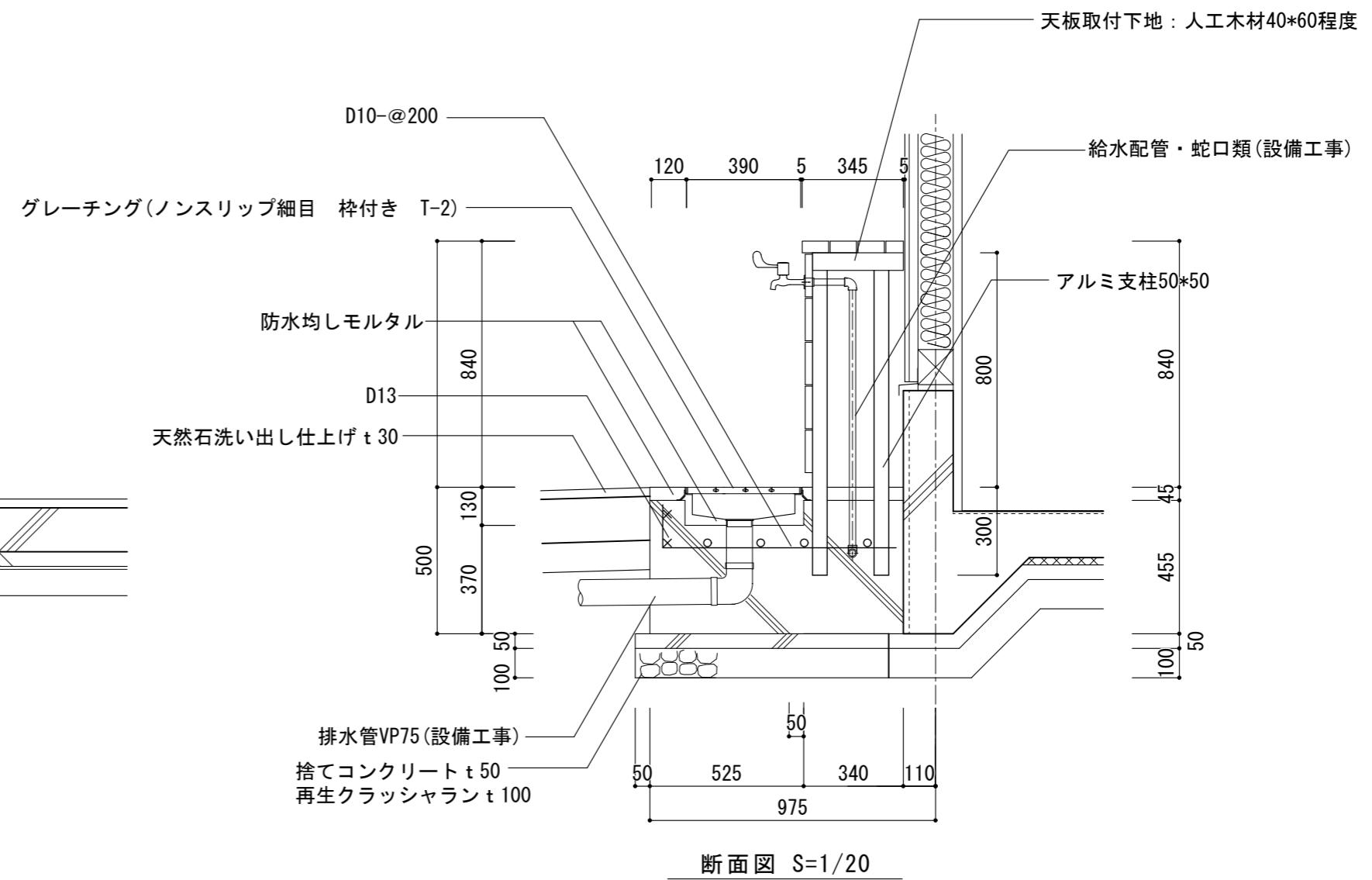
年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	部分詳細図 - 1	S=1/30, 20, 10, 2	A	- 23
下松市		株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回		47	- 24



平面図 S=1/20



正面図 S=1/20

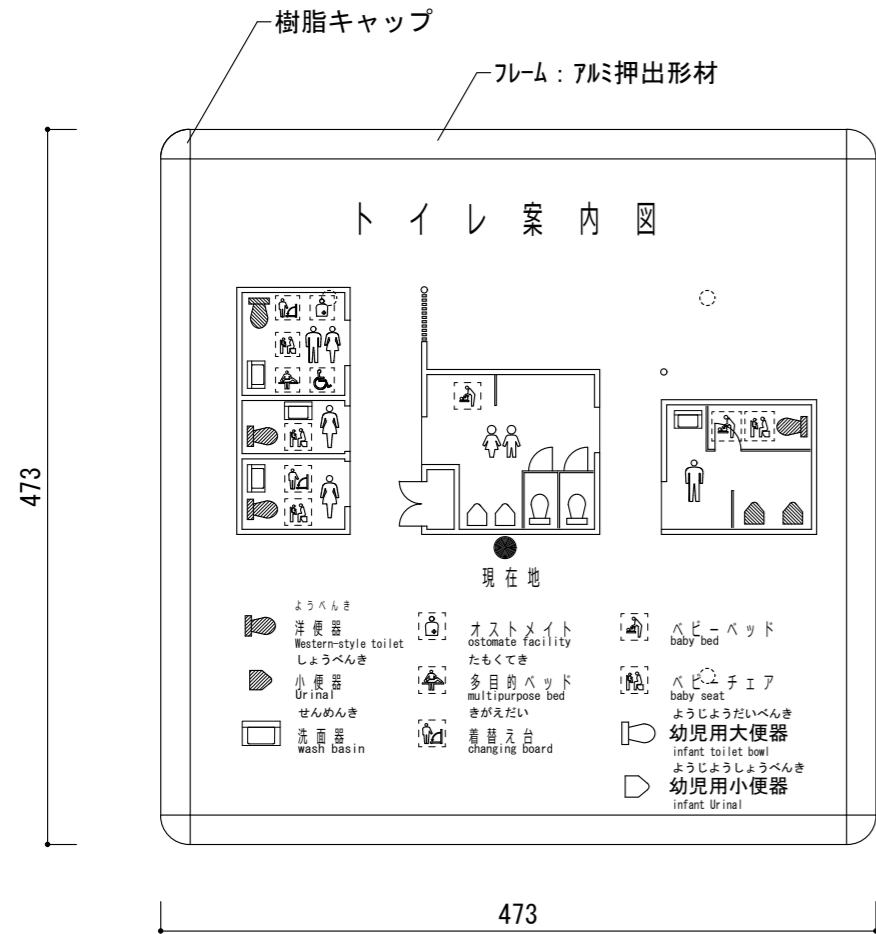


	年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	部分詳細図 - 2	S=1/20, 10	A - 24
		下松市			設計変更	回	47 - 25

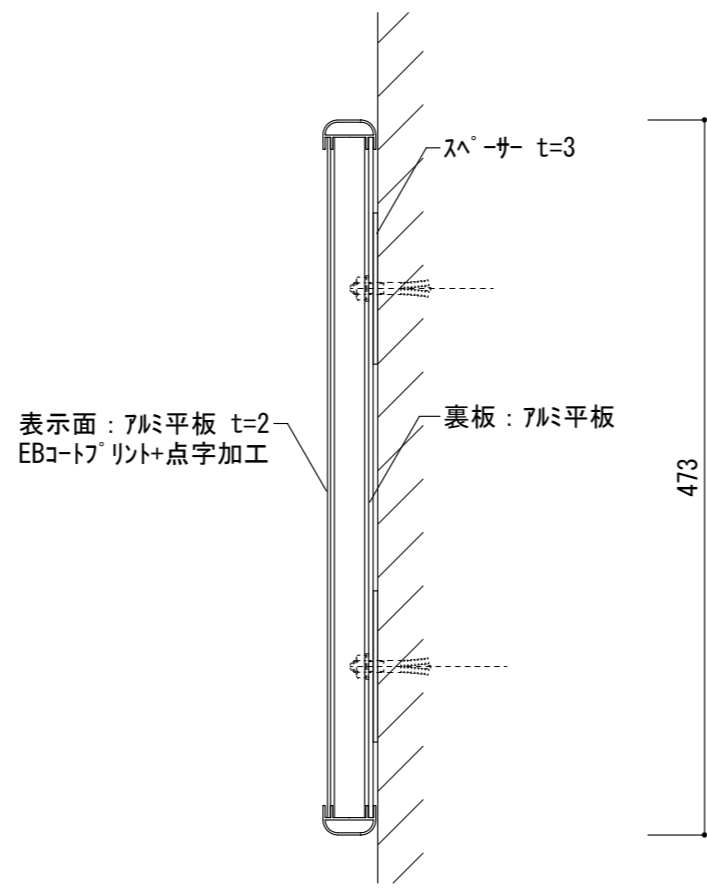
外壁面付案内板 詳細図

S=1/5

櫛美装 ATF-1 同等品



展開図 S=1/5

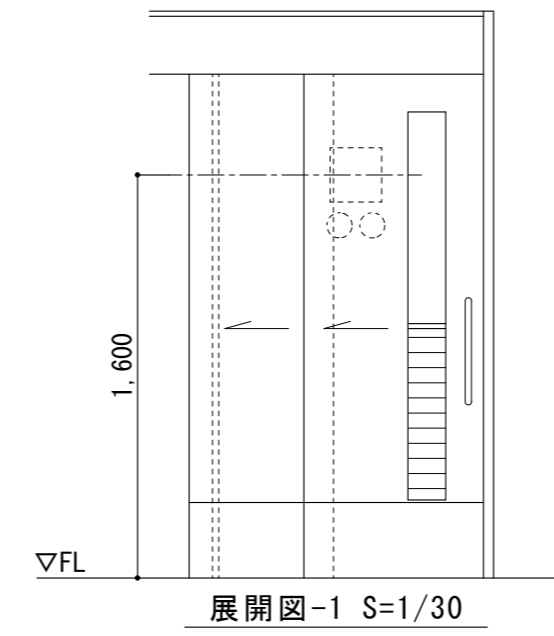


断面図 S=1/5

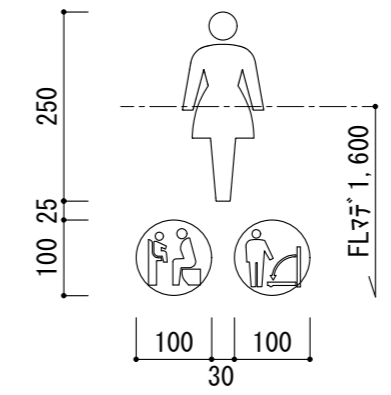
各室出入口 サイン詳細図

S=1/20, 5

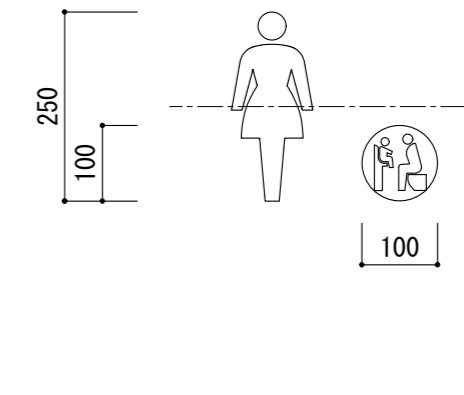
※全てカッティングシート貼り



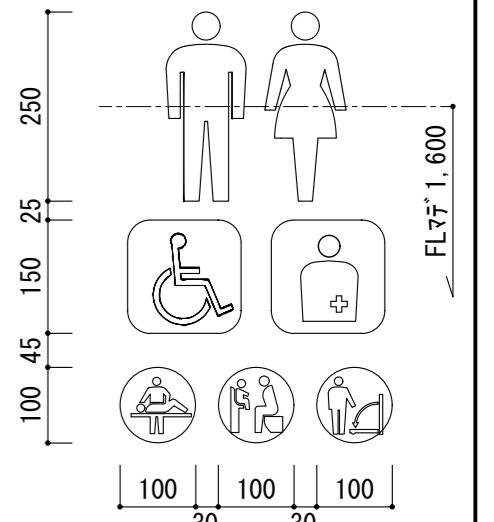
展開図-1 S=1/30



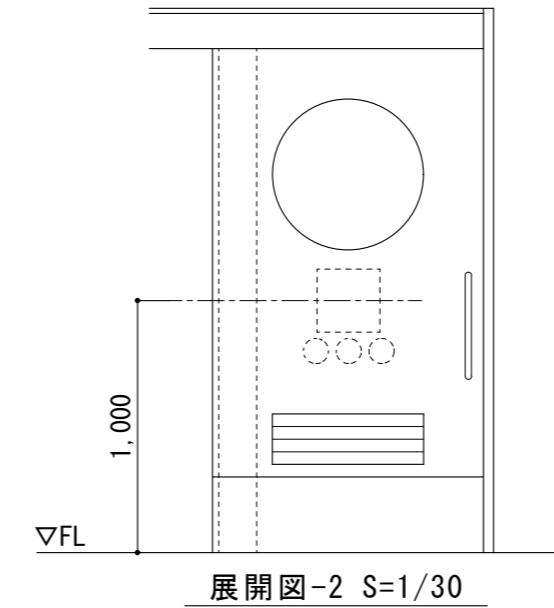
女子トイレ(1)表示 S=1/10



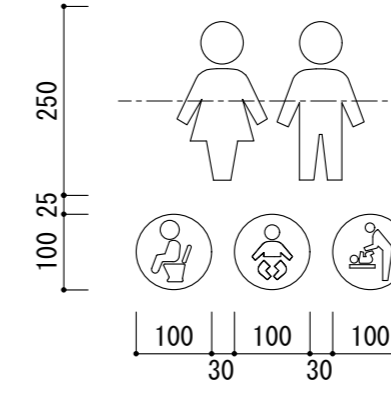
女子トイレ(2)表示 S=1/10



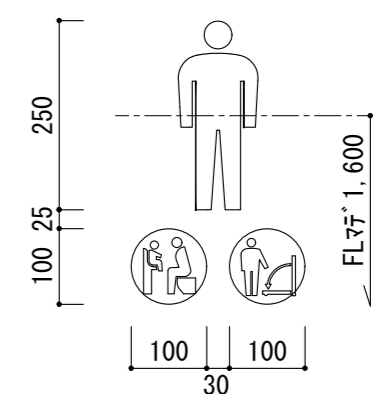
ユニバーサルトイレ表示 S=1/10



展開図-2 S=1/30



子どもトイレ表示 S=1/10

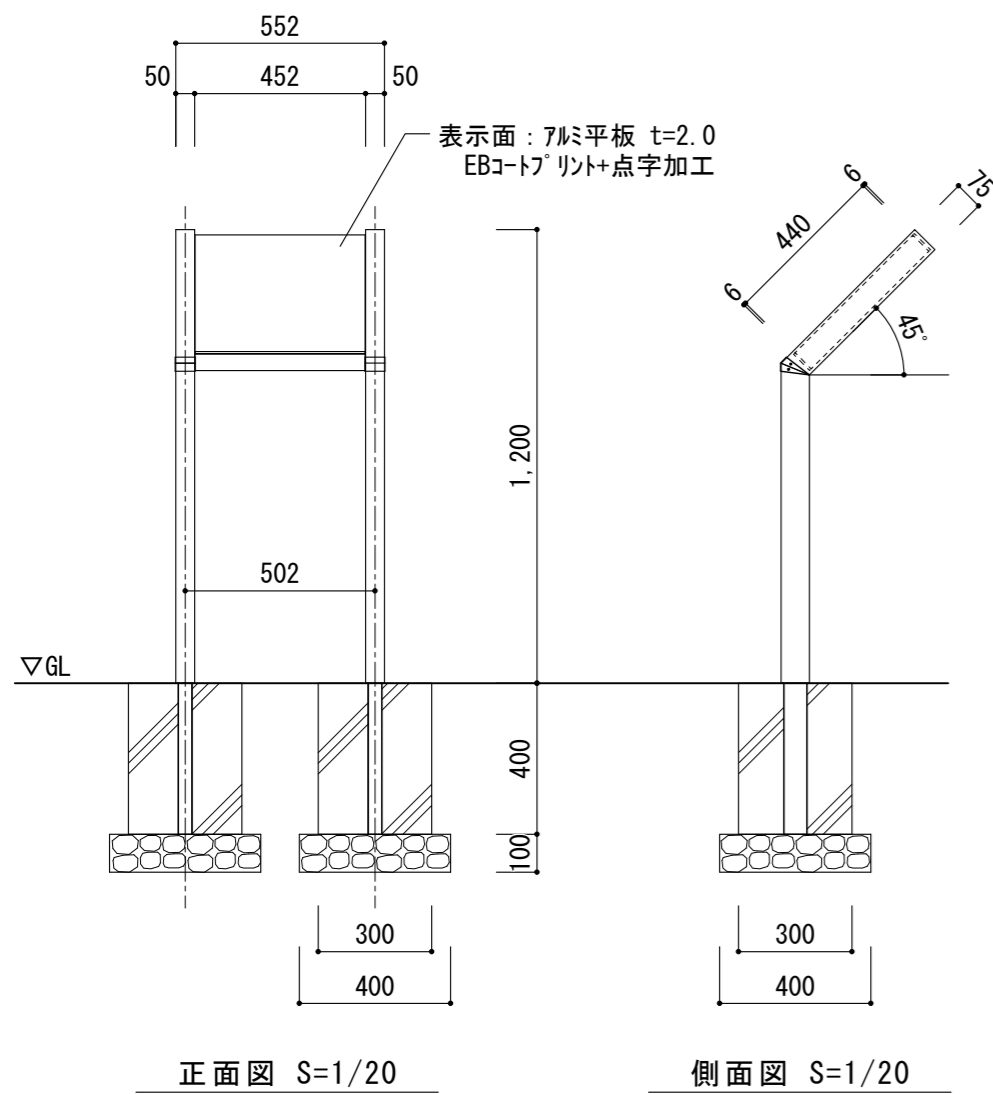


男子トイレ表示 S=1/10

自立型案内板 詳細図

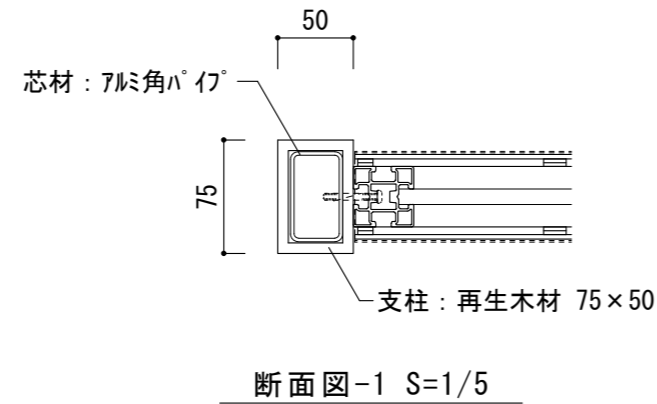
S=1/20, 5

櫛美装 オアシス同等品

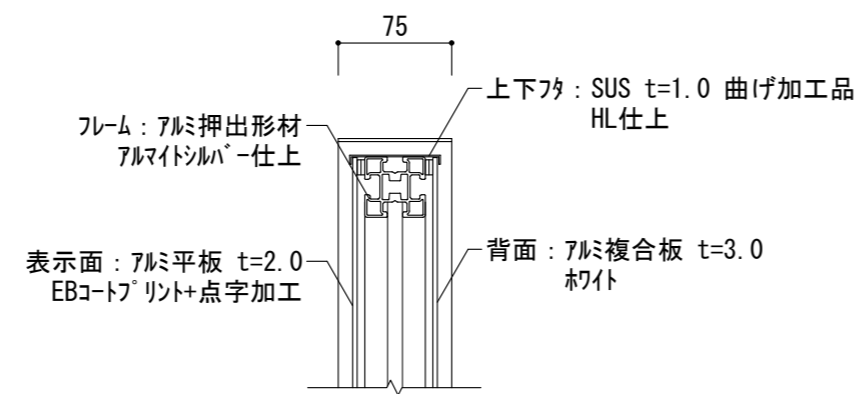


正面図 S=1/20

側面図 S=1/20



断面図-1 S=1/5

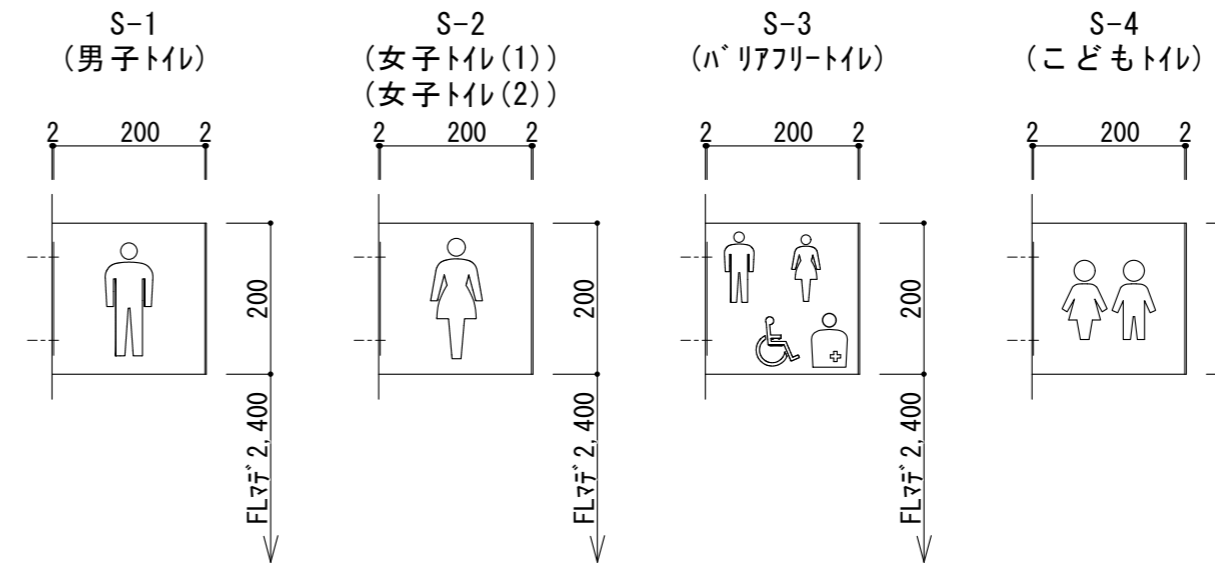


断面図-2 S=1/5

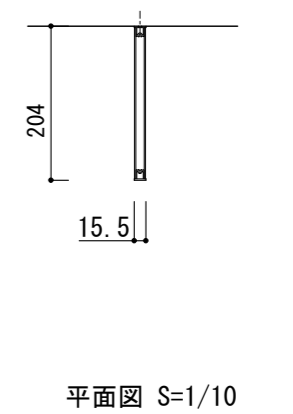
突出型サイン詳細図

S=1/10

突出型サイン アルミ型材 UV印刷 ピクト両面
(神楽ホームクリエイト SK-AS-2T同等品)



展開図 S=1/10



平面図 S=1/10

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	部分詳細図-3	S=1/20, 5	A	25
	下松市	株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回	47	26

建物概要等		備考	
1. 構造概要			
構造概要			
構造種別	地上 ()階~()階(木)造 ()階~()階()造	地下 ()階~()階()造 ()階~()階()造	備考
架構形式	X方向 ()耐震壁 ()構造 Y方向 ()耐震壁 ()構造		
耐震構造方式	○耐震構造・制振構造 ・免震構造(免震層の位置・基礎下免震・中間階免震()階)		
基礎方式	○直接基礎(・独立・連続 ○べた・) ・杭基礎(・場所打ちコンクリート杭・既製コンクリート杭・鋼管杭・)		適用箇所は図示による()
耐震安全性の分類	・Ⅰ類(1.5) ○Ⅱ類(1.25) ・Ⅲ類(1.0)		耐震等級2として検討
耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3) ○Ⅱ類(1.15) ・Ⅲ類(1.0)		耐風等級2として検討
2. 構造設計条件等			
計算方法			
	X方向	Y方向	備考
許容応力度計算(令第82条各号+令第82条の4)【ルート1】	○	○	X方向、Y方向の適用する計算方法に○を記載する
許容応力度等計算【ルート2】	・	・	
保有水平耐力計算【ルート3】	・	・	
限界耐力計算	・	・	
その他の計算法()	・	・	
構造計算適合性判定機関()			
特別な検証法(時刻歴応答解析による)			
大臣認定(認定番号)			
指定性能評価機関()			
評価・高層評価・免震評価・その他(評価番号)			
外力等			
			備考
地震力	設計用一次固有周期	()秒	
	地震地域係数(Z)	Z=・1.0・0.9 ○0.8・0.7	
	地盤の種類	第(2)種地盤 Tc=(0.6)秒	
	標準せん断力係数	X方向	Y方向
	一次設計	C ₀ =(0.2)	C ₀ =(0.2)
二次設計	C ₀ =()	C ₀ =()	
風圧力(施行令第87条)	地表面粗度区分	基準風速(V ₀)	速度圧(q)
	・Ⅰ・Ⅱ○Ⅲ・Ⅳ	(34)m/s	994
風圧力(施行令第82条の4)	地表面粗度区分	基準風速(V ₀)	平均速度圧(q)
	・Ⅰ・Ⅱ○Ⅲ・Ⅳ	(34)m/s	400
積雪荷重	区域	・多雪区域 ○多雪区域以外(特定緩勾配屋根・有○無)	
	設計垂直積雪量	(30)cm	
	単位荷重	(20)N/m ²	
	垂直積雪量の低減	・低減する ○低減しない	
3. 地盤調査資料	※当該敷地の既往調査報告書 ・構造図による		
4. 液状化対策	・有り (範囲・工法・仕様・計測・試験等については構造図を参照) ○無し		

構造関係共通事項(共通事項)		備考														
1.1 適用範囲																
(1) 構造関係共通事項(配筋標準図)は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。																
(2) 構造関係共通事項(鉄骨標準図)は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。																
(3) 建築構造図に特記無き事項は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年度版による。																
1.2 用語の定義																
(1) 構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通事項以外の図面をいう。																
(2) 異形鉄筋の径(本文、図、表において「D、d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。																
(3) 長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。																
1.3 優先順位																
設計図書の間図のうち建築構造図に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。																
1. 構造図及び構造関係共通事項(共通事項)																
2. 構造関係共通事項(配筋標準図)、構造関係共通事項(鉄骨標準図)																
1.4 記号等																
図面で使用する記号等は表1~表4を標準とする。																
表1 異形鉄筋の断面表示記号																
区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32							
建築		○	×	∅	○	○	◎	⊗	◎							
表2 各階伏図における記号																
記号	説明	記号	説明													
⊗	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置													
◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置													
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲													
⊗	土間コンクリート	⊗	スラブ開口													
□	コンクリートブロック壁(CB壁)	⊕	ポーリング位置													
▨	梁・スラブの上がり下がり	(±)	FLからの上がり下がり													
EW○○	耐力壁															
EKW○○	片持ちスラブ階段を受け、かつ耐力壁															
ERW○○	土圧を受け、かつ耐力壁															
表3 梁貫通孔記号																
区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建築		○	×	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
表4 スリーブ材質の凡例																
管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管(薄肉管)	つば付き鋼管(黒管)												
記号(建築用)	SP(白管)	GA	VU	RS												
※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。																
1. コンクリートの単位水量測定																
(1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。																
(2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(c)による。																
(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。																
1) 測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合は、その運搬車のレディーミキストコンクリート(以下「生コン」という。)を合格とし、そのまま打設する。																
2) 測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、その運搬車の生コンを合格とし打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。																
3) 測定した単位水量が設計値±20kg/m ³ を超える場合は、その運搬車の生コンを不合格とし、打設せずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m ³ 以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m ³ 以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。																
4) 3)により不合格となった生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。																
(4) 単位水量管理についての記録を書面(配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により監督職員に提出する。																
(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は当該生コン生産者以外の機関とする。																

構造関係共通事項(配筋標準図)		備考	
1.1 鉄筋の加工			
鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。			
表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径			
折曲げ角度	折曲げ図(余長)	鉄筋の種類 呼び名	折曲げ内法直径(D)
		SD295, SD345	SD390
		D16以下	D19~D38
180°		4d以上	
135°		6d以上	
90°		8d以上	
135°及び90°(幅止め筋)		4d以上	
		3d以上	4d以上 5d以上
1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。			
2. 90°未満の折曲げの内法直径は構造図による。			
2.1 異形鉄筋の末端部			
次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。			
(1) 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部			
ただし、最上階の柱頭の出隅部はフックを付ける。			
図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋(●印)			
(2) 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)			
(3) 杭基礎のベース筋			
(4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋			
3.1 継手及び定着			
(a) 鉄筋の重ね継手			
(1) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。			
(2) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。			
表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ			
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d
(注) 1. L ₁ 、L _{1h} : 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ			
2. フックありの場合のL _{1h} は、図3.1に示すようにフック部分ℓを含まない。			
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。			
図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ			
図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ			
(3) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)をすべて満足するものとする。			
(i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上			
(ii) 余長は8d以上とする。			
(iii) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さL _a 及びL _b は表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。			
図3.3 折曲げ定着の方法			
小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ			

構造関係共通事項(1)		備考				
(3) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d以上(軽量コンクリートの場合は50d以上)又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。						
(4) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。						
ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。						
表3.2 隣り合う継手の位置						
重ね継手	フックありの場合					
重ね継手	フックなしの場合					
溶接継手	ガス圧接継手・溶接継手					
機械式継手	カップラー					
(b) 鉄筋の定着						
(1) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。						
(2) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは、40d以上(軽量コンクリートの場合は50d以上)とする。						
表3.3 鉄筋の定着の長さ						
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直線定着の長さ		フックあり定着の長さ		
		L ₁	L ₂	L ₃	L _{3h}	
SD295	18	45d	40d	10d かつ 150mm 以上 (片持ちスラブの場合25d)	35d	30d
		21	40d		30d	25d
		24, 27	35d		30d	25d
SD345	18	50d	40d	10d	35d	30d
		21	45d		35d	25d
		24, 27	40d		35d	25d
SD390	21	50d	40d	30d	35d	30d
		24, 27	45d		40d	35d
		30, 33, 36	40d		35d	30d
(注) 1. L ₁ 、L _{1h} : 2. から4. まで以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ						
2. L ₂ 、L _{2h} : 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ						
3. L ₃ : 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。						
4. L _{3h} : 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ						
5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分ℓを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。						
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。						
図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ						
(3) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)をすべて満足するものとする。						
(i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上						
(ii) 余長は8d以上とする。						
(iii) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さL _a 及びL _b は表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。						
図3.3 折曲げ定着の方法						
小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ						

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	構造関係共通事項(1)	S - 1
	下松市	株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回
					47 - 27

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_a	L_b
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
SD345	30, 33, 36	15d	15d
	18	20d	20d
	21	20d	20d
SD390	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
	21	20d	20d

- (注) 1. L_a : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ (基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。)
 2. L_b : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ (片持小梁及び片持スラブを除く。)
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
 (4) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。
 なお、 L_1 は表3.11に、 L_2 及び L_3 は表3.3による。

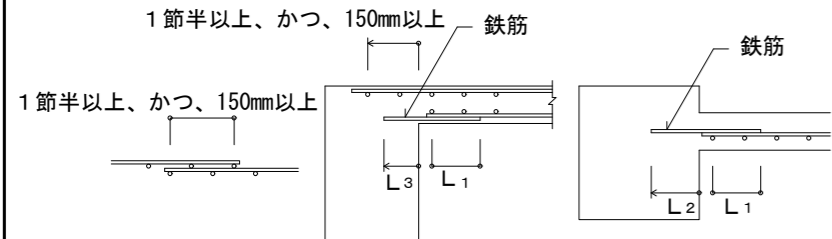


図3.4 溶接金網の継手及び定着

- (5) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

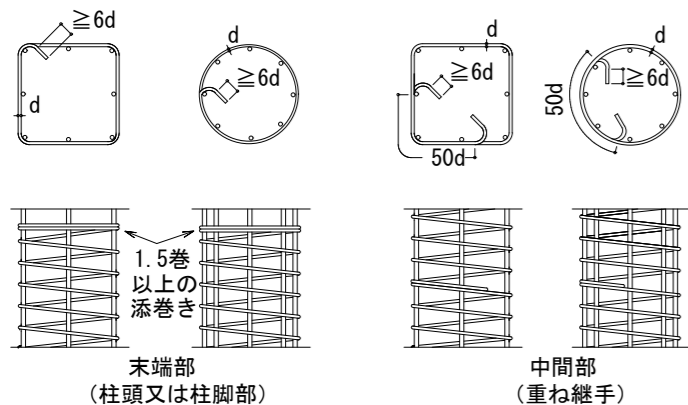


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種類		最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり 20
		仕上げなし 30
	柱、梁、耐力壁	屋内 仕上げあり 30
		屋外 仕上げあり 30
	擁壁、耐力スラブ	屋内 仕上げなし 40
		屋外 仕上げなし 40
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁 40	
	基礎、擁壁、耐力スラブ 60	
煙突等高熱を受ける部分		60

- (注) 1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
 2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
 4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。
 (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
 (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
 (d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
 (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
 (2) 25mm
 (3) 隣り合う鉄筋の径の平均（呼び名の数値）の1.5倍

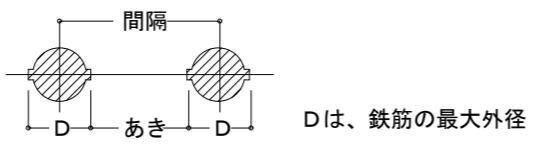


図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔

- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。
 (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

- (a) 一般事項
 (1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
 (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b)(4)による。

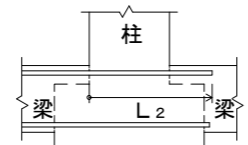
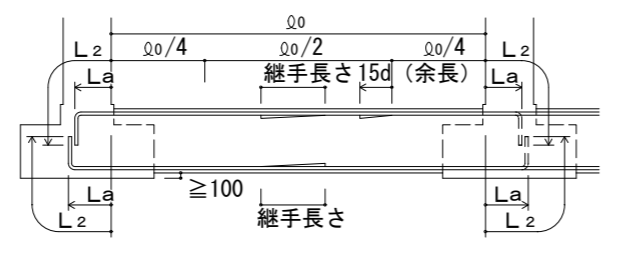
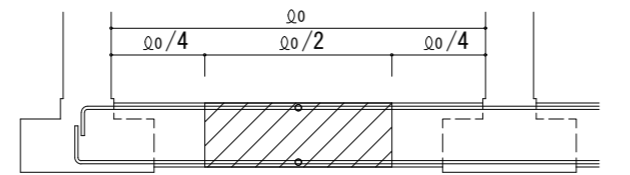


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。

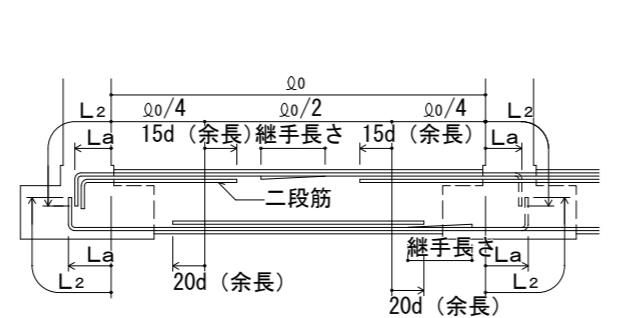


- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

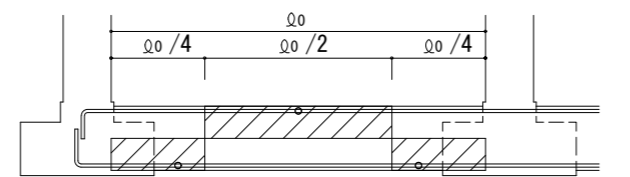


- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

- (c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。

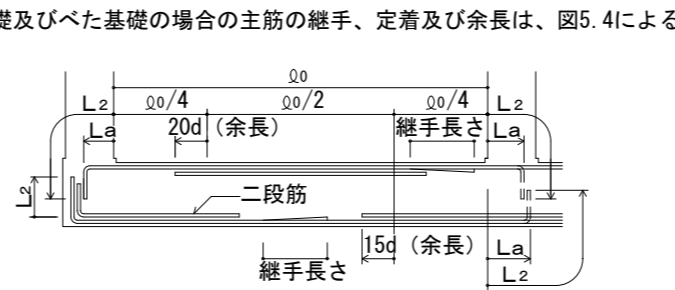


- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

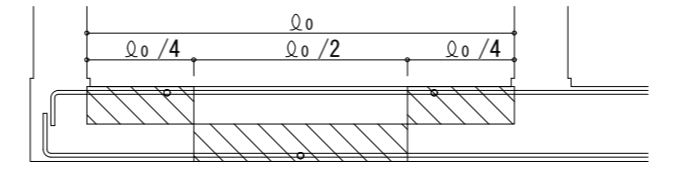


- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

- (d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

5.2 基礎梁のあばら筋等

- (a) 一般事項
 (1) あばら筋の径および間隔は、構造図による。
 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

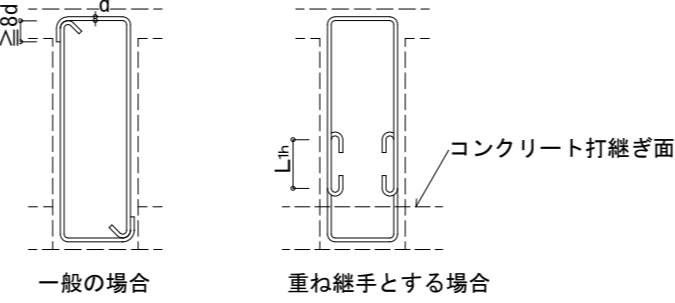
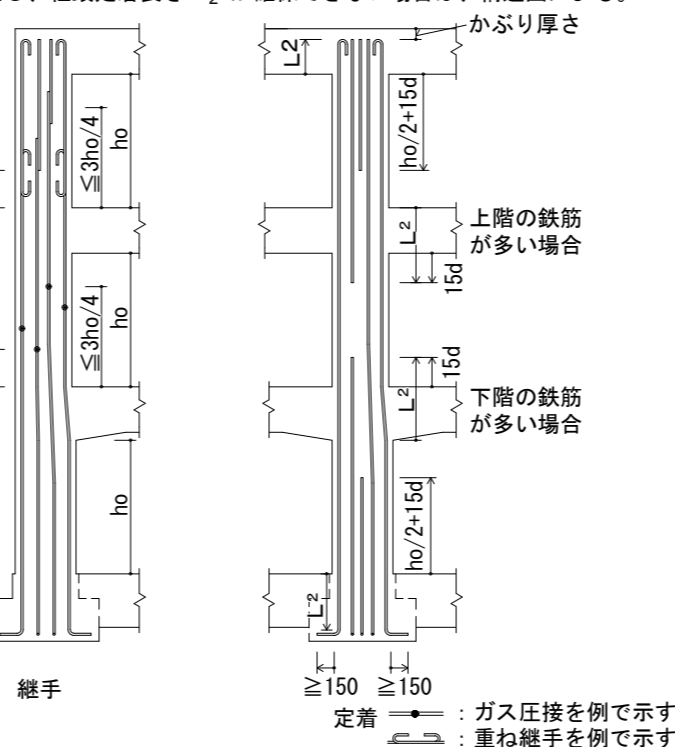


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

- (b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。
 (c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6.1 柱

- (a) 一般事項
 (1) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、 $3h_o/4$ (h_o は柱の内法高さ) 以下とする。
 (2) 継手、定着及び余長は、図6.1による。ただし、柱頭定着長さ L_2 が確保できない場合は、構造図による。



- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
 2. 隣り合う継手の位置は、表3.2 [隣り合う継手の位置] による。
 3. 継手及び定着は、すべての階に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

(b) 柱打増し部

- (1) 打増し部分に、壁、梁、スラブ等がとりつく場合の壁、梁、スラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。
 (2) 土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

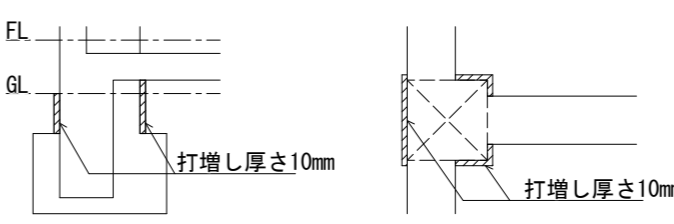


図6.2 柱打増し部

6.2 帯筋

- (a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。
 (b) 帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。
 (1) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
 (2) 溶接する場合の溶接長さ L は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
 (3) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。

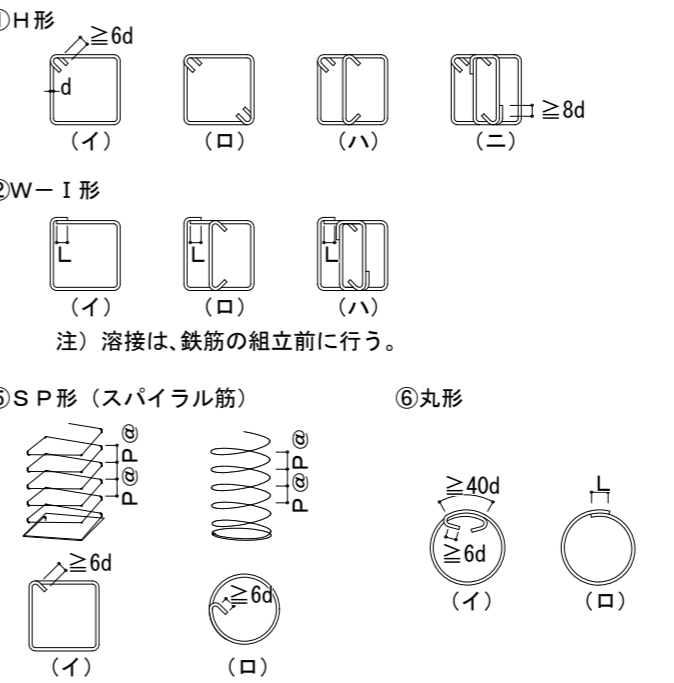
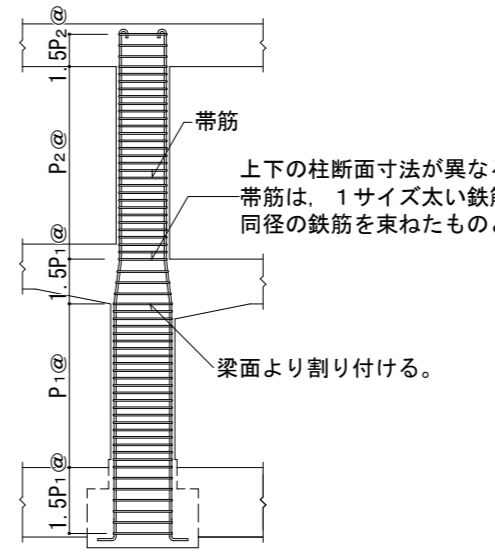


図6.3 帯筋組立の形

- (c) フック及び継手の位置は交互とする。
 (d) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。



- (注) 1. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を $1.5P_1$ または $1.5P_2$ とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
 2. 図中の P_1 、 P_2 は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4 帯筋の割付け

7.1 大梁

- (a) 一般事項
 (1) 梁の上がり下がりFLを基準とした寸法値とする。
 (2) 地中梁下の砂利地厚及び捨てコンクリート地厚は構造図による。
 (3) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合のスラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

- (b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
 (1) 継手中心位置は、次による。
 上端筋：中央 $L_o/2$ 以内
 下端筋：柱面より梁せい(D)以上離し、 $L_o/4$ を加えた範囲以内
 (2) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。
 (3) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

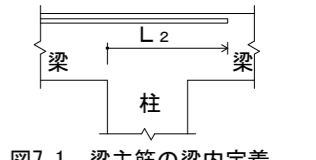


図7.1 梁主筋の梁内定着

- (4) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
 なお、定着の方法は3.1(b)(2)による。
 上端筋：曲げ降ろす
 下端筋（一般）：原則、曲げ上げる。
 下端筋（ハンチ付き）：原則、曲げ上げる。
 (5) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。
 (6) 段違い梁は、図7.2による。

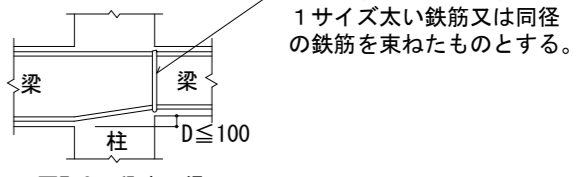
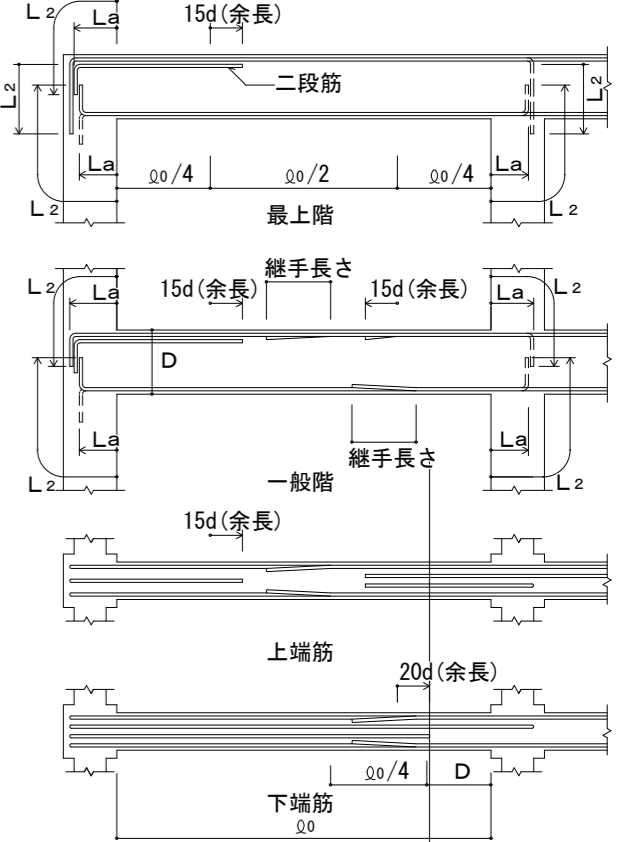


図7.2 段違い梁

- (c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。



- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
 2. 印は、継手及び余長を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

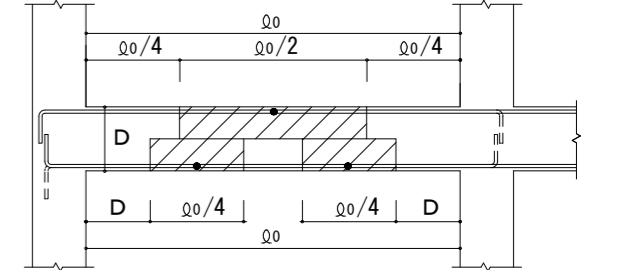
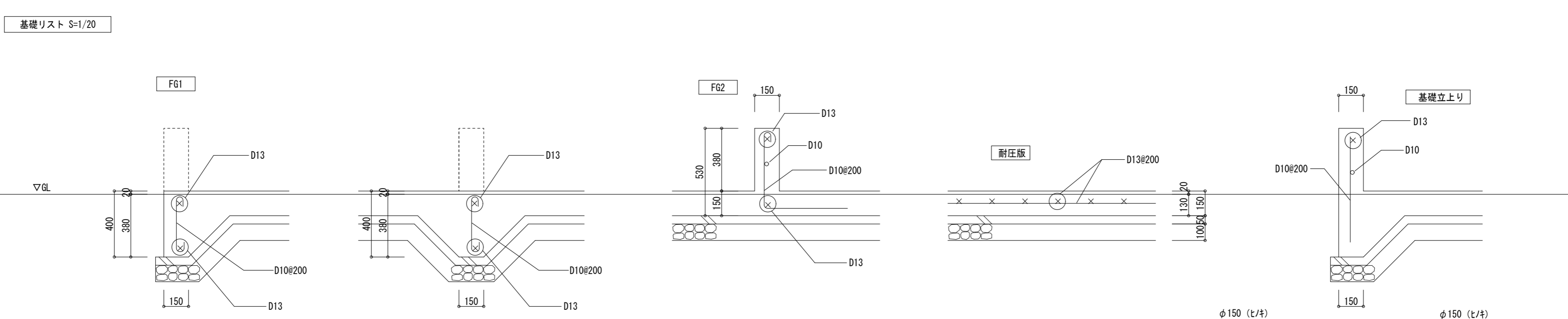
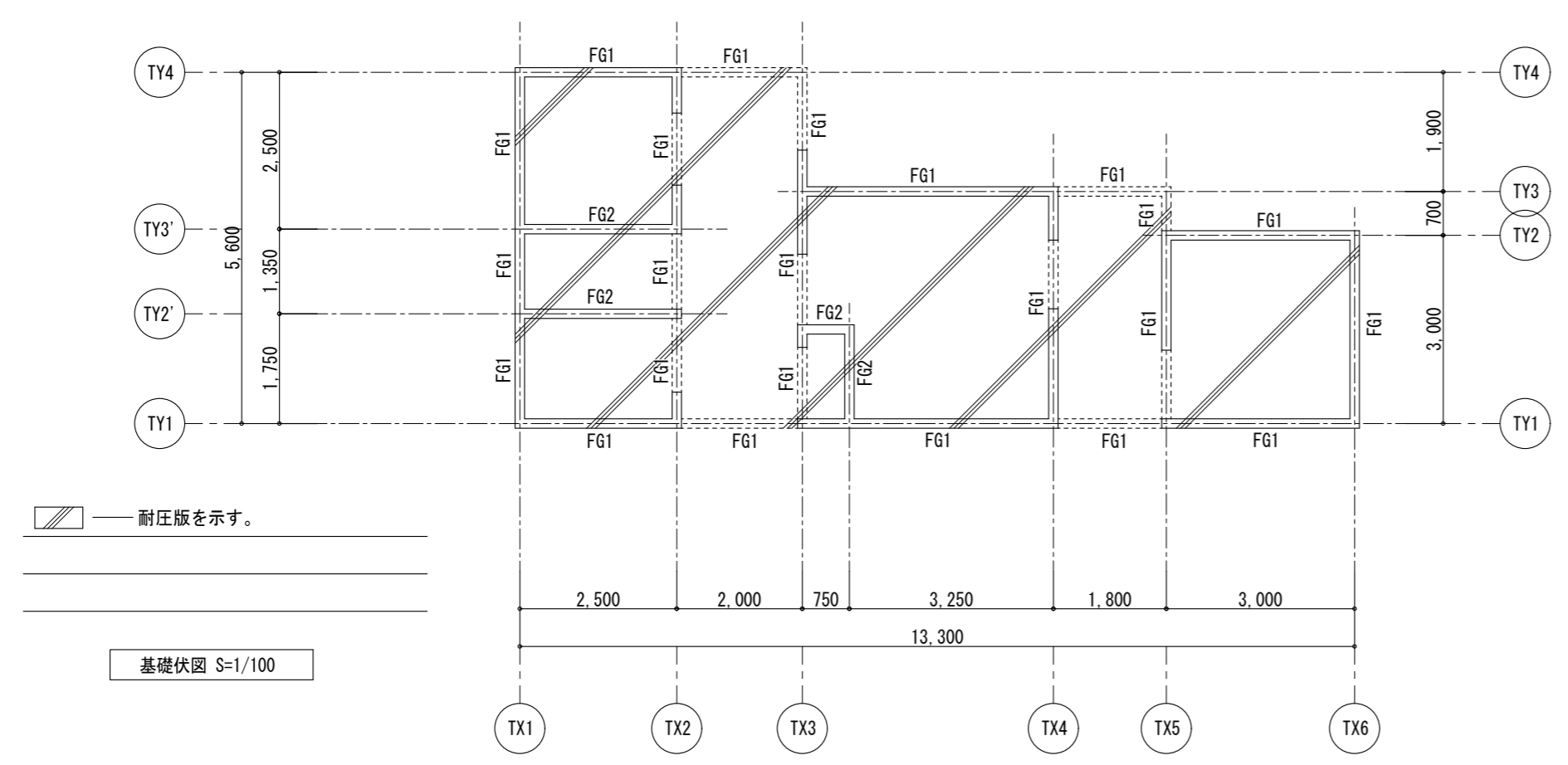


図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	構造関係共通事項(2)	S - 2
	下松市	株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更	回
					47 - 28

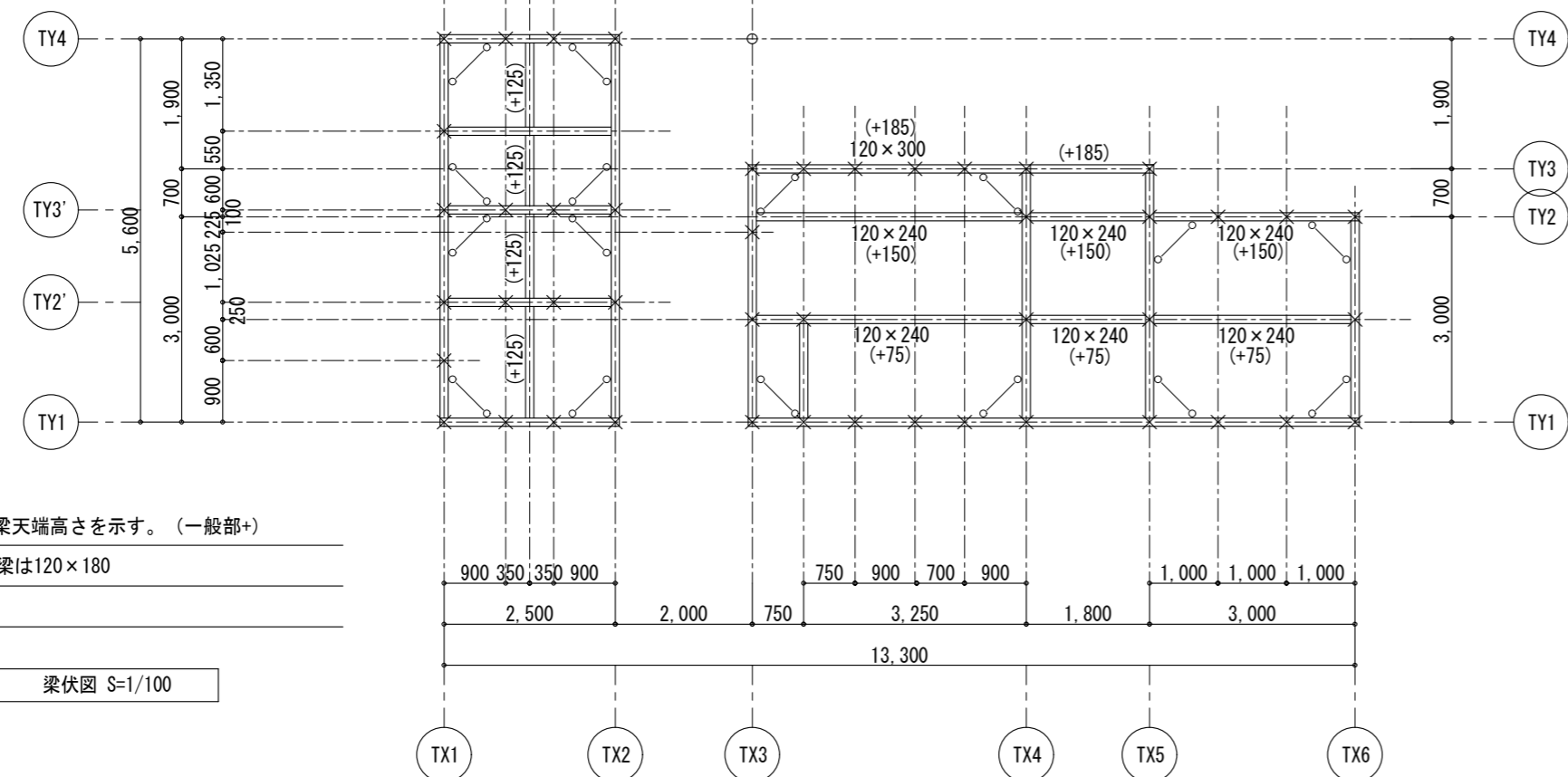
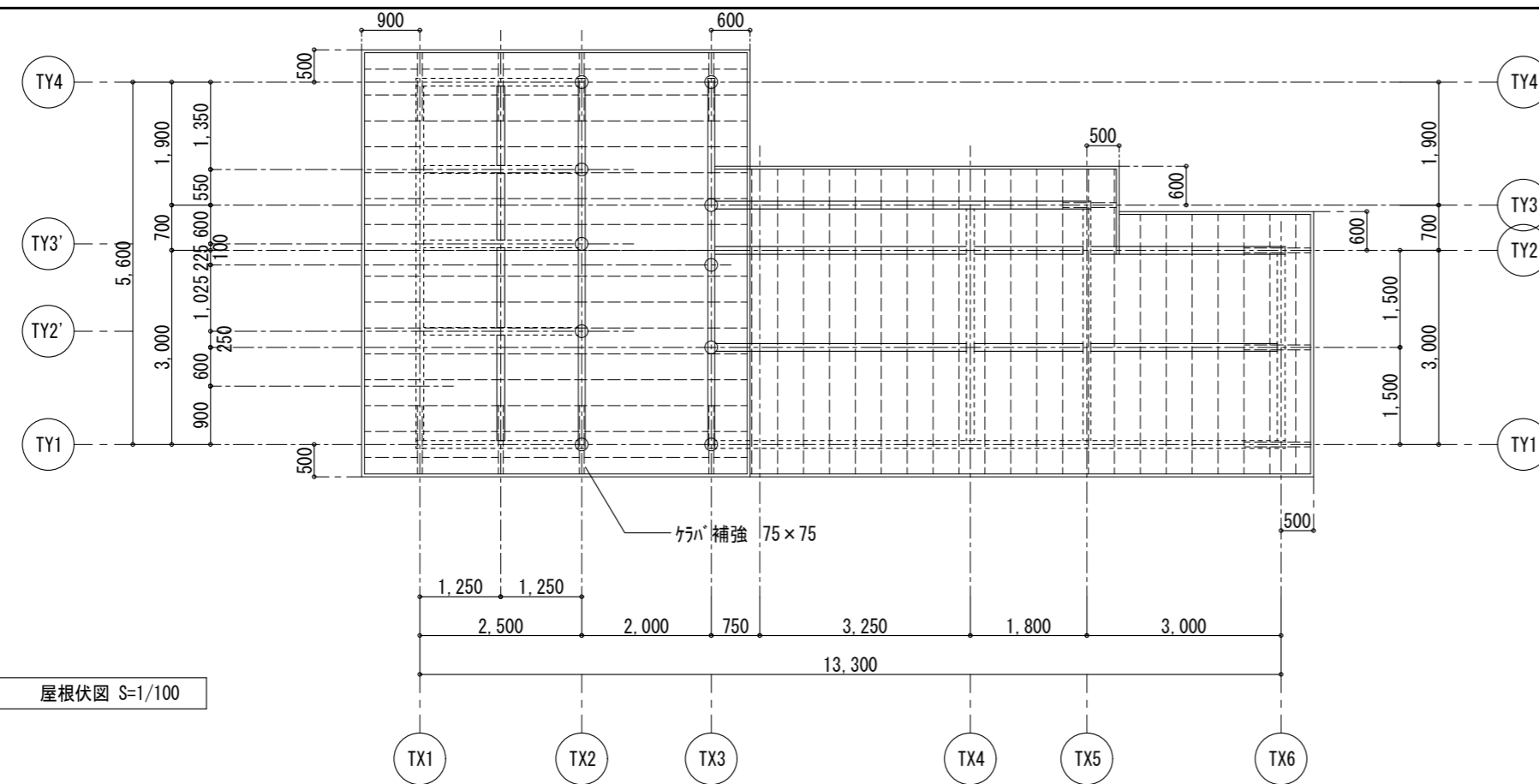


※特記なき限り

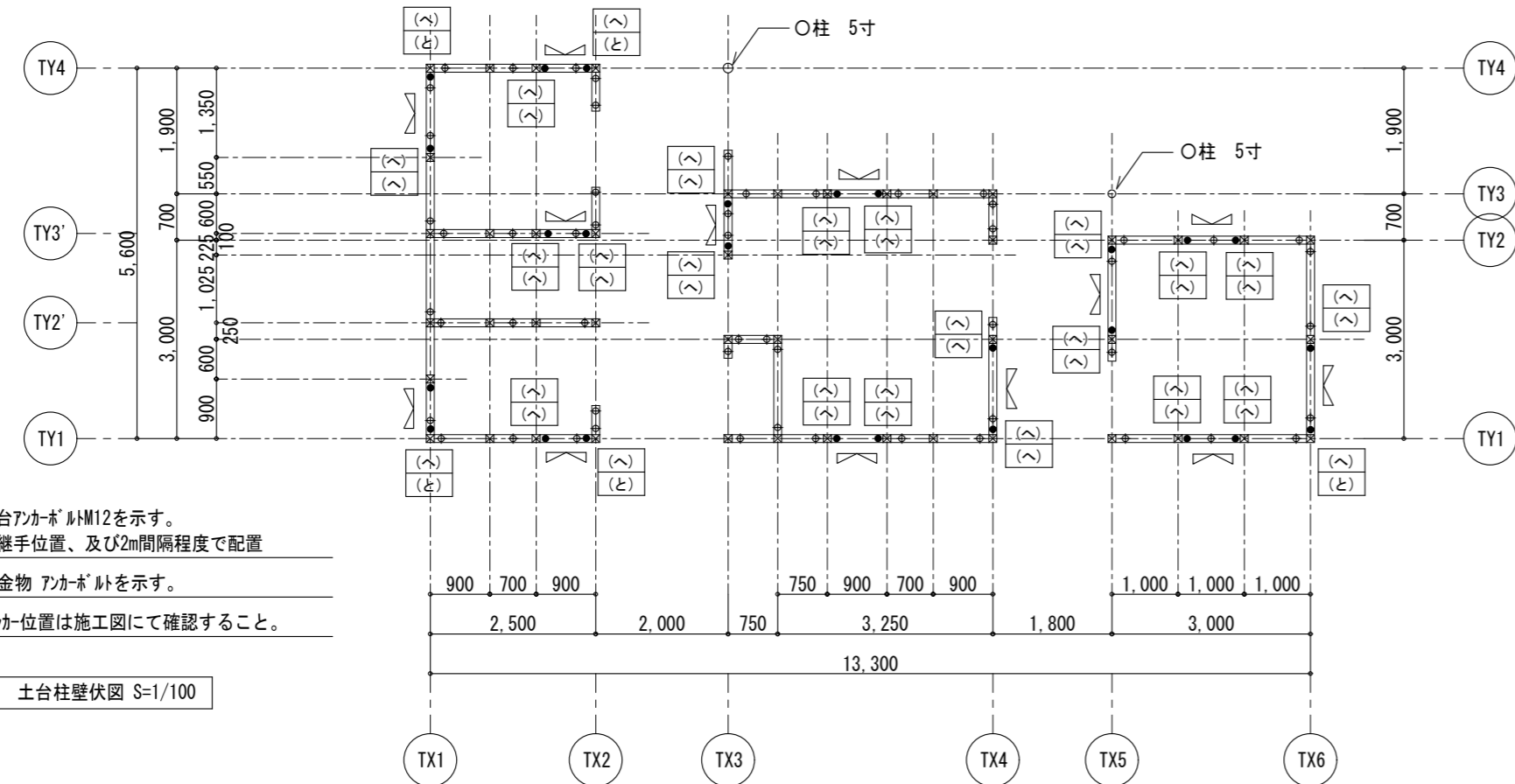
設計長期支持力30kN/m² (支持層 砂)

基礎構造使用材料		
コンクリート	捨コン	Fc=18N/mm ²
	土間コン	Fc=21N/mm ²
	基礎	Fc=24N/mm ²
鉄筋	SD295	

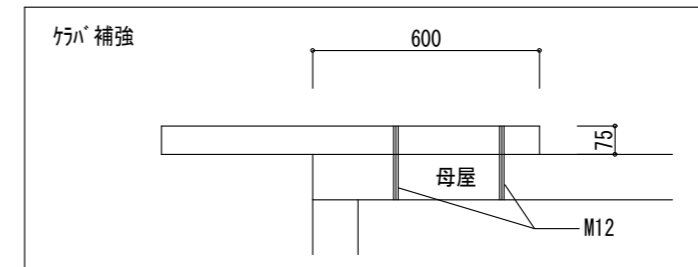
年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	S - 3
下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	トイレ棟 基礎伏図、基礎リスト S=1/100、1/30	47 - 29
			設計変更 回	



()は梁天端高さを示す。(一般部+)
特記なき梁は120×180



印は土台アカボリM12を示す。
端部、継手位置、及び2m間隔程度で配置
●印はHD金物アカボリを示す。
最終的なアカボリ位置は施工図にて確認すること。



凡例 (特記なき限り下記とする)

使用材料	仕様	備考	柱			
			☒	120×120	×	下階柱
土台	120×120	ひのき (加圧注入 防腐処理)	☒			
柱	120×120	すぎ	○	小屋束		
	150φ	ひのき				
梁	120(梁巾)×180	すぎ 羽子板ボルト 1-M12	☒	火打ち 90×90 すぎ		
間柱	45×120	すぎ	☒	小屋筋違	15×90(2-N50) すぎ	
垂木	45×75@400	すぎ ひねり金物 ST-9以上	☒	天井吊受け材	90×90 すぎ @900	
ケラバ補強	75×75	すぎ M12ボルト 2点留め	☒	アンカーボルト	M12-450	
小屋束	120×120	すぎ かがい2本打ち以上	☒	構造用製材の機械等級区分は杉E50、ひのきE90とする 加圧注入材及び105角未満の部材は除く		
母屋	120×120	すぎ				
屋根面	t=25	硬質木毛セメント板				

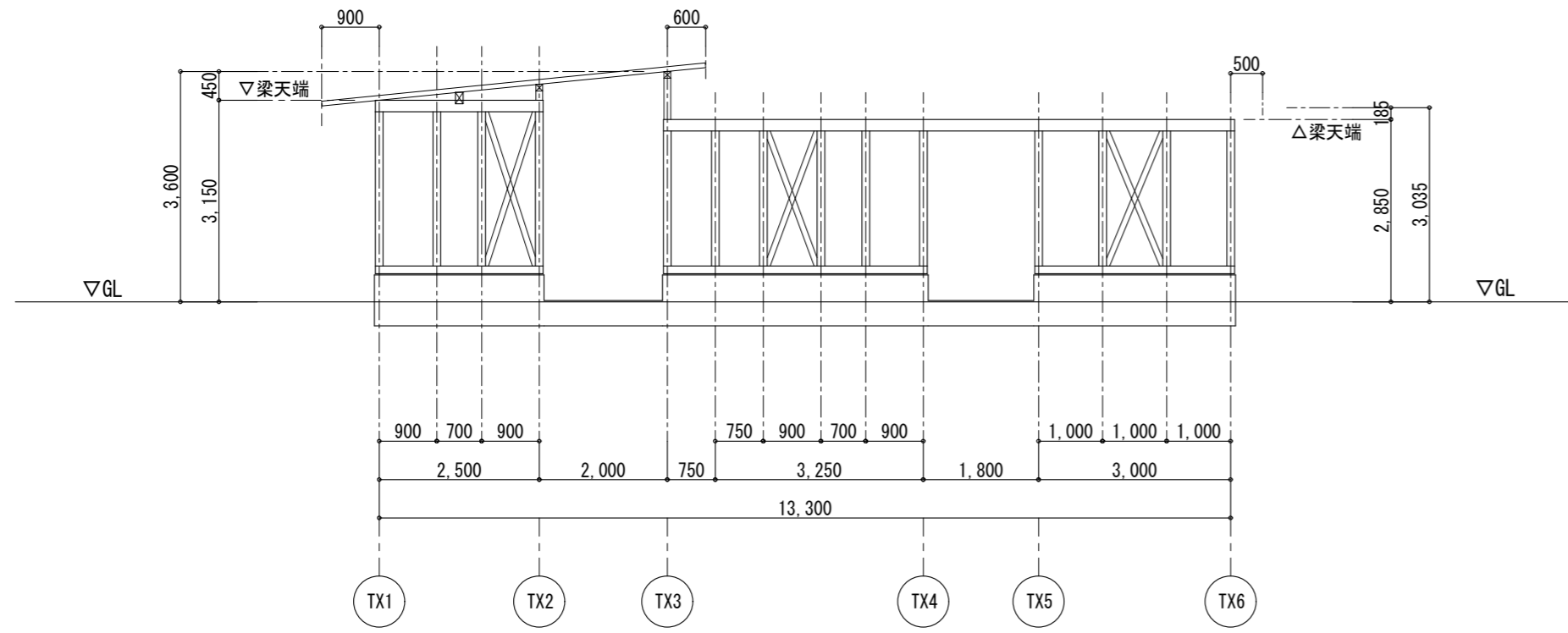
凡例

筋かい	仕様	倍率
☒	たすき掛筋かい45×90/筋かいプレートBP2 すぎ無等級材	4.0

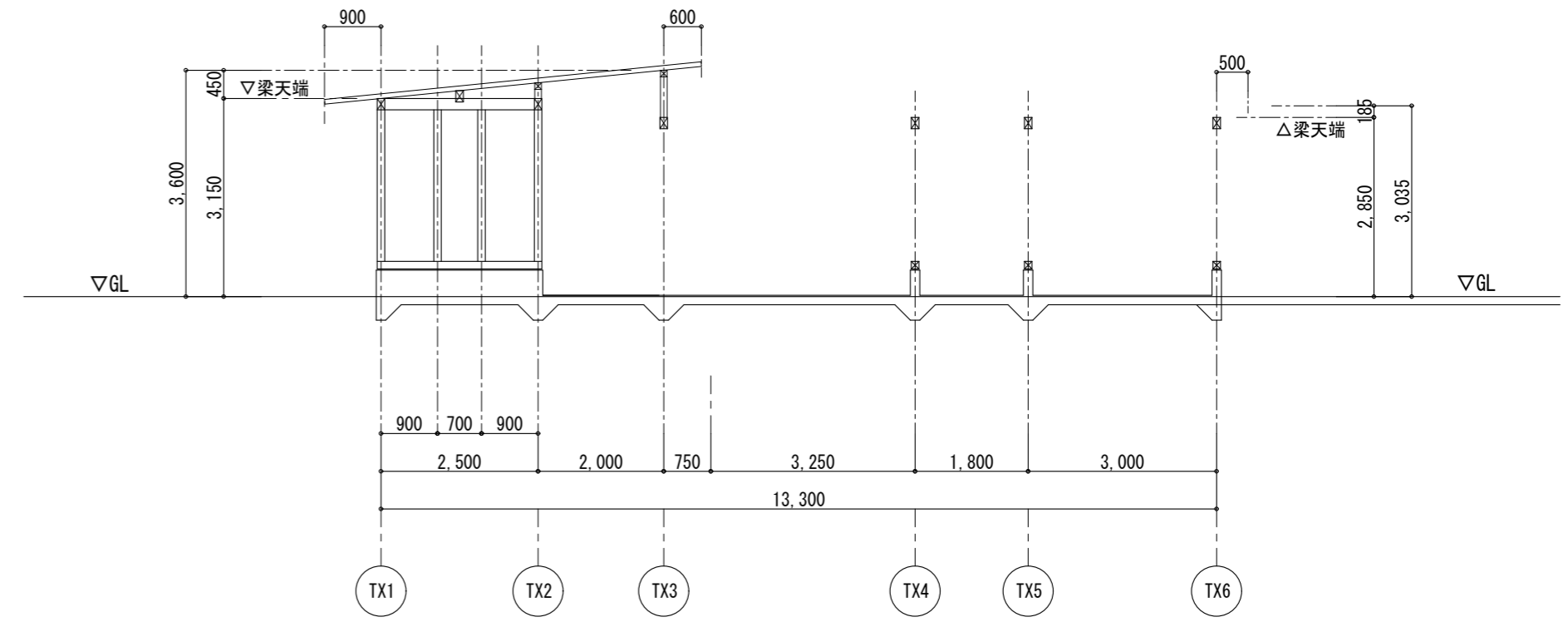
筋違い部柱頭柱脚金物凡例

記号	仕様	柱頭金物	柱脚金物
(^)	10/HD10	10KN用引き寄せ金物	
(と)	15/HD15	15KN用引き寄せ金物	

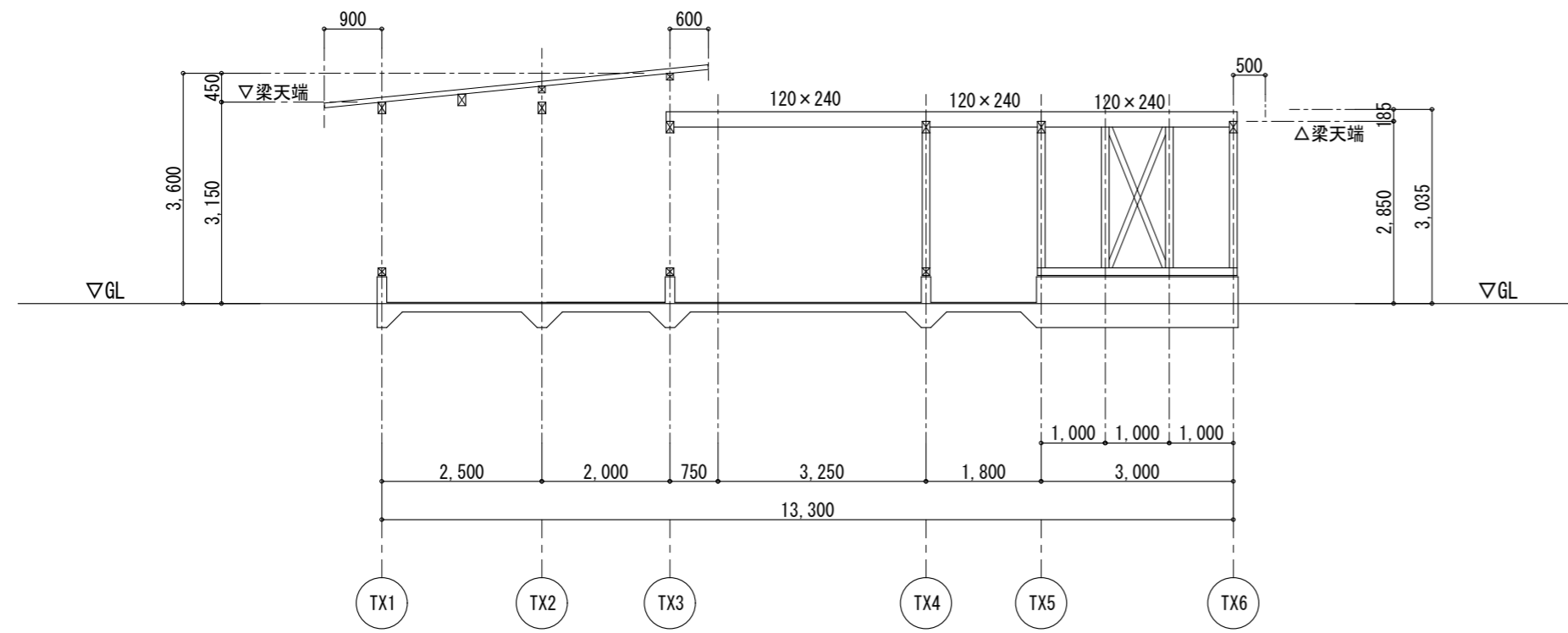
年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	トイレ棟 伏図	S=1/100	S - 4
下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道		設計変更 回		47 - 30



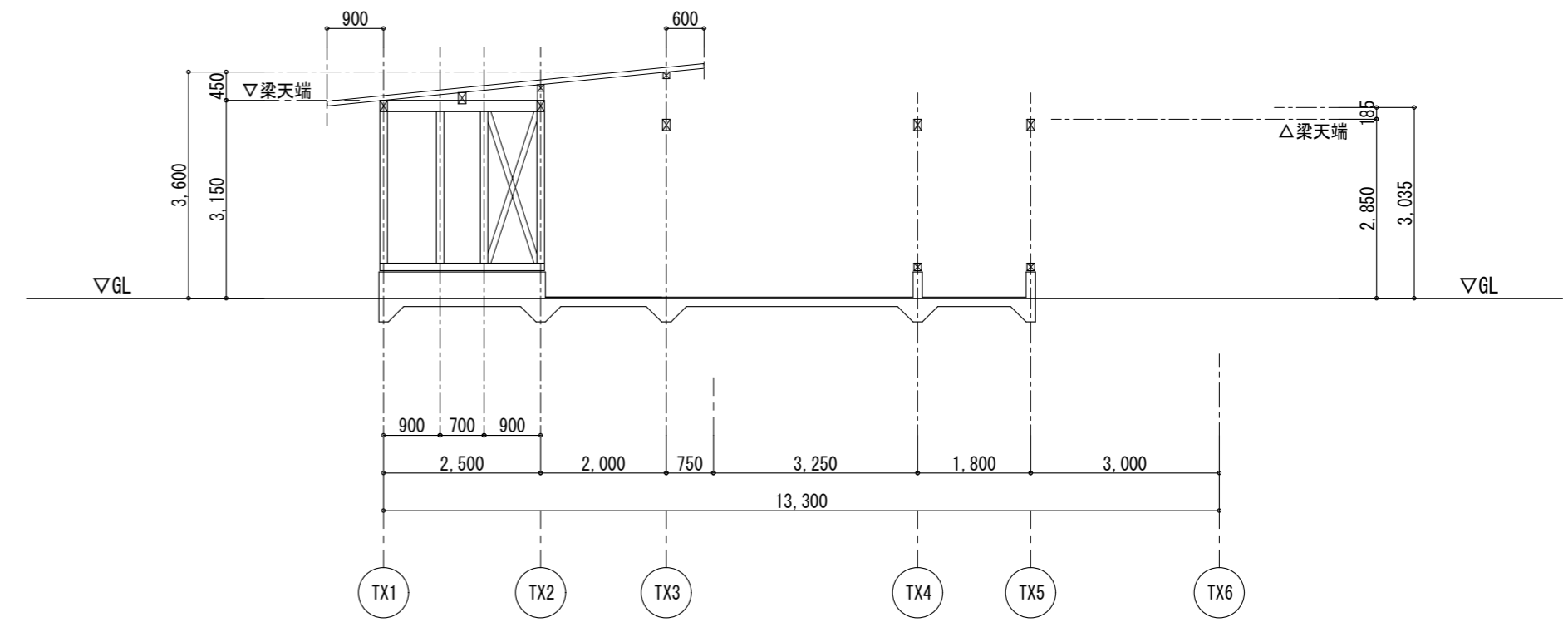
TY1 通り軸組図 S=1/100



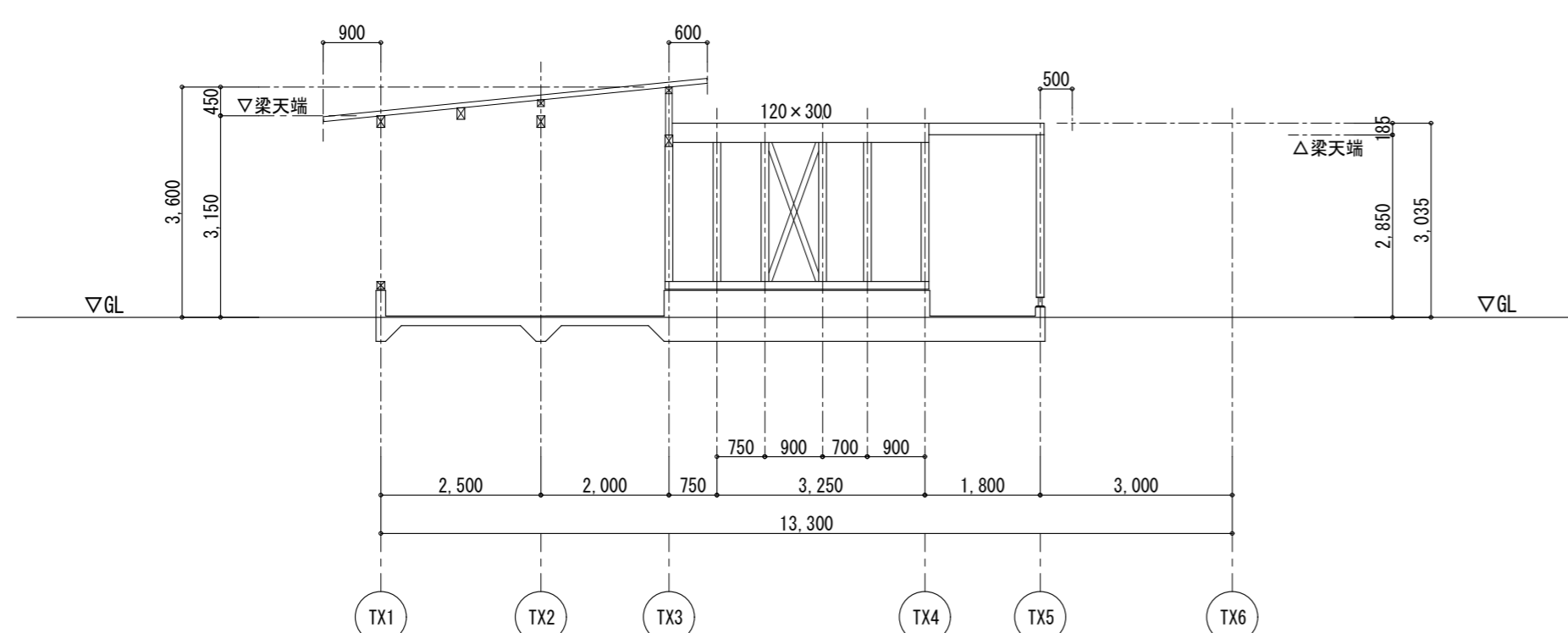
TY2 通り軸組図 S=1/100



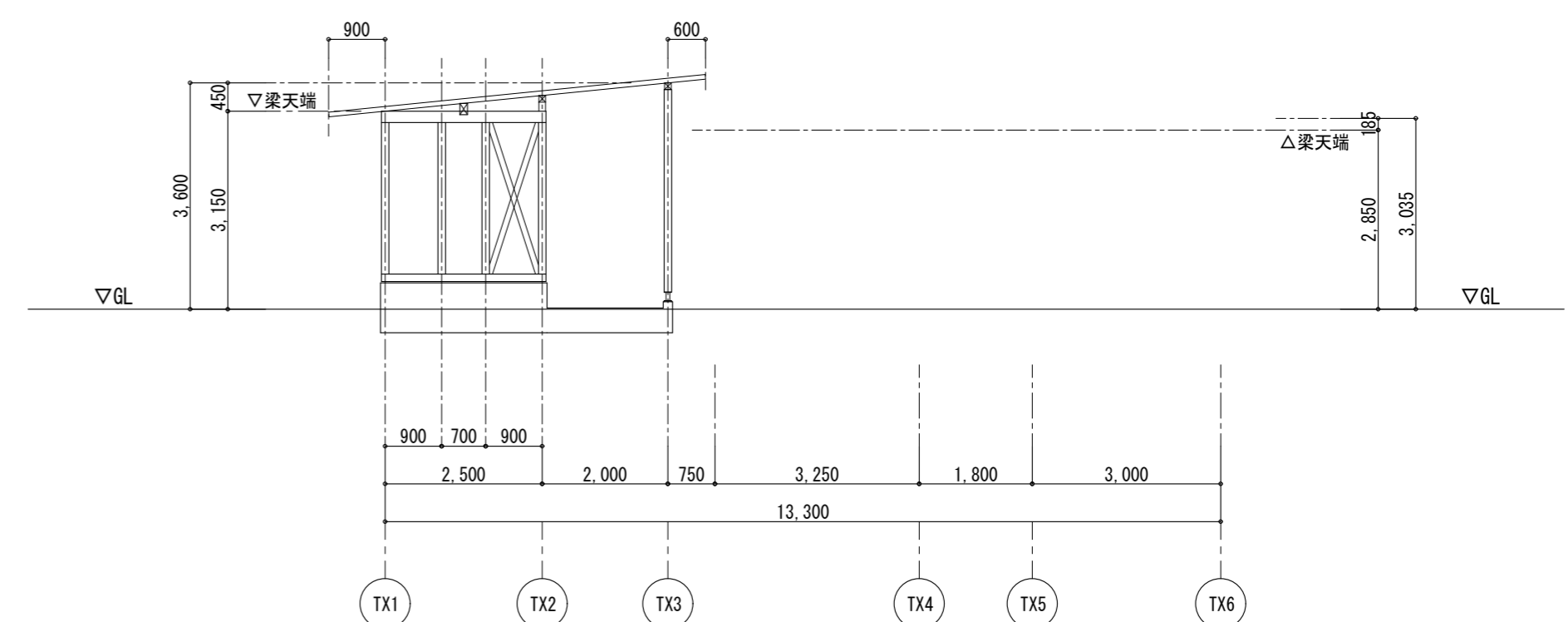
TY2 通り軸組図 S=1/100



TY3 通り軸組図 S=1/100



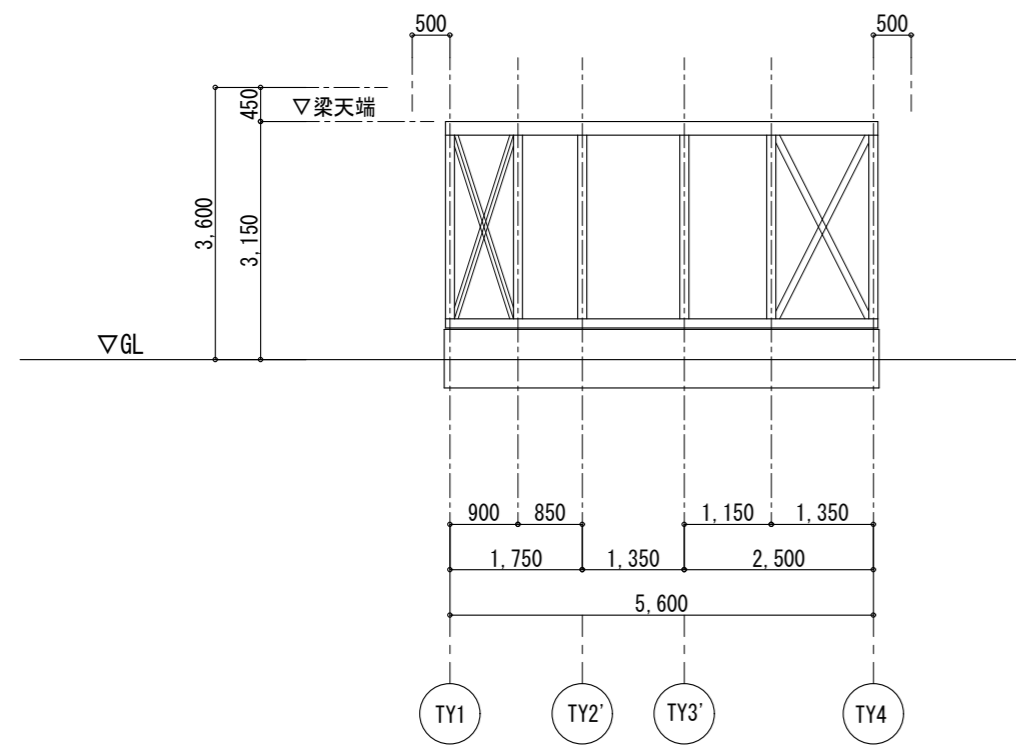
TY3 通り軸組図 S=1/100



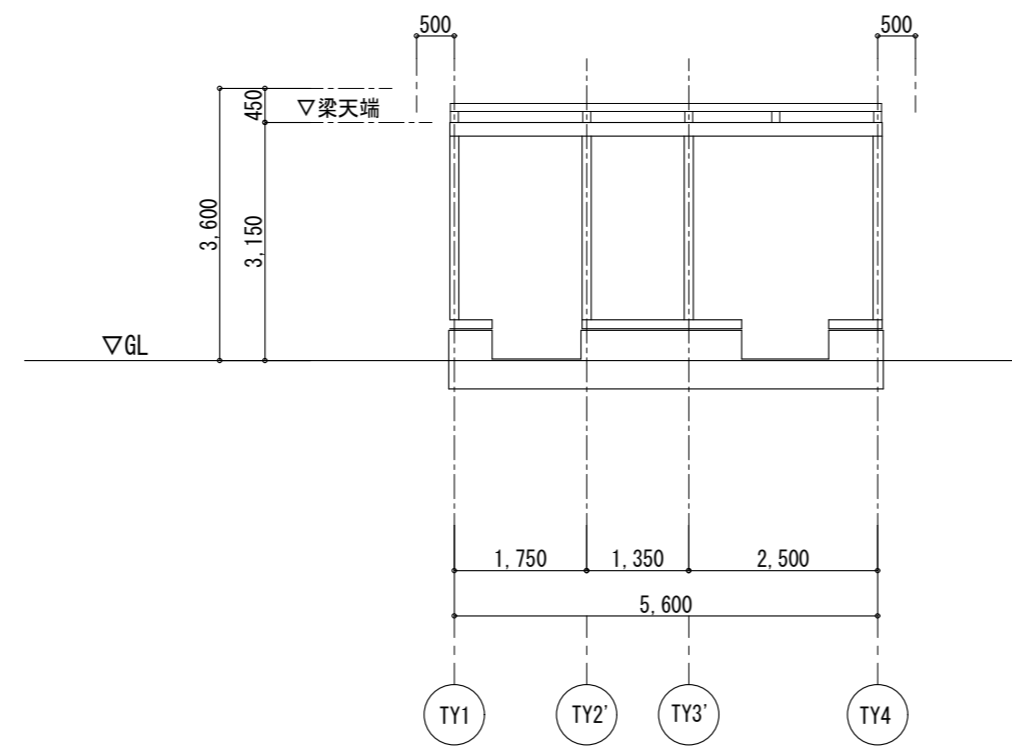
TY4 通り軸組図 S=1/100

特記なき梁は120×180

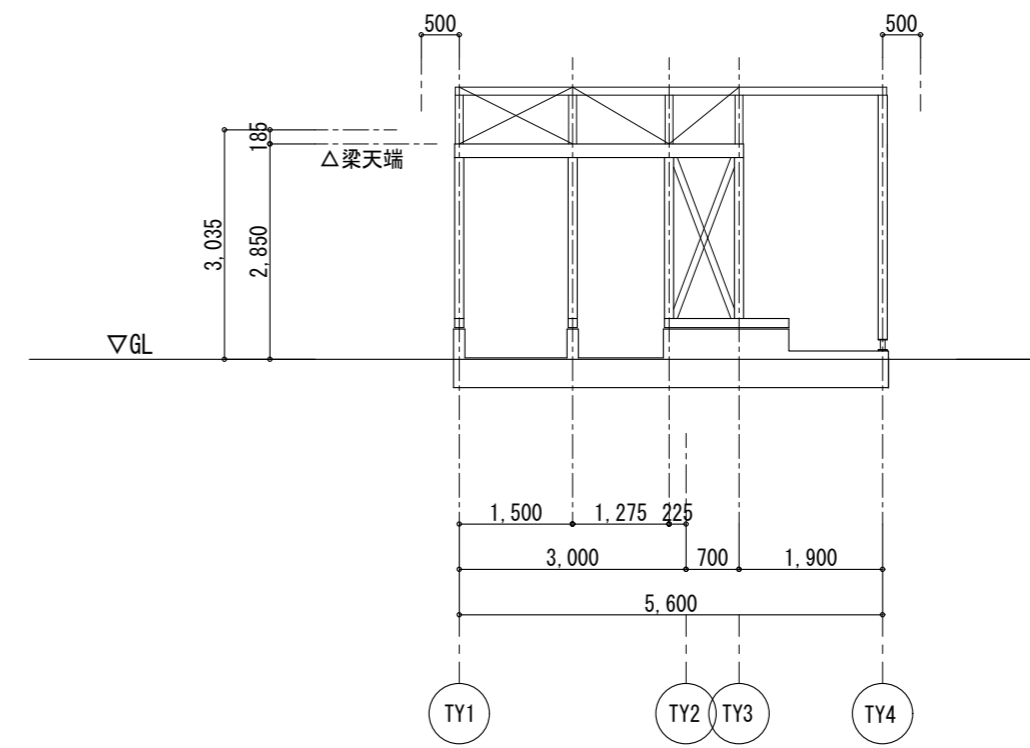
	年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	トイレ棟 軸組図(1) S=1/100	S - 5
	下松市		株式会社 栗林設計	一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回	47 - 31



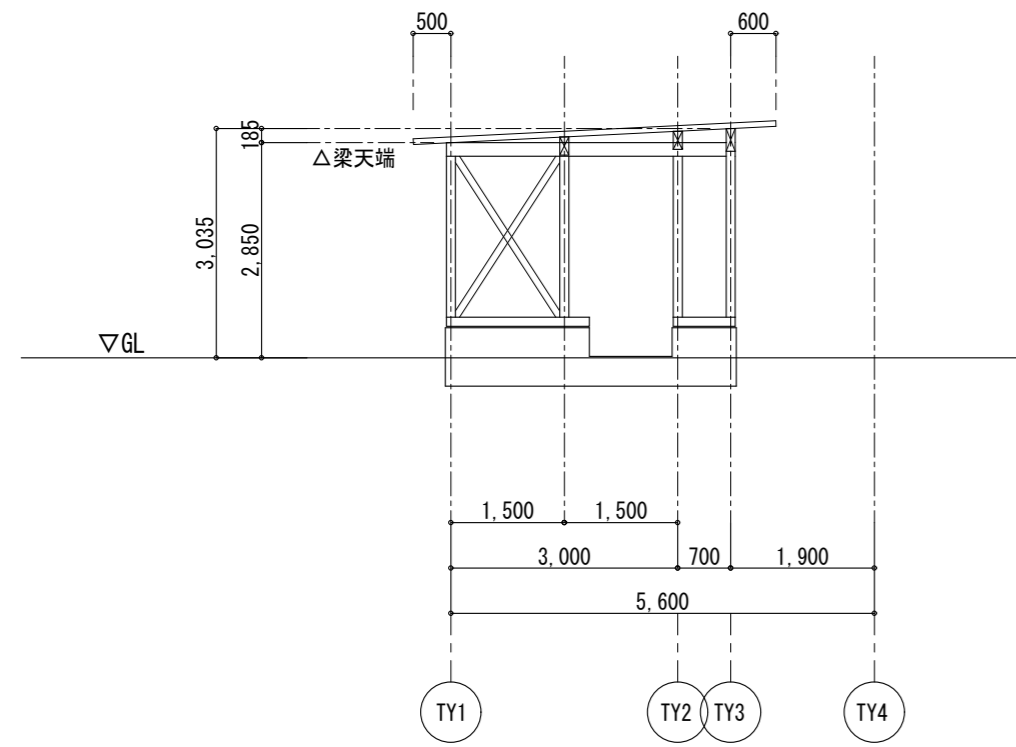
(TX1) 通り軸組図 S=1/100



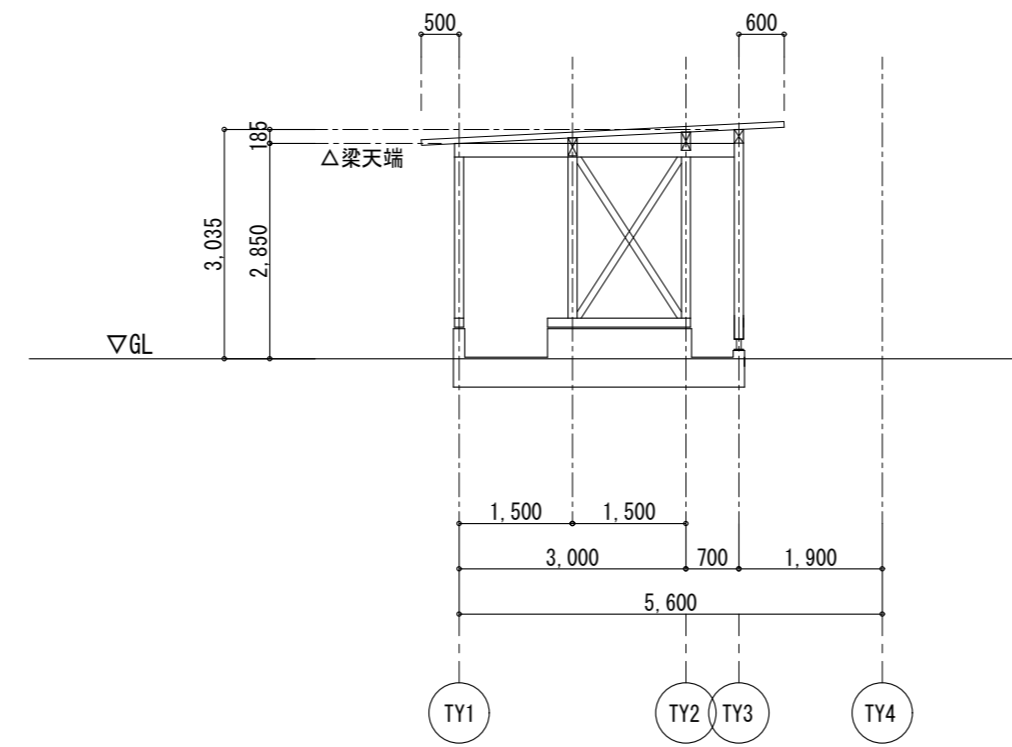
(TX2) 通り軸組図 S=1/100



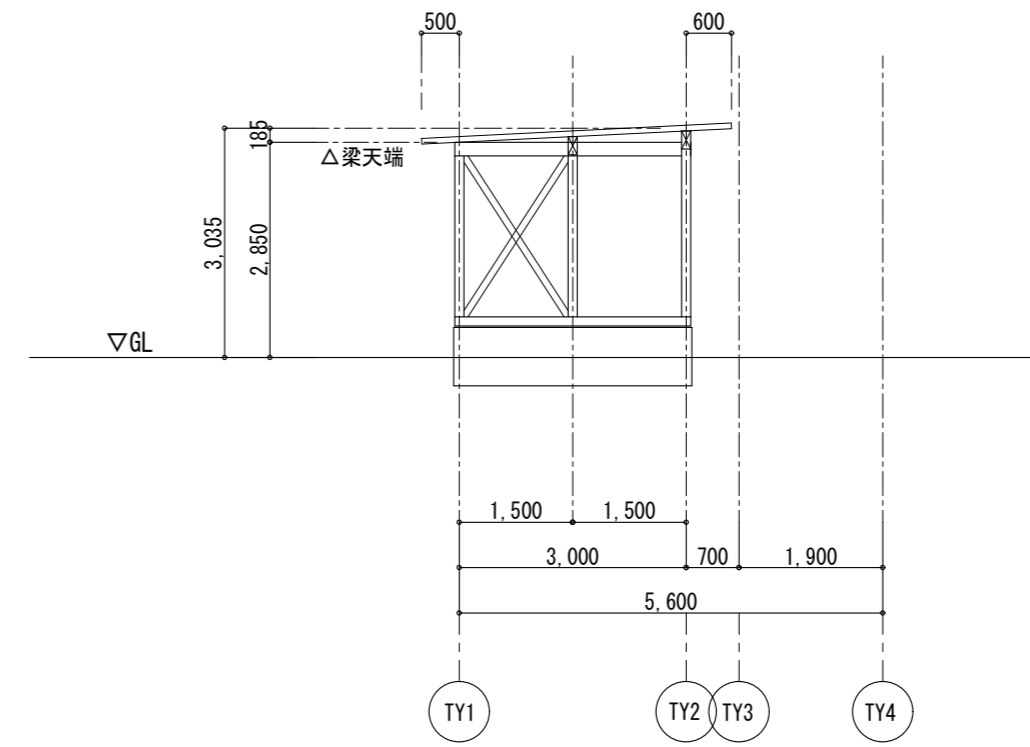
(TX3) 通り軸組図 S=1/100



(TX4) 通り軸組図 S=1/100



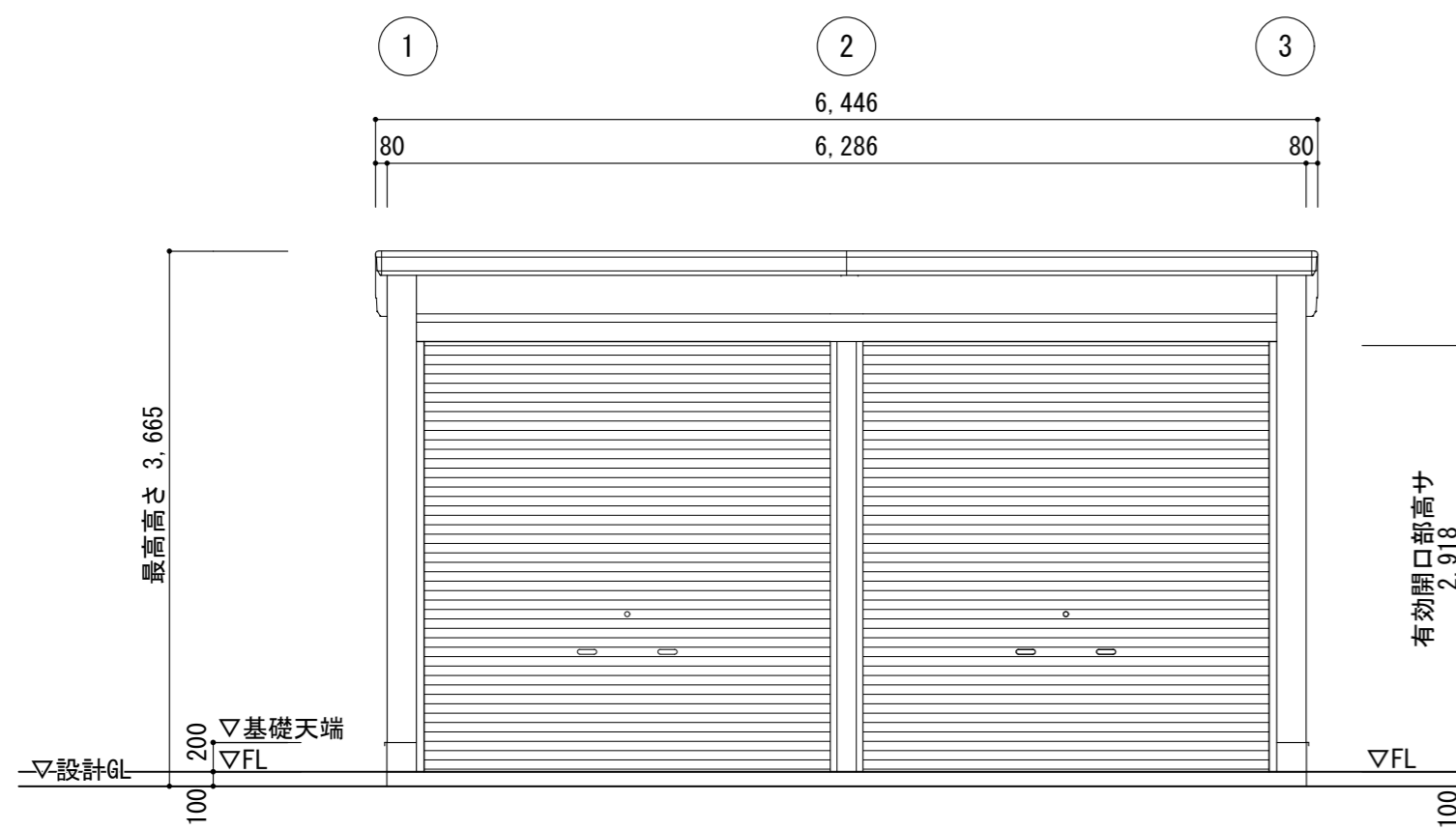
(TX5) 通り軸組図 S=1/100



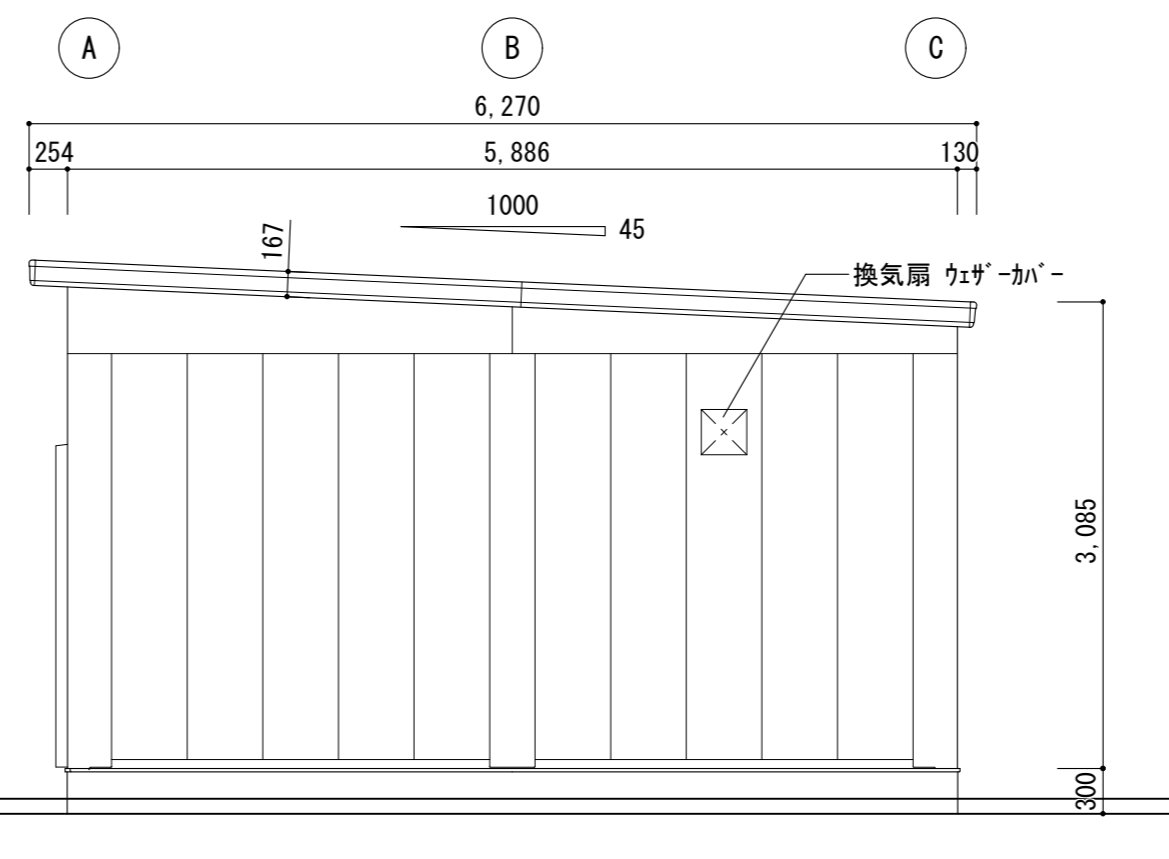
(TX6) 通り軸組図 S=1/100

特記なき梁は120×180

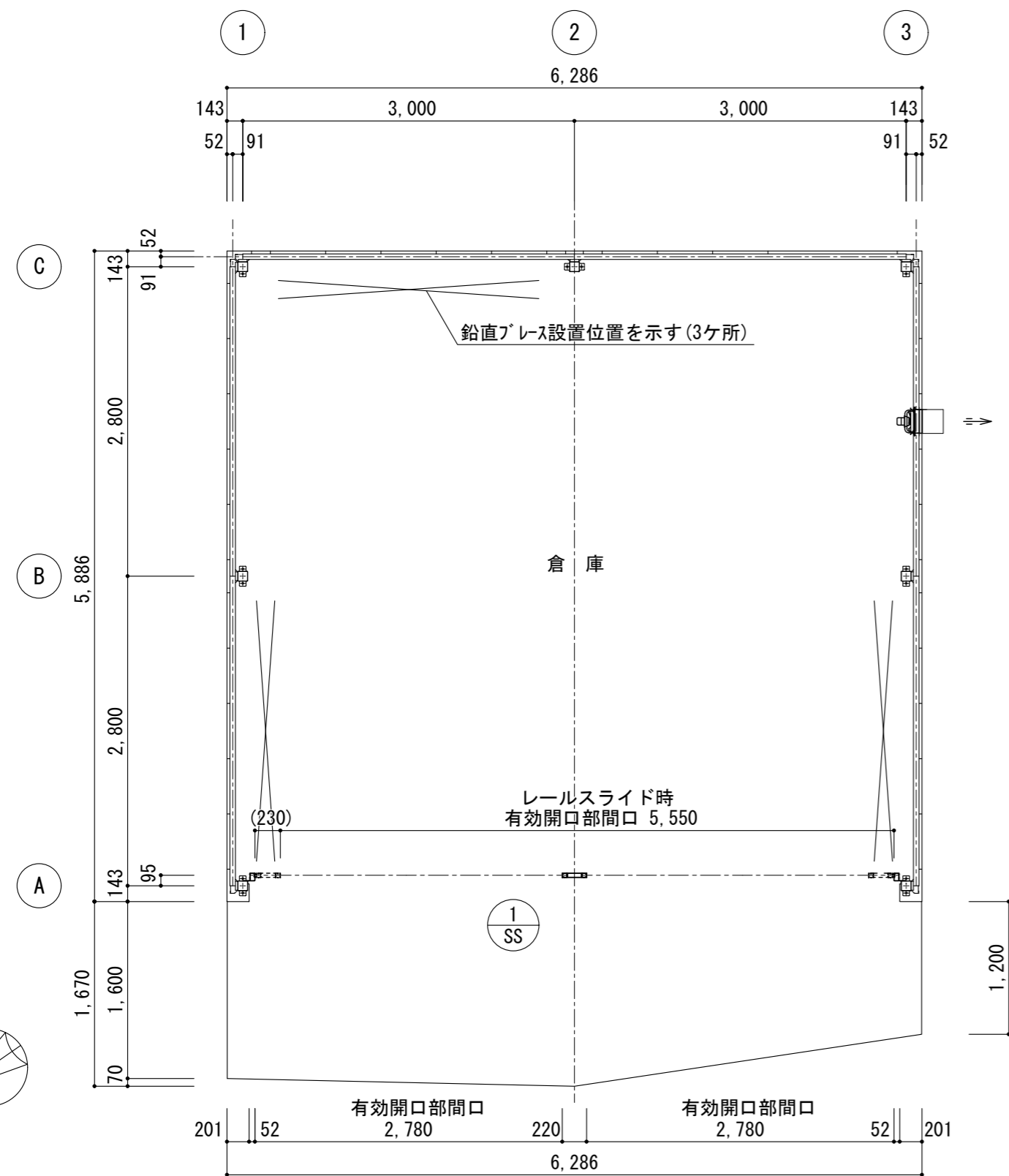
年度	5	工事名	恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	S - 6
下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	トイレ棟 軸組図(2) S=1/100	47 - 32
			設計変更 回	



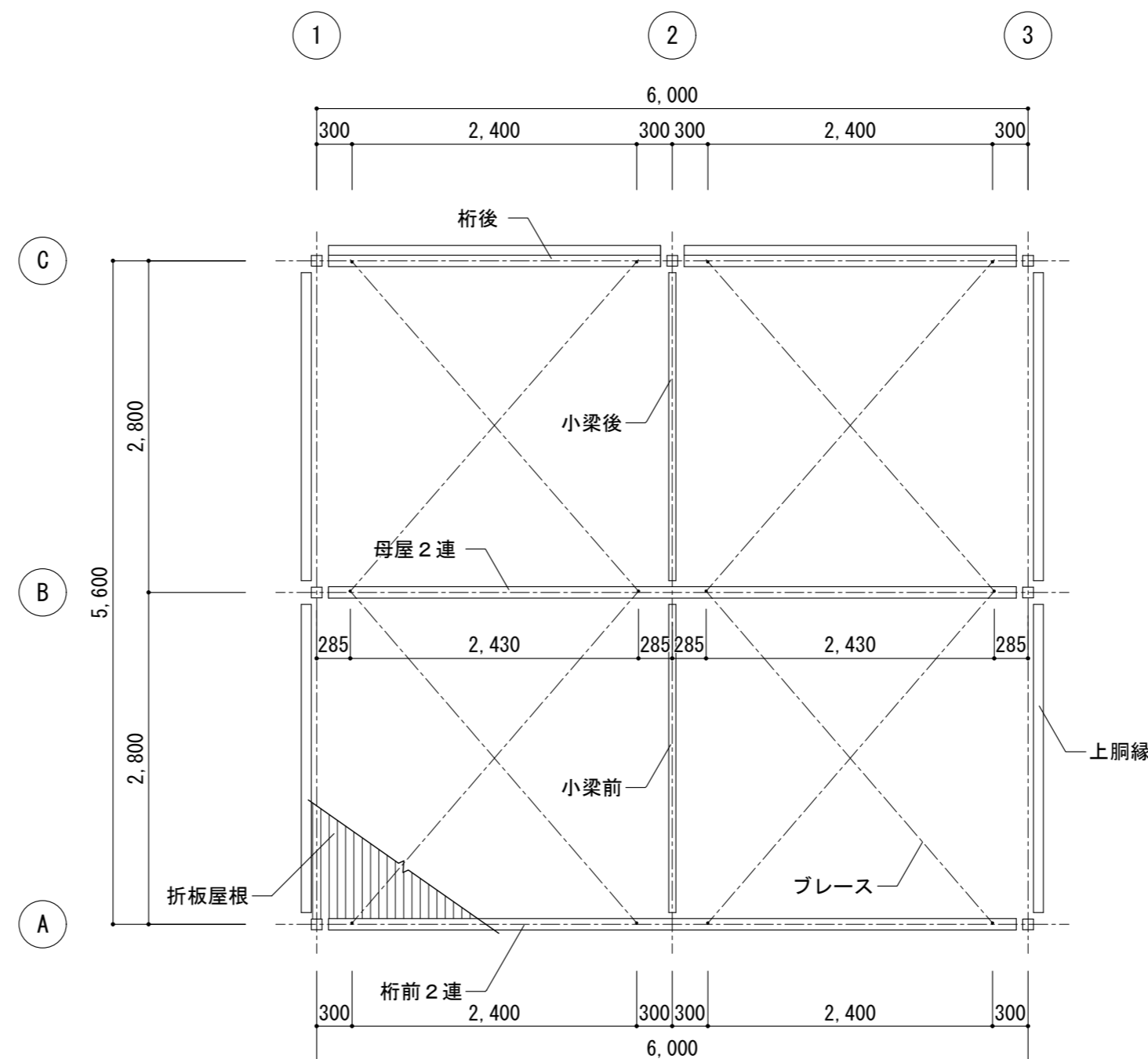
A通り立面図 S=1/50



3通り立面図 S=1/50



平面図兼建具配置図 S=1/50



屋根伏図 S=1/50

品番	部 品 名	材料 (材質)	単位mm
1	水切板	SGCC F12	0.5
2	ベースプレート	SS400	6.0
3	柱後・中・前	STKR400 F12	2.3
4	土台取付金具	SGHC F12	1.6
5	土台	SGCC F12	1.2
6	桁後	SZAH400 Y10	2.3
7	桁前	SZAH400 Y10	2.3
8	プレートA	SZAH400 Y10	2.3
9	プレートB	SGH400 F12	3.2
10	コーナー金具(2.5連棟以上)	SZAH400 Y10	2.3
11	梁中(2.5連棟以上)	SZAH400 Y10	2.3
12	母屋	SZAH400 Y10	2.3
13	小梁(1.5連棟以上)	SZAH400 Y10	2.3
14	上胴縁	SZAH400 Y10	2.3
15	化粧柱後・中・前	SGCC F12	1.0
16	桁前幕板(前面壁・ハーフタイプのみ)	SZACC Y10	0.7
17	桁後幕板	SZACC Y10	0.7
18	梁左右幕板	SZACC Y10	0.7
19	屋根	CGLCCR AZ150	0.6
20	妻板左右	SZACC Y10	0.7
21	鼻隠シ前・後	SZACC Y10	0.7
22	壁パネル	SGCC F12	0.5
23	胴縁	SGHC F12	1.6
24	ブレース (JIS A 5540)	SS400/SNR400B M10, 12	
25	シャッター	CGC400 Z08	0.5
26	シャッターカバー	SZACC Y10	1.0
27	シャッターレール	SGCC Z08	1.0
	移動柱(2連棟以上)	SGHC F08	1.6

SGCC, SGHC, SGH400 : JIS G 3302
 STKR400 : JIS G 3466
 SZAH400, SZACC : JIS G 3317
 CGLCCR : JIS G 3322
 CGC400 : JIS G 3312
 SS400 : JIS G 3101
 SNR400B : JIS G 3138

符号	型 式	数量	1	1	1
	SS	1	手動式軽量シャッター	1	1
	材質 仕上		スチール		

1 箇所

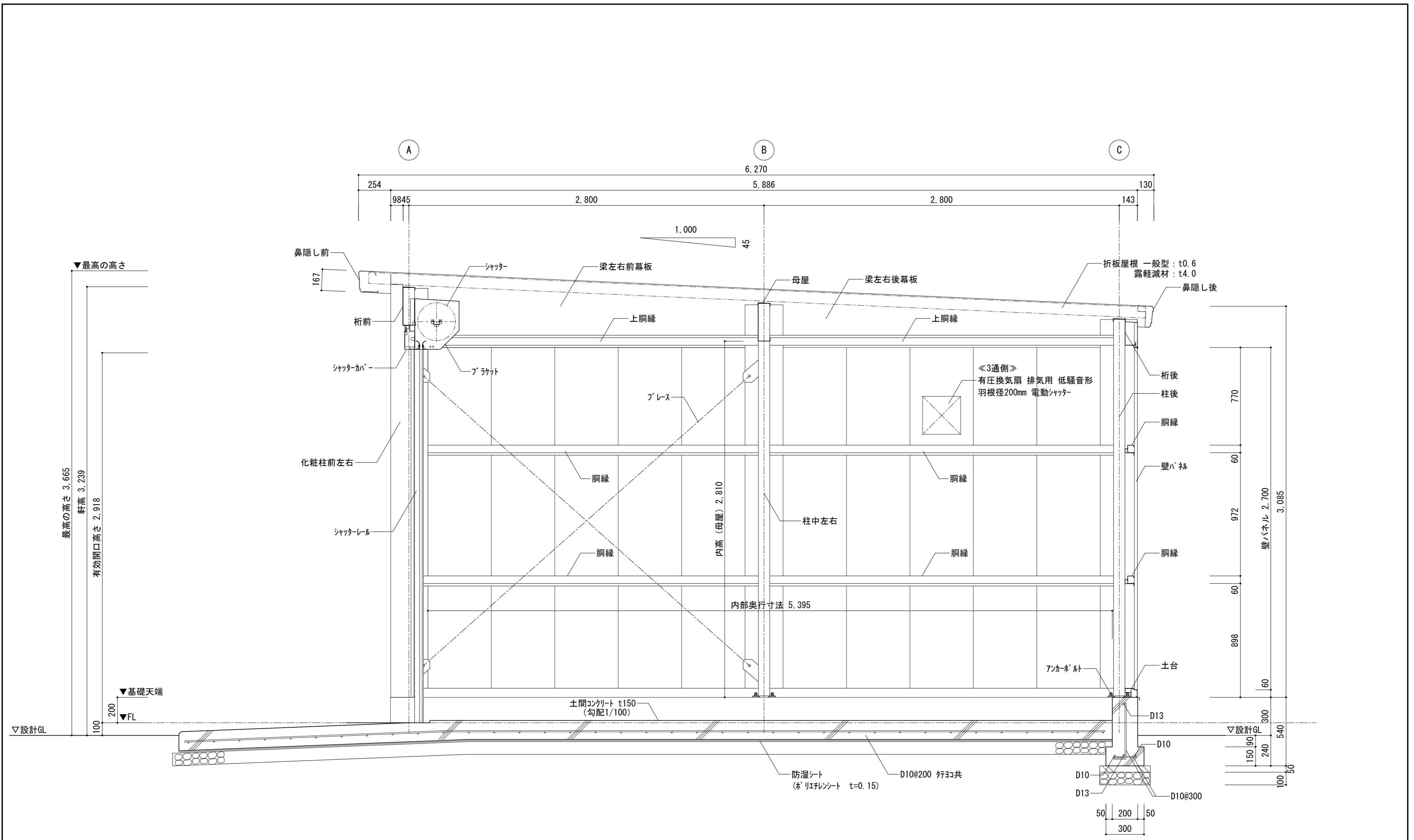
姿 図

ガラス 枠(建具)見込 -

附 属 品 ガイドレール・附属品金物一式

参考図

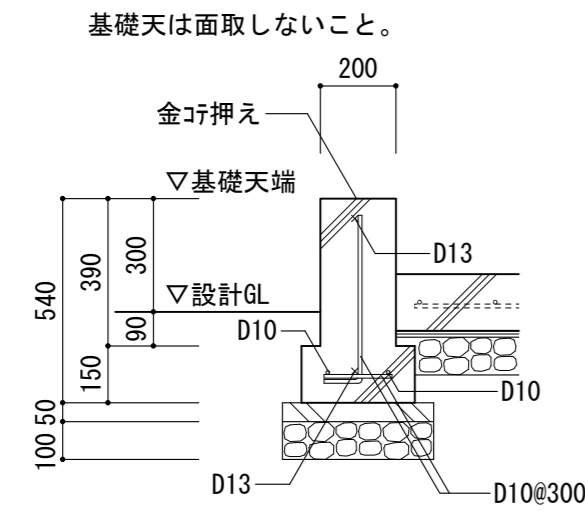
年度	5	工事名	【倉庫】平面図兼建具配置図 屋根伏図、立面図、建具表 S=1/50	倉	1
下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回		



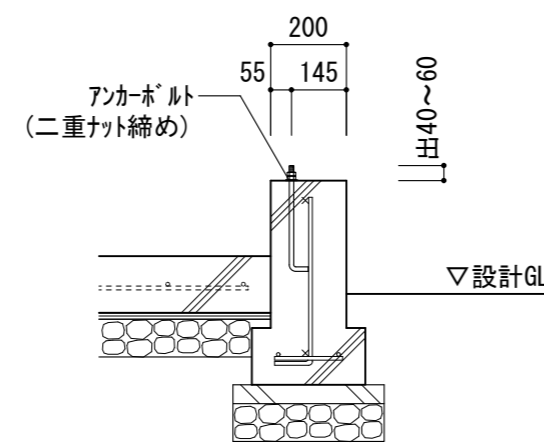
断面詳細図 S=1/20

参考図

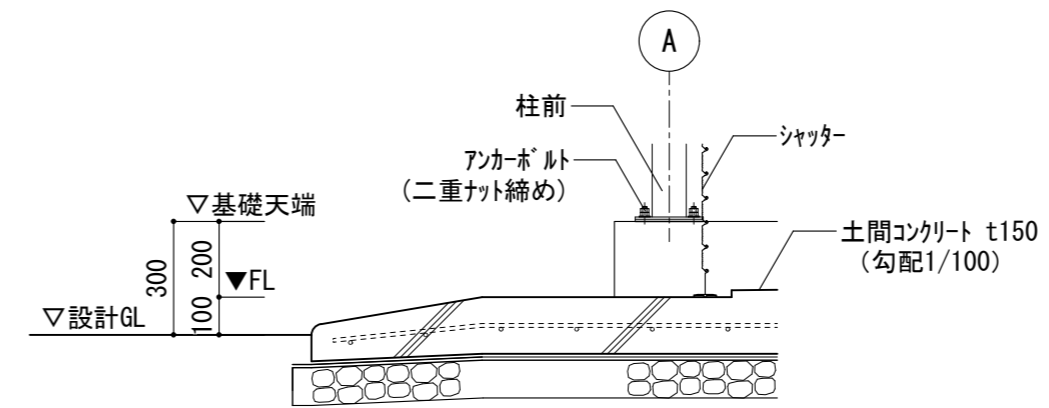
	年度	5	工事名	【倉庫】	
			恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	断面詳細図	S=1/20
	下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	設計変更 回	倉 - 2



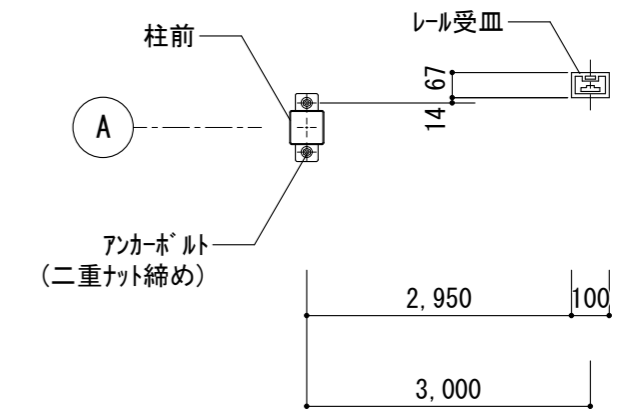
基礎断面詳細図 S=1/20



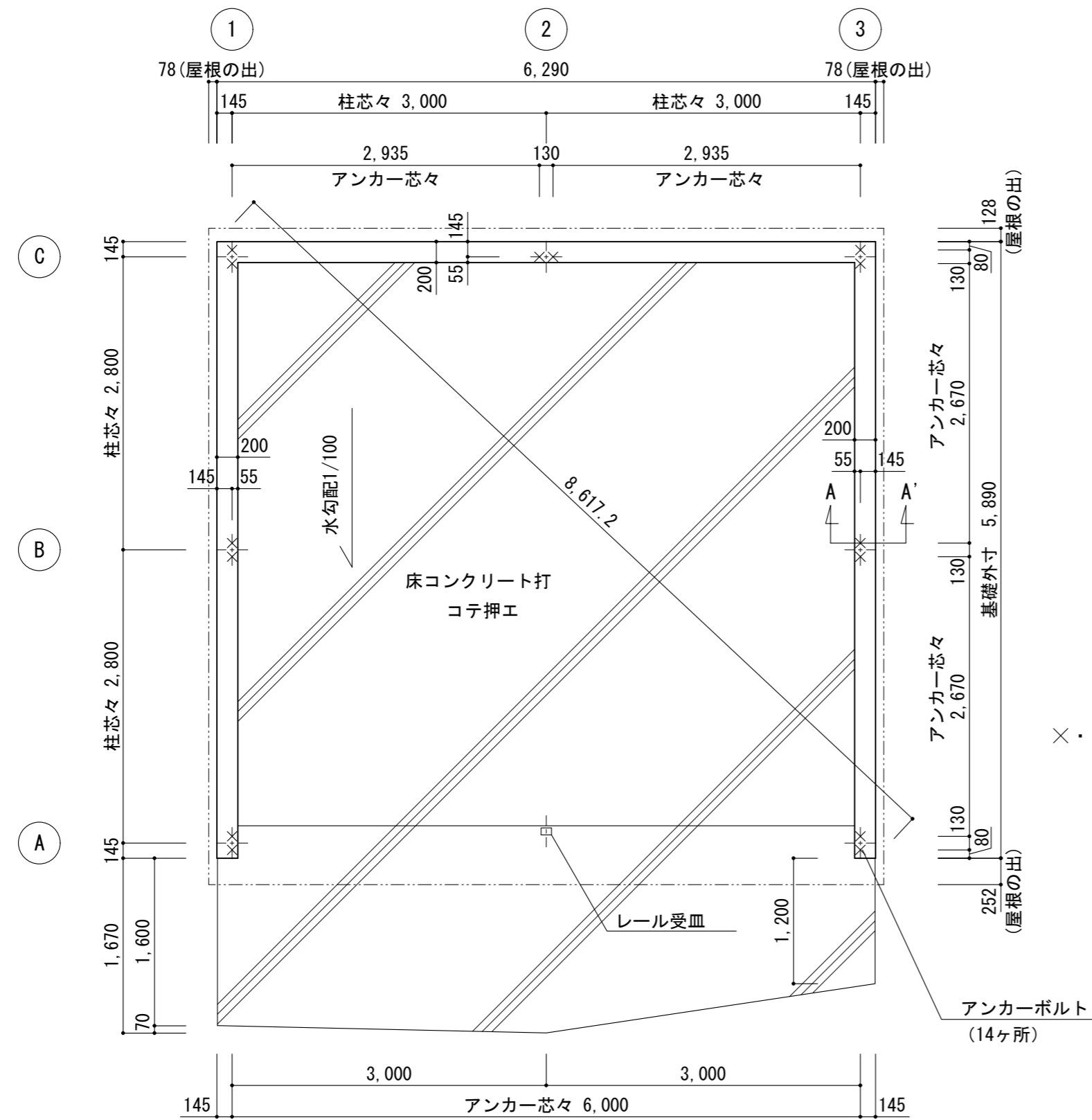
A-A' 断面詳細図 S=1/20



A通り断面詳細図 S=1/20



シャッターレール受皿埋込詳細図 S=1/20



基礎伏図 S=1/50

×・・・アンカーボルト位置を示す。

レディーミクストコンクリート
 I 類
 JIS A 5308 普通コンクリート
 単位水量の最大値 185kg/m³
 単位セメント量の最小値 270kg/m³
 水セメント比 普通ポルトランドセメントA種 65%
 塩化物量 0.30kg/m³以下
 コンクリート強度 設計基準強度 (F_c=21N/mm²)
 スランプ 15cm

参考図

年度	5	工事名	【倉庫】 恋ヶ浜緑地公園トイレ棟新築工事(建築主体)	倉	3
下松市		株式会社 栗林設計 一級建築士登録 第336535号 増野 広道	基礎伏図、部分詳細図 S=1/50, 20		
			設計変更 回		